

# 緑化に関する調査報告

(その49)

令和4年3月

東京都建設局

# 目 次

## I. 技術調査・計画編

---

### 1. 小笠原諸島聳島列島におけるネズミ駆除の効果

東京都小笠原支庁 土木課 自然環境担当  
宇佐美 裕太

### 2. 都内におけるクビアカツヤカミキリの生態と対策の現状

東京都環境局 自然環境部 計画課 計画担当  
深道 直人

### 3. チリ国立ビーニャ・デル・マル植物園へのサクラ種子の寄贈について

東京都建設局 公園緑地部 計画課 緑化推進担当  
紅林 宏樹

### 4. 公園・緑地管理における GIS の活用

公益財団法人 東京都公園協会 公園事業部 技術管理課 研究開発係  
明石 浩司

### 5. 都立公園の小面積皆伐によるナラ枯れ被害の回避

～桜ヶ丘公園こならの丘～

公益財団法人 東京都公園協会 公園事業部 事業管理課 維持係  
阿部好淳・松元信乃

## II. 管理運営編

---

### 1. 令和2年度 神代植物公園植物多様性センター事業年報

公益財団法人 東京都公園協会 神代植物公園 植物多様性センター

### 2. 日常にスポーツを～むさしのヘルシーパークプロジェクト～

西武・武蔵野パートナーズ統括所長（西武造園株式会社所属）

清水 卓

副統括所長（特定非営利活動法人 NPO birth 所属）

中倉 美奈子

（ミズノスポーツサービス株式会社所属（東京地区指定管理エリア長））

植田 有亮

### 3. 令和2年度 夢の島公園・夢の島熱帯植物館事業報告

夢の島公園・夢の島熱帯植物館アメニス夢の島グループ館長

高橋 将

### 4. 2021（令和3）年度都市部の公園・東部グループの管理運営と利用の実態

アメニス東部地区グループ

統括責任者 上田 太司

### 5. 令和3年度 緑の情報連絡会活動について

東京都建設局 公園緑地部 計画課 緑化推進担当

紅林 宏樹

### Ⅲ. 資料編（グリーン・ファイル）

---

#### 1. 東京都の道路緑化状況

東京都建設局公園緑地部計画課道路緑化計画担当

#### 2. 令和2年度 都立公園等植栽本数一覧表

#### 3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種

#### 4. 委託調査一覧（令和2年度）

#### 5. 令和2年度 花の見ごろ情報年間リスト

#### 6. 都立公園における都民共同団体一覧

#### 7. バックナンバー目次（その1～その48）

# 小笠原諸島聳島列島におけるネズミ駆除の効果

東京都小笠原支庁  
土木課自然環境担当  
宇佐美裕太

## I はじめに

東京都小笠原支庁では、小笠原諸島<sup>むこじま</sup>聳島列島<sup>なこうどじま</sup>の<sup>よめじま</sup>媒島と嫁島において、「植生回復事業」の一環として外来ネズミ類の根絶を目標とした駆除事業を実施した。本稿では、両島におけるクマネズミ駆除の実施状況と、それによる自然環境の変化について報告を行う。緑化とは異なり元々そこにあった自然を回復させる取り組みではあるが、ダイナミックな島嶼生態系におけるネズミ駆除の事例を通し、生態系の一部としての緑を考えることの一助になれば幸いである。

## II 経緯と対象地

### 1 聳島列島について

2011年6月に世界自然遺産に登録された小笠原諸島は、東京の約1,000 km 南に位置する亜熱帯の海洋島である。小面積の島々からなる群島で、最も北に位置するのが聳島列島である。最寄りの有人島である父島からは60 kmほど離れており、航行には漁船で3時間程度かかる。今回紹介する聳島、媒島及び嫁島はいずれも全域が小笠原国立公園に含まれ、中でも特別保護地区に指定されている地域である。

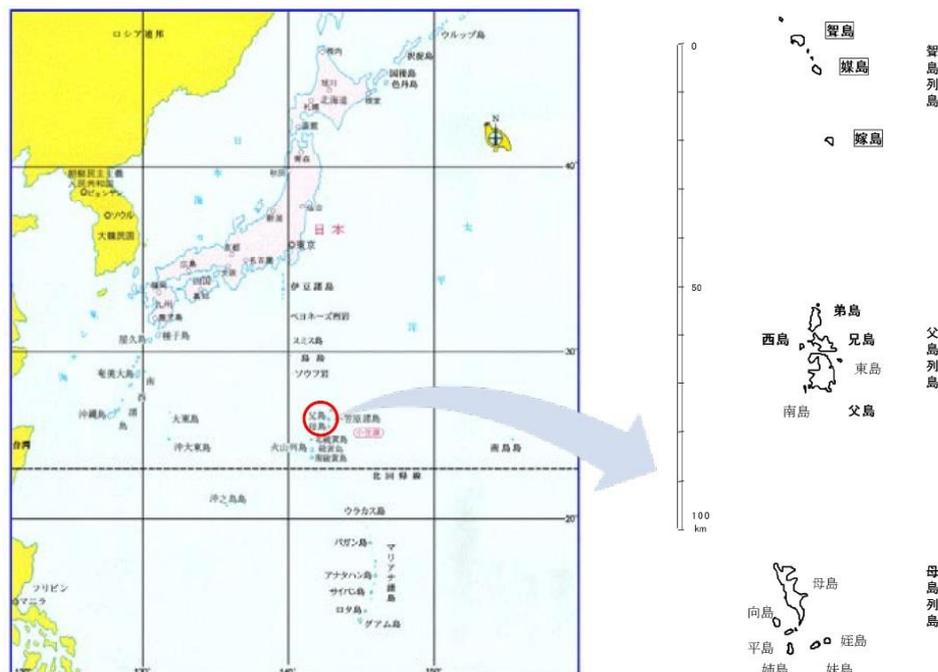


図1 対象地の位置図（太字は1968年時点でノヤギがいた島）

## 2 植生回復事業の経緯

聳島列島では開拓民が移住し、明治時代には農業・牧畜が盛んに行われた。しかし太平洋戦争時の疎開により 1944 年以降は無人島となり、この時残されたヤギが野生化し、食害や踏圧により島の植生の破壊が進んだ。特に媒島では荒廃の傾向が強く、土壌が表出した箇所では土砂流出が発生するようになり、袋港は流入した赤土で濁り、サンゴをはじめとする海洋生物に影響が出ている。

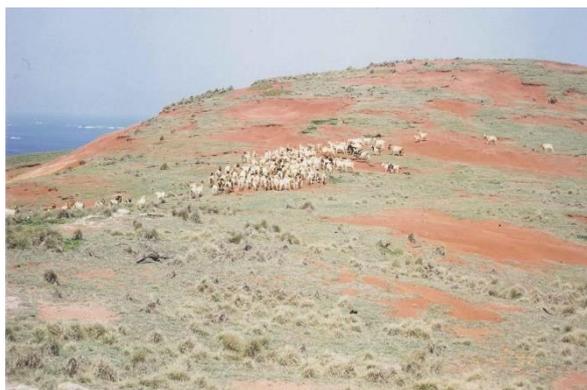


写真1 媒島のノヤギ（1991年）



写真2 媒島空中写真（2018年）



写真3 媒島の風景（2018年）



写真4 媒島の風景（2019年）

そこで東京都小笠原支庁では、聳島列島の生態系の回復を目的として 1994 年より植生回復事業に着手し、ノヤギ対策（1997 年～2003 年までに 3 島で 1438 頭を排除し完了）、外来植物駆除、土砂流出対策などに取り組んだ結果、大型海鳥類の個体数回復や、崩壊地面積の縮小といった一定の成果を得ている（図 2、3）。

近年では、植生回復の阻害要因として新たに注目されていた外来ネズミ類の駆除を実施した。ネズミ類（聳島列島ではクマネズミのみ）は雑食性であり、木本植物の種子や実生、草本植物を食害し直接的な植生へのダメージを与えるほか、海洋から陸への栄養を循環させている海鳥類の繁殖を阻害し、有機物の分解者である陸産貝類、甲殻類、昆虫類らを食害するなど間接的な影響も含め、島の植生に対して計り知れないインパクトをもた

らしていると考えられる。

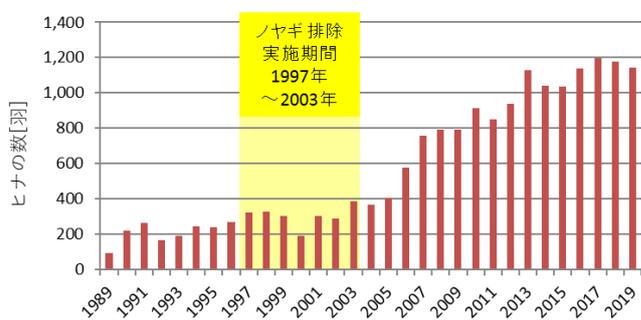


図2 聳島列島におけるクロアジアホウドリの繁殖数の推移



写真5 クロアジアホウドリの親子

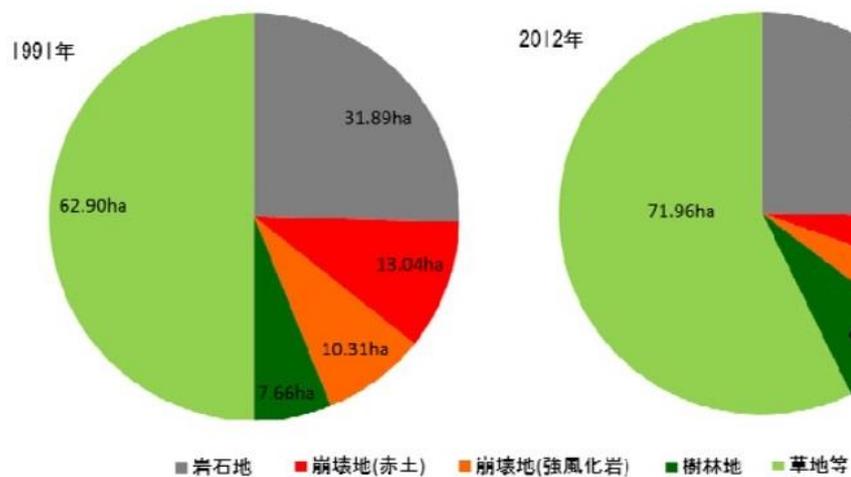


図3 遷移媒島 (137ha) のノヤギ排除前後の面積区分の遷移<sup>1)</sup>

### Ⅲ 事業内容

#### 1 実施方法

##### (1) 全島散布

媒島は2018年度、嫁島は2019年度に殺鼠剤全島散布によるネズミ駆除を実施した。聳島は環境省により2011年度に先行して駆除が実施されている。媒島と嫁島においては、殺鼠剤の人力手撒きを主な手法として採用し、人力でのアクセスが難しい崖部や離岩礁はドローンを使用した(写真6・7)。殺鼠剤は小笠原での使用を前提とした毒性の試験評価が実施されており、聳島等での使用実績のあるダイファシノン製剤を用いた。

##### (2) 継続的な駆除

散布後の残存個体を想定し、毒餌箱(ベイトステーション)に継続的に殺鼠剤を充填し、駆除圧を掛け続けている。また、センサーカメラ0.5台/ha程度を島内になるべく均等に配置し、残存したネズミの有無をモニタリングしている(図4)。

	媒島	嫁島
面積	137ha	61ha
実施時期	2018.9(夏) 2019.2(冬)	2019.7(夏) 2019.9(秋)
殺鼠剤散布方法	手撒き + ベイトステーション 離岩礁・崖地はドローン散布	
殺鼠剤の使用量	計約 8.7t	計約 4.3t
殺鼠剤の散布密度	20kg/ha(夏) 40kg/ha(冬)	40kg/ha(夏) 20kg/ha(秋)
センサーカメラ	61台	42台



殺鼠剤(10g包)



ベイトステーション

表1 ネズミ駆除実施方法



写真6 手撒き散布状況



写真7 ドローン散布状況

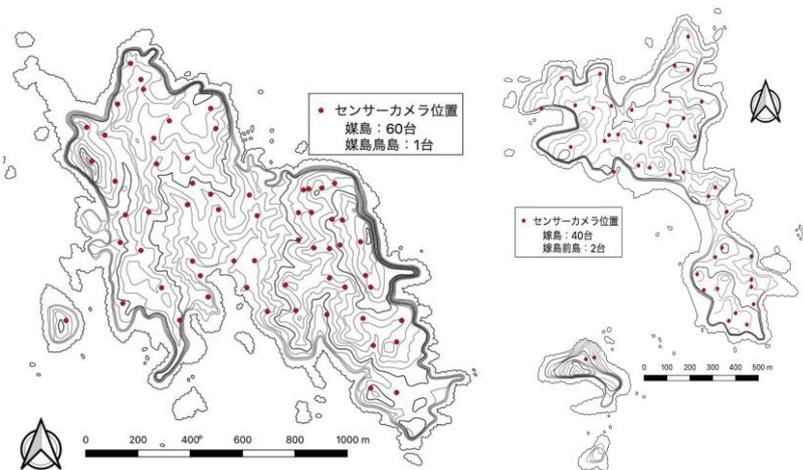


図4 センサーカメラ設置位置図（左：媒島、右：嫁島）

## 2 結果

2022年1月現在、散布完了月から起算し、媒島は2年10か月、嫁島は2年2か月間継続してクマネズミは確認されていない（図5）。このことから、本事業では、少なくとも外来ネズミ類の低密度化に成功したと言えるだろう。父島の属島である人丸島（9ha）や瓢箪島（5ha）では、駆除後3年以上が経過した後にネズミが再確認された事例があるが、今回の媒島・嫁島ではセンサーカメラを多数配置していることなども踏まえ、3年経過を目途に根絶が達成されたものと判断し、最小限のモニタリング体制へと移行する予定である。



図5 センサーカメラにおけるネズミ類の撮影率の推移（左：媒島、右：嫁島）

## IV ネズミ駆除の効果について

小笠原支庁では、クマネズミからの解放が影響を与えるであろう分類群について、駆除の開始段階よりモニタリングを行っている。島の生態系は現在も変化の最中にあると考えられるが、駆除後3年の経過を目前に控え、クマネズミの影響を大きく受けていた一部の分類群では既に回復傾向が見られているため、経過を報告する<sup>2) 3)</sup>。

### 1 木本植物の稚樹・実生の増加

媒島の屏風山に残存している森林は、固有の昆虫類や陸産貝類が生息しており、荒廃し

た媒島において貴重な在来林である。この屏風山において稚樹・実生の量を調査したところ、特に2020年にタコノキの実生の増加が確認できた(図6、写真8)。タコノキはクマネズミにより、実が激しく食害を受けていた樹種である。媒島においてネズミ駆除が実施されたのは2018年度であるが、小笠原諸島は2018年の大規模な渇水や、2019年10月の大型台風があったことが影響した結果、2020年に多数発生したと考えられる。

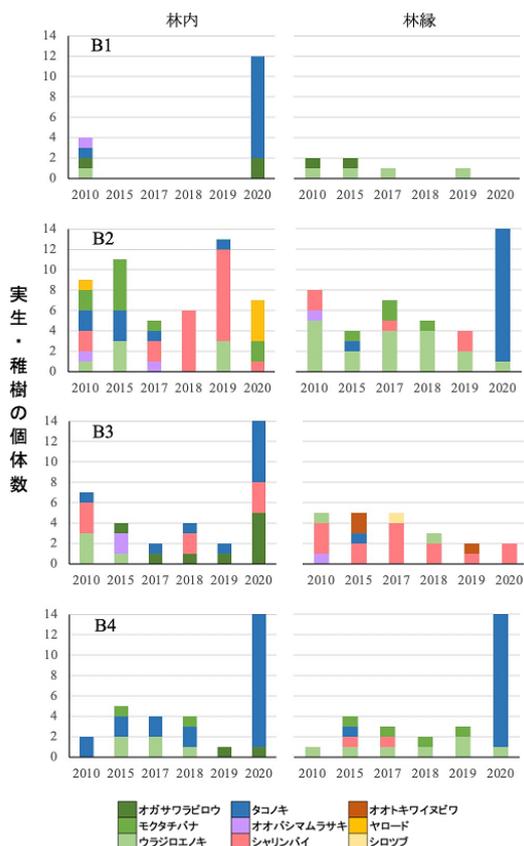


図6 媒島屏風山における稚樹・実生調査の結果



食害されたタコノキ果実(ネズミ駆除前)



ネズミ駆除後は熟すようになった



その後実生が多数発生

写真8 タコノキ実生の生育状況

## 2 草本類の増加

木本類に比べ、生活史の短い草本類ではネズミが駆除されたことへの反応も早いと考えられる。増減を調べるための詳細なモニタリングは実施していないものの、オガサワラアザミ、キケマン、ギシギシなどは目視感覚でも増加が顕著であることを報告しておく。



ギシギシを食べるクマネズミ



食害されたオガサワラアザミ

写真9 クマネズミに食害されていた草本植物の例



写真10 ネズミ駆除後に増加した草本植物の例

### 3 小型海鳥類の増加

海鳥類の繁殖状況について、ノヤギ駆除以降 3 年に一度程度の頻度で島内全域の踏査を実施している。ノヤギ排除後は踏圧から解放された中型～大型の海鳥類であるカツオドリとオナガミズナギドリ（巣穴数）の個体数の増加が顕著であったが、小型のアナドリ及びクロアジサシについては、繁殖があまり拡大していない状況であった。ネズミ駆除後は繁殖数の増加が見られており、クマネズミによる雛や卵の食害から解放されたことが伺える結果を示している（表2）。



写真11 クロアジサシ（左：成鳥、右：幼鳥）とクマネズミによる食害卵

媒島	ノヤギ駆除 (1999)					ネズミ駆除 (2018)	
	2002年	2008年	2011年	2014年	2017年	2019年	2020年
カツオドリ	400<	900<	635	798	1240	1200	623
オナガミズナギドリ	10	1000	1000	1700	2363	2399~2649	3812
アナドリ	-	-	9	26	33	43	64

嫁島	ノヤギ駆除 (2001)				ネズミ駆除 (2019)		
	2000年	2009年	2012年	2017年	2018年	2019年	2020年
オナガミズナギドリ	100<	500	1785	2330	-	3108	3572
クロアジサシ	-	-	×1	×1	2	4	15, ×4

×：繁殖失敗（放棄卵、破卵、死体）

表2 媒島と嫁島の海鳥類調査結果 2000年～2020年

#### 4 陸生甲殻類（カニ類）の増加

媒島袋港の海岸におけるミナミアシハラガニとハシリイワガニモドキの巣穴数をカウント調査したところ、ネズミ駆除2年後に巣穴の数は増加していた（図7）。また、比較的内陸にも生息しているカクレイワガニについて、媒島と嫁島においてラインセンサスを行ったところ、両島ともネズミ駆除2年後に個体数が急激に増加した。ネズミ駆除後にカニ類が増加したことは、南島における事例と類似している<sup>4)</sup>。



写真12～14 袋港の海岸部 巣穴地帯で写ったクマネズミ 食害と思われるカニの死骸



図7 媒島袋港におけるカニ類の巣穴数の変化

#### 5 変化が見られていない分類群

小笠原諸島の世界遺産価値の根幹である陸産貝類については、クマネズミの食害と考えられる死殻はほとんどなくなったものの、個体数の回復には至っていない。2019年度の大規模台風により、樹冠が破壊され林内が乾燥化した影響を受けている可能性があるため、モニタリングを継続する。

陸生甲殻類では、その他のカニ類は増加したにもかかわらず、オカヤドカリ類は個体数の変化が見られていない。オカヤドカリ類は堅い貝殻を背負っているため（写真16）、クマネズミ生息時にも影響をほとんど受けていなかったものと考えられた。



写真15 ネズミの食害と思われる陸産貝類の死殻

写真16 ムラサキオカヤドカリ

## V 媒島の緑化への道のり

聳島列島でも最も荒廃が進んだ媒島では、一部に在来種の残存林があるものの、林内にはノヤギとネズミがいたことにより次世代の木本植物が欠けており、森林としての階層構造が破壊されている。また、種の多様性についても失われた樹種が多く、世界自然遺産の貴重な動物群衆を支えるための土台が崩壊しかかっている。このような現状を踏まえると、残された生態系を維持するためには、播種や植栽、外来種駆除といった人為的な介入が必要不可欠である。さらに、赤土の流出が始まった場所では、緩傾斜の場所を除き緑被の回復が進行していないため、より土木的な手法も交えてまずは植生基盤を整備する必要がある。

一方で、施工にあたっては外来種（微生物を含む）の移入防止や遺伝的攪乱にも配慮しなくてはならず、重機や資材の持ち込みが難しい環境であることから、たとえば駆除した外来植物（ホテイチク、メダケ、ギンネム等）のような現場発生材をフル活用することが求められる。このように自然環境への不可逆的な影響を与えないよう注意しながら、媒島における今後の植生回復手法について、現在検討を進めているところである。

今回のネズミ駆除事業により、植生回復の大きな阻害要因が排除され、今後事業が大きく進展することが期待される。自然公園における荒廃地の自然再生の成功事例として、この取り組みをまた報告できるよう、引き続き尽力したい。



写真17 媒島表土流出箇所



写真18 媒島における緑化工の施工例

### 引用・参考

- 1) 世界遺産小笠原諸島・媒島緑への復元10年の軌跡 東京都小笠原支庁 2014年3月
- 2) 令和2年度聳島列島植生回復調査委託報告書 東京都小笠原支庁 2021年3月
- 3) 令和3年度聳島列島植生回復調査委託報告書 東京都小笠原支庁 2022年3月
- 4) 平成3年度南島自然環境調査委託報告書 東京都小笠原支庁 2022年3月

# 都内におけるクビアカツヤカミキリの生態と対策の現状

環境局自然環境部計画課計画担当

深道直人

## I. はじめに

クビアカツヤカミキリ *Aromia bungii* (以下、「本種」という。) は、サクラやウメ、モモ、ハナモモなどのバラ科樹木を加害し、やがて枯らしてしまう外来のカミキリムシの一種である。近年、本種の被害は全国的に拡大しつつあり、2022年2月現在、12都府県において被害が確認されている。都内においても、主にサクラを中心に各所で被害が確認されており、2015年に多摩部で被害が初確認されて以降、2020年には区部でも確認されている。

本稿では、本種の生態や被害実態にふれながら、環境局で実施している取り組みを交えつつ、対策の現状について述べる。

## II. 本種について

クビアカツヤカミキリは中国、朝鮮半島、台湾、ベトナム北部及びロシア極東部等の広範囲に分布している昆虫であるが、物流に伴って日本国内に侵入したものと考えられている。

### 1. 特徴

本種の成虫は、全体が青みを帯びた黒色で、つやつやとした光沢があり、前胸部（首のように見える部分）は赤く、両側に突起があり、そろばんの珠のような形をしている。体長は25 mmから40 mm程度であり、生体は独特で強い匂いを放つことが知られている。雌雄は触角

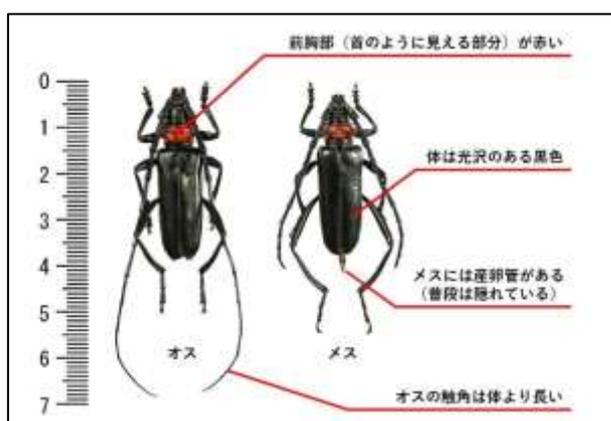


図1. 成虫の特徴



図2. 幼虫の様子

の長さで見分けることができ、オスは体長の約2倍であるのに対して、メスは体長と同程度である。また、産卵管の有無でも見分けることも可能で、メスは産卵管が確認できる。本種の幼虫は、他のカミキリムシと同様に、いわゆるイモムシ型をしており、2 mm程度の卵から、終齢期には栄養状態にもよるが、長さ40 mmから50 mm程度、太さ10 mm程度の大きさになる。

### 2. 生態

### (1) 成虫

本種の成虫は、羽化して樹木の外に脱出後、後食<sup>(注)</sup>することなく羽化の当日に交尾が可能であり、発生後すぐに産卵行動をとることができる。発生は、都内の場合、概ね6月から8月の間であることが確認されており、先にオスが羽化してから、続いてメスが羽化する傾向にある。メスは、主にサクラ、ウメ、モモ、ハナモモ等の樹皮の割れ目に産卵し、特に樹皮がまくれている老成木（主にサクラ類）が好まれる傾向にあることが知られている。産卵は、羽化した樹木や近接する樹木に連続的に行われることが多いと考えられているが、時に3km程度の距離を飛翔する事例や車両に付着して長距離を移動する事例も報告されている。

基本的には昼行性であることが知られており、クヌギやヤナギ類等の樹液やモモ等の果実に集まることが確認されており、幼虫のように樹木内部を食害することはない。羽化の当年で交尾し、産卵して一生を終えるため、越冬することはない。

### (2) 卵

メスの生涯産卵数は飼育条件下で平均300個程度、多い場合で1,000個以上であることが報告されている。卵は、産卵後、概ね10日間前後で孵化し、幼虫になる。樹皮の割れ目や樹皮がまくれている部分に好んで産み付けられるため、野外での確認は難しい。

### (3) 幼虫

本種の日本での生態は未解明な部分が多いが、幼虫の期間は2年間から長い個体で3年間程度とされている。卵から孵化した幼虫は、すぐに樹皮から樹木内部に穿（せん）孔して樹皮直下の形成層周辺を食害して成長する。この時、食害部分が樹幹の水平面に対して一周してしまうと通水障害等が引き起こされ、食害部分より樹幹上部がやがて枯死する。

活動期（食害時期）は概ね4月から10月頃までであり、フラスと呼ばれる木くずと糞の混合物を、樹皮に開けた孔（排糞孔）から盛んに排出する。フラスの太さは、個体の大きさに比例し、1mmから5mm程度であり、薄い切片状の木屑を多く含む。また、食害時のフラスは樹液を含むため、棒状やかりんとう状に連なる場合が多い。なお、冬季は休眠期（活動休止時期）となるため、フラスは排出されない。

### (4) 蛹

終齢になると、それまで樹皮直下で食害していた幼虫は蛹になるために樹木の中心部に入り込んで蛹室を作り、その後、蛹室の出入り口を木くず等で固めて蓋をする。蛹室を作る際は、おがくず状のさらさらとしたフラスを大量に排出する。この時、予め羽化後に樹木の外に出るための孔（脱出予定孔）を、樹皮を薄く残した状態で開ける。

蛹室は秋期に作られることが多いと考えられているが、初夏に作る事例も確認されており、現状よく分かっていない。蛹は翌年の5月頃から羽化して成虫となり、6月以降に樹木の外に脱出する。脱出した後に開いた孔を脱出孔といい、脱出孔を確認した場合、少なくとも数年前からその地域に本種が侵入していたことを示す。



図3. フラス（かりんとう状）の様子



図4. フラス（おがくず状）の様子

表1. 本種の生活環

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成虫・産卵			■									
	幼虫1年目			■			■						
	幼虫2年目 (前蛹)	■			■			■					
	蛹・羽化	■		■		■							

【凡例】 ■ : 幼虫の活動期間 ■ : 幼虫の活動休止期間

注1：前蛹とは、幼虫が蛹になるための準備期間で、餌を食べなくなってから蛹になるまでの間を指す

注2：日本での幼虫や蛹の期間はよくわかっていない

### 3. 危険性

2012年に愛知県で国内被害が初確認されて以降、全国各地の果樹園やサクラ並木等で甚大な被害が確認されており、他府県では、モモ農園が廃園に追い込まれた事例や、学校敷地内のサクラを伐採せざるを得ない事例も挙げられている。こうした甚大な被害を引き起こす主な理由は、次の4点が挙げられる。

#### (1) 産卵数が膨大で繁殖力が旺盛

先述のとおり、飼育条件下において、メス成虫1個体の生涯産卵数が1,000個以上という報告がある。なお、参考までに在来種で多産種とされるゴマダラカミキリは200個程度であることが知られている。

## (2) 羽化後すぐに交尾、産卵が可能

本種の成虫は、後食することなく、羽化してすぐに交尾、産卵することができる。

## (3) 成虫の飛翔能力が高い

本種の発生地域に接している地域だけでなく、発生地から 3km 程度離れた地点でも新たに被害が発生する事例が報告されている。

## (4) 天敵が不在で餌の競合種も不明

これまでのところ、主な天敵生物が確認されておらず、また、バラ科樹木を餌資源とする目立った競合種もいないと考えられている。

以上により、一度広範囲に拡散を許してしまうと、抑え込むことが非常に困難となってしまうのが現状である。

## 4. 法的な取扱い

本種は、2015 年に「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」に掲載されたのち、2018 年 1 月に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下、外来生物法）」により、特定外来生物に指定された。特定外来生物は外来生物法により、以下の行為は原則禁止されている。

- ・飼育、栽培、保管及び運搬（外来生物法において「飼養等」という。）すること
- ・輸入すること
- ・野外へ放つ、植える及びまくこと
- ・許可を受けて飼養等する者が、飼養等の許可を持っていない者に対して譲渡し、引渡しなどをすること（販売することも禁止）
- ・許可を受けて飼養等する場合、特定外来生物ごとにあらかじめ定められた「特定飼養等施設」以外での飼養等

そのために、例えば一般市民が許可なく本種を捕獲し、持ち帰ることや飼育することは法律で禁止されており、違反した場合には罰則が設けられているため、注意が必要である。ただし、以下の行為は違反にはあたらない。

- ・捕獲してその場で捕殺すること
- ・死骸を運搬すること
- ・地方公共団体の職員がその職務遂行のため、緊急に取引、処分するために一時的に保管又は運搬すること

その他にも、伐採等の防除に係る「運搬及び保管」の運用上の特例もある。

## Ⅲ. 都内における被害状況

都内では 2015 年に福生市とあきる野市で初めて被害が確認された。その後、2019 年には羽村市、八王子市、昭島市で、2020 年には足立区、調布市（成虫確認のみ）で確認されており、2021 年に入ると、新たに品川区（成虫確認のみ）、江東区でも確認され、2021 年 2 月末現在、本種の確認地域は 9 区市となっている。

2020 年までは、主に被害地域に隣接した地域で被害が確認されていたが、2021 年は被害

地域から離れた飛び地での被害が確認されており、今後、急速に都内全域に被害が拡散する恐れがある。各地域で懸命な防除が行われているところではあるが、被害地域は拡大傾向にあり、引き続き、今後の動向に注視する必要がある。

樹種別にみても、都内ではサクラ類の被害が最も多く、次いでウメ、モモの順となっている。しかし、これは都内でのサクラ類の植栽本数が他の樹種に比べて突出して多いことを表しているのであり、この結果が本種の選好性を示しているわけではないことに注意が必要である。また、被害本数は2015年に31本が確認されていたが、その後、年々増加傾向にあり、2020年には258本の被害木が確認されている。

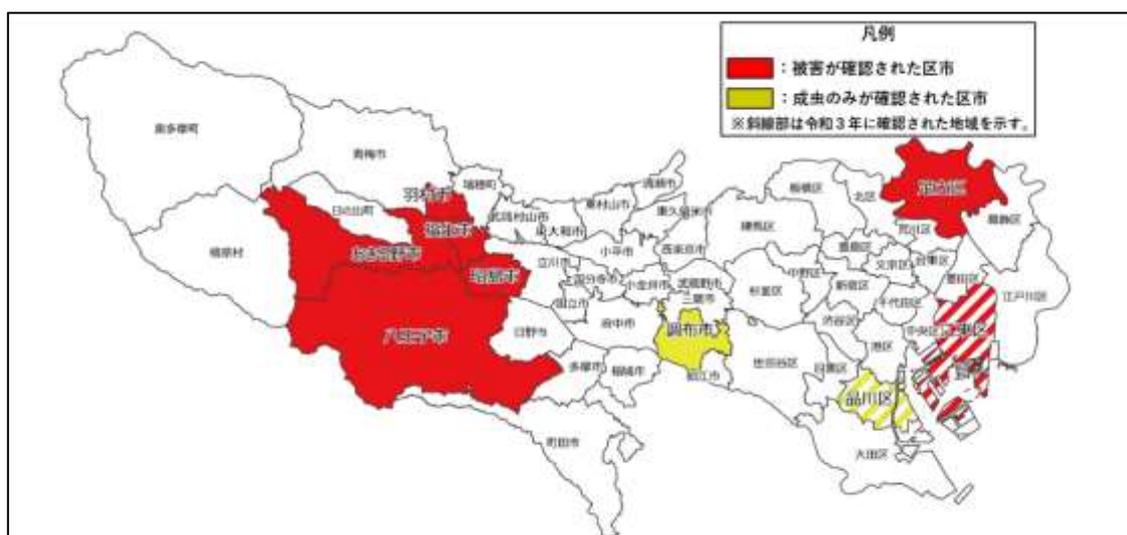


図5. 都内における本種の確認状況（2022年2月末現在）

表2. 樹種別の被害本数と自治体数の推移

年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
樹種別 被害本数	サクラ	31	72	76	131	203
	ウメ	—	—	—	14	45
	モモ	—	2	2	5	4
	スモモ	—	—	—	8	6
	ハナモモ	—	—	—	—	1
	合計	31本	74本	78本	158本	215本
自治体数	2	1*	1*	2	5	6

※2016年、2017年は1自治体分のみを計上

(2020年12月現在)

#### IV. 被害に対する対策

本種は繁殖力や拡散能力が非常に高いため、その対策は早期着手が大変重要である。以下に点検方法と、被害確認から防除完了までの取り組みの流れを示す。

##### 1. 樹木の点検

早期発見のため、まずは被害の有無を確認する。主な点検方法は以下のとおりである。

- ・幼虫の活動期にフラスの有無を確認すること

- ・成虫の発生期に成虫の飛来を確認すること
- ・樹木に脱出孔または脱出予定孔の有無を確認すること

なお、点検の際は見落としがないよう、可能な限り複数人で行い、フラスが確認しやすい6月から9月の間に、複数回実施することが望ましい。

## 2. 被害状況確認調査の実施

本種や被害が確認された場合、その後の防除計画や効果を検証するための基礎データとして、詳細に調査し、被害木毎に記録して整理をする。さらに、被害木の位置を地図に落とし込むことで、年度毎の推移の把握が可能となり、その後の対策等に役立てることができる。

## 3. 防除計画の作成

被害状況確認調査の結果をもとに、本種の生活環に応じた対策やその後数年間を見越した対策等を含めた防除計画を検討し、作成する。作成に当たっては、専門家の意見や先行実績等の専門的な知見や地域住民や所有者との協力及び連携づくりに留意して進める。本種をはじめ、外来生物の防除は、初期対応が非常に重要であり、また、効果がすぐに表れない場合であっても、数年間に渡り継続的に実施することを念頭に置く必要がある。

## 4. 防除の実施

被害木が確認された場合の具体的な防除方法は次のとおりである。

なお、防除に当たっては、早期発見、早期防除が大原則であり、状況に応じて優先順位を設け、複数の方法を組み合わせながら実施することが重要である。

### (1) 薬剤（農薬）

薬剤は、幼虫を対象としたものと成虫を対象としたものに大別される。使用に当たっては、農薬取締法により定められた使用方法を遵守する。なお、本種に使用可能な薬剤は、主に次の4種類がある。

#### ①エアゾール式薬剤

排糞孔の中に薬剤を注入して、樹幹内部の幼虫を駆除するスプレー式の薬剤である。注入する際は、予め排糞孔に詰まっているフラスを、千枚通しや針金などを使って掻き出した上で、孔道の方を確かめ、ノズルの目詰まりを防ぐために薬剤を噴射しながら排糞孔に入れるようにする。

被害木に対して排糞孔数が数箇所未達の、被害初期の場合に効果的であると考えられる。ただし、蛹や前蛹には木くずで固めた蓋で蛹室内が遮断されているため無効である。

#### ②樹幹注入式薬剤

樹幹に孔を開けて薬液を注入し、樹木全体に浸透させて、摂食した幼虫を駆除する薬剤である。薬液は樹木の通水により上部方向に浸透するため、可能な限り地際に施用することが重要である。

薬剤を注入し、薬剤が樹木内に浸透したことを確認後、孔を樹木用の癒合剤で塞ぐようにする。

#### ③樹木散布式薬剤

成虫の発生期に薬液を樹に散布して駆除する薬剤である。散布に当たっては、散布区域に

立ち入らないよう、縄囲いや立札等を設置して実施する。また、人畜への影響だけでなく、周辺の生態系にも十分に注意を払った上で計画する必要がある。

#### ④幹巻き式薬剤

自然界に生息する昆虫病原性糸状菌を利用した薬剤で、シート状のパルプ不織布に糸状菌が付着したものである。成虫が接触すると菌に感染してやがて死亡する。この薬剤は、ネット巻きと併用することで防除の効果を高めることができる。

##### (2) ネット巻き

成虫が発生する前（都内の場合、5月末）までに、被害箇所の幹や枝の周囲をネットで覆うことで、羽化した成虫の拡散を防ぎ、効果的に捕殺することを目的としている。設置後は、ネット内での産卵を防ぐため、必ず巡視点検を定期的（1日に1回から2回程度が理想）に行い、ネット内で成虫が確認された場合は、直ちに捕殺する。蛹や前蛹はネット巻きにより、成虫として出てくるところを捕殺して対応する。

なお、ネット巻き設置時は成虫の捕殺を優先し、取り外し後に幼虫を対象としたエアゾール式薬剤の使用や刺殺等を実施する。そのために、成虫発生期を過ぎたらネットの取り外しを必ず行うようにする。

##### (3) 捕殺・刺殺

成虫及び幼虫を直接、物理的に駆除する方法であり、成虫の場合はその場で踏みつぶす、幼虫の場合は排糞孔から針金で刺す等がある。また、幼虫の場合は、孔道に沿って樹皮を剥いで目視確認して刺す方法もあり、その場合は対応後に剥いだ部分に癒合材を塗布するとよい。

##### (4) 伐採・伐根

伐採及び伐根は、被害木内部にいる全ての個体を駆除することができ、加害による倒木や部分的に枯死した枝の落下も未然に防げる方法である。施工後の被害木は、成虫の羽化後の脱出を防ぐため、放置せずに必ず焼却処分やチップ化処理を行う。なお、伐根が難しい場合には、伐採断面をコーキング材等での被覆や厚手のビニールシート等で覆うことで複数年間、拡散を防止する必要がある。

外来生物法上、特定外来生物を生きた状態で運搬及び保管することは原則禁止されているが、伐採及び伐根に伴う、殺処分を目的とした被害木の運搬及び一時保管であって適切な拡散防止措置を施した場合に限り、これらには該当しないとされている。なお、原則として成虫の発生期を避けた9月から翌4月までの間に実施する。

表3. 幼虫・成虫別の防除方法

区分	薬剤（農薬）	ネット巻き	捕殺・刺殺	伐採・伐根
幼虫 	 （エアゾール式） （樹幹注入式）	—	○	○
成虫 	 （樹木散布式） （幹巻き式）	 （蛹も含む）	○	—

## 5. 経過観察とモニタリング調査

本種の生活環を考慮すると、防除は1年で完了するとは限らないため、被害を確実に抑制するためには少なくとも複数年間、防除後の樹木点検や周辺のモニタリング調査等を行う必要がある。

## V. 環境局の取り組み

### 1. 区市町村担当者や施設管理者との連携

東京都環境局自然環境部計画課では、情報共有を図りながら都内の区市町村担当者や公園緑地等の施設管理者が主体的な防除活動を実施できるよう、広域的視点における被害拡散状況を把握した上で、技術的支援及び財政的支援により、協力体制を整備している。

#### （1）技術的支援

##### ①現場技術講習会

区市町村担当者や施設管理者等を対象に、専門家を講師に招き、本種の生態や被害確認方法、防除手法等の最新の知見を発信する。平成31年度に初めて開催してから、毎年実施しており、令和3年度は合計44団体、71名が参加した。参加者からは、「被害の実態を目で見ることができ、理解を深めることができた。」や「実演を見ながら作業の流れを把握することができ、防除のイメージができた。」等の声が挙がった。

##### ②被害の拡散状況把握調査

被害地域やその周辺地域において、区市町村と調整し、被害状況を把握するための調査を行う。平成31年度から毎年調査を実施し、令和3年度の環境局調査は14区市町104箇所を実施した。この調査により、4区市11箇所被害が確認された。

##### ③点検方法や防除技術の現場支援

区市町村担当者や施設管理者等に対して、現場での具体的な点検方法や防除技術について体験や実演を交えながら解説する。令和3年度は6区市を対象に実施した。

##### ④区市町村等に対する普及啓発の促進

区市町村等に普及啓発資料用の写真やデータ等を提供し、HPや公報等を活用した普及啓発活動を支援している。



図6. 現場技術講習会の様子 (2021年9月17日撮影) 図7. 八王子市に対する技術支援 (2021年7月29日実施)

## (2) 財政的支援

東京都環境局では「東京都区市町村との連携による地域環境力活性化事業」を創設し、補助率 1/2 の財政支援を行っており、都と区市町村が一体となった取り組みの促進を図っている。

## 2. 情報発信・普及啓発

東京都環境局 HP や SNS 等に最新の被害情報や知見等を掲載して広く情報発信し、都民に注意喚起や呼びかけを行っている。

また、専門家の助言のもと、本種の防除の考え方や解説をまとめた「クビアカツヤカミキリ防除の手引き」を HP 上に公表しているのので、参照されたい。今後も効果的に情報発信や普及啓発活動を行いながら、未だに顕在化されていない潜在的な被害のあぶり出しや、被害の早期発見・早期防除につなげたい。

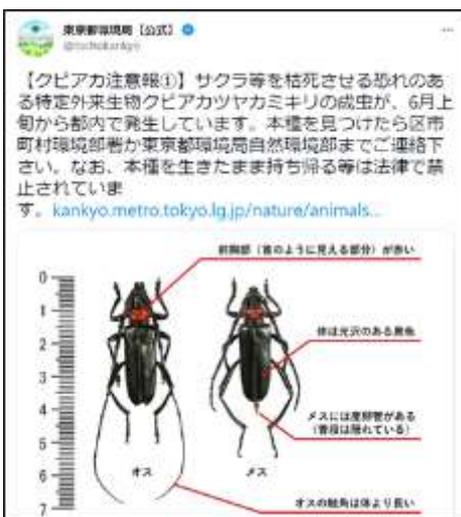


図8. SNS (Twitter) の活用例



図9. 環境局 HP の活用例

## VI. まとめ

徐々に本種の生態が明らかにされ、防除技術が確立されてきているものの、未だに本種の生態には未解明な点も多く、今後も防除方法等については鋭意開発が進められるだろう。

本種をはじめ、外来種対策は早期に発見し、早期に防除を行うことが何よりも重要である。そのためには、関係者が足並みを揃えて互いに情報共有を行いながら、対策を実行できる体制を構築していくことが非常に重要といえる。

本種以外にも、ツヤハダゴマダラカミキリやサビイロクワカミキリ等、外来のカミキリムシが国内で相次いで確認されている。世界規模で物資が流通している現代社会において、今後も新たな外来種が国内で発見される可能性は高い。

将来、都内各地の重要なサクラの名所が失われ、花見の文化や観光資源の消失を防ぐためだけでなく、新たな外来のカミキリムシの侵入に備え、少しでも早期発見、早期防除に活用できるよう、引き続き、行政のみならず、様々な立場の関係者と緊密に連携しながら、被害縮小に向けて取り組んでいきたい。

(注) 羽化した後に樹皮や葉などを食べること

※本稿は都市公園 234 号掲載「東京都におけるクビアカツヤカミキリの被害状況と対応策」を参考に執筆した。

※参考文献：東京都環境局（2021）「クビアカツヤカミキリ防除の手引き」

# チリ国立ビーニャ・デル・マル植物園へのサクラ種子の寄贈について

東京都 建設局 公園緑地部 計画課 課長代理（緑化推進担当）

紅林 宏樹

## I はじめに

チリ共和国は、南アメリカ大陸南西部に位置する共和制国家で、言語はスペイン語、人口は約1,900万である。

国土面積は日本の約2倍有し、南北に細長く全長は約4,600kmにも及び、東にアンデス山脈を挟みアルゼンチン、西側は太平洋、南は世界で一番南極に近い街は南緯55度、北のペルーと接している街は南緯20度である。また、陸地の標高は、0mの海岸からアンデス山脈の5km級の山までと変化に富んだ地形のため、様々な気候が存在している。

この南北に長い土地と高低差のある地形を生かし、北部は牧畜、中部は野菜や果実、南部は林業、穀物類、牧畜、サケ養殖業が盛んである。

日本との関りは古く、明治30年（1897年）に締結された日本チリ修好通商航海条約を締結し、今日までの約120年間友好な二国間関係を構築してきた。また、2015年（平成27年）1月には、「チリ国・ビーニャ・デル・マル植物園と、都立神代植物公園との技術協力に関する協定」を締結した。協定の概要は、チリ国立植物園で予定されている日本庭園を造営する際に、都がこれまで培ってきた日本庭園に関する専門知識や技術を提供するとともに、両植物園間において、植物の交換や栽培技術等の交流を行っていくというものである。

本稿では、チリ国・ビーニャ・デル・マル植物園で予定されている日本庭園の造営で利用される桜の輸出について報告する。

## II 日本人と桜

日本人がこよなく愛する花に桜が存在する。春には色々な花が開花をするが、桜は春を告げる花として特別な存在となっている。特に「お花見」と言えば桜を想像する日本人も多くいると思われる。

桜の「お花見」の歴史は古く、平安時代に始まったとされる。特に奈良県吉野では信仰地の吉野山に山桜が自生していたこともあり、貴族たちの花見の名所であった。

室町時代に入ると武士の間でも「お花見」が行われ、豊臣秀吉の「醍醐の花見」は、近隣諸国から約700本もの桜を移植したという逸話が残っている。

江戸時代に入ると、特に大きな戦もなく太平の世であった約260年、この時代に多くの文化や娯楽が誕生し、園芸も例外なく発展を遂げた。特に、二代将軍徳川秀忠がツバキを好んだこともあり、園芸が盛んになるきっかけになったと言われている。また、参勤交代により各地方の植物が江戸に持込まれたことも影響し、園芸の改良も盛んに行われた。

三代将軍家光の代では、吉野より山桜が取寄せられ上野の山に植栽され、以降、桜の名所となり武士や町人も花見を楽しんだと言われている。

### Ⅲ 桜の選定

桜の贈呈については、「ふくしま⇄東京 桜の交流プロジェクト※1」を実施していたこともあり、三春町から提供いただくことになっていた日本三大桜である三春滝桜種子から育てた実生苗を送ることを計画した。

実生苗は、2013年7月（平成25年度）に三春町より提供された種子を、神代植物公園にて播種し育種。その後、約1.5mに成長した苗木を武蔵野苗圃にて更に大きく成長させるため育苗を行った。これは、日本庭園整備時に見栄えのする大きさのものを、利用することを想定して実施したものである。一方、日本からチリへの桜の輸出は、チリが検疫条件を設定しておらず基本的に輸出できないので、チリ保健当局と日本国農水省の間で検疫に関する条件を整理して進めることが必要であった。

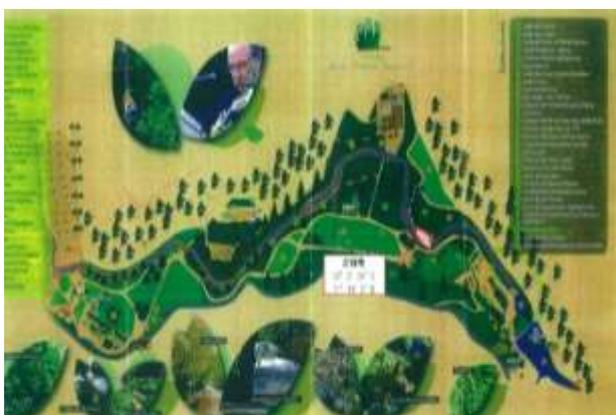
※1 「緑化に関する調査報告書(その44) ニューヨーク市への桜の寄贈について」参照

### Ⅳ プラン策定について

次に、都は日本庭園整備に向けて、チリ国立ビーニャ・デル・マル植物園日本庭園造営計画委託を2015年（平成27年度）に（公財）東京都公園協会へ発注した。

整備にあたり現地調査が必要な事もあり、2015年11月に第1回目の現地調査を実施した。

主な現地調査の内容としては、植物園で地形・地質・気候・水環境の調査を始め、池の護岸や景石で使用する岩石や木材等の調達できる材料の確認を実施。集めた情報を基に候補地の選定、整備規模・維持管理について現地スタッフと意見交換を行い、この情報を基に具体化するプランニングに着手した。下記が基本設計時のプランである。



チリ植物園全体平面図



日本庭園整備予定地



景石に利用する岩石



日本庭園基本計画案

年が変わり2016年3月に、第2回目の打合せを実施した。主な内容としては、基本計画案のコンセプト及びデザインについて確認を行った。

プランについては概ね了承を取り付けたので、今後はこの基本計画案を基に、実施設計を行うところになった。

具体的なボリュームを掴むため、日本で施工した場合の金額や工期を提示することで合意した。

## V 桜の輸出に向けて

都からチリ側へ詳細な工事内容が含まれた実施設計プランを示したが、チリ国内では社会情勢の変化もあり、予算確保が難しい事が伺えた。

成り行きを見守っていたところ、2020年に入りメディアを通じて連日新型コロナウイルス感染症のニュース報道がなされ、日本国内でも感染者の増加が懸念される状況であった。さらに、状況は好転することなく春過ぎには世界的大流行(パンデミック)となり、感染症の対策が急がれた。

チリ国内においても政府は都市を対象に、5月15日から強制的かつ「完全」なロックダウン(都市封鎖)を実施すると発表される事態となった。

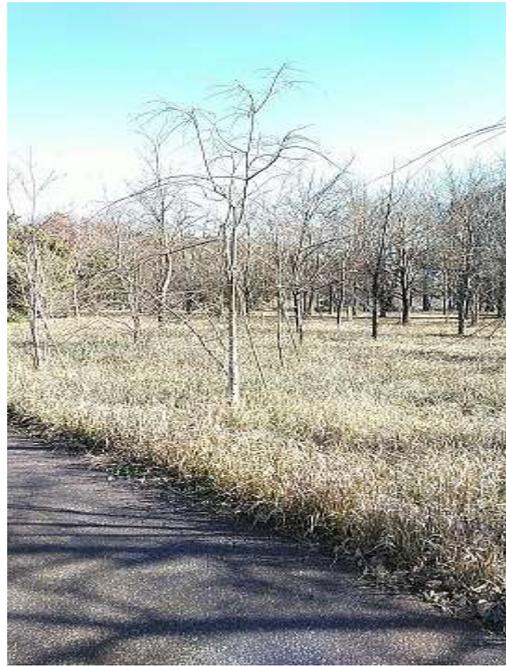
この様な状況であるため、チリ大使館を通じて現地を確認したところ、苗木の輸出については難しいことが伺えた。

一方、桜の苗木は順調に大きくなり、2020年2月では4mに超育っており、もはや苗木とは言えない高木に成長していた。

輸出に向けて準備を行うにあたり、大きさの問題、輸出業者の選定を始め、検疫の手続きや養生を含めて対策が必要となっていた。



2019年10月



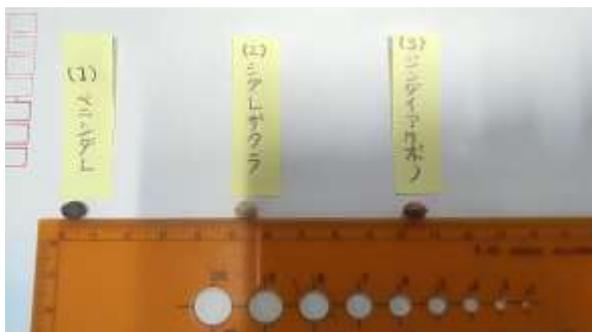
2020年2月

そこで著者は、前述の「緑化に関する調査報告書（その44） ニューヨーク市への桜の寄贈について」を参考に、種子での提供をチリ側へ提案した。

輸出に関しては、チリ国保険当局の再調整が必要なので、種子の準備と並行しておこなうこととした。

まず、チリ側がベニシダレザクラを希望していたので、神代植物公園等に植栽されているベニシダレザクラで種子を採取することとした。また、追加としてシダレザクラ、ジンダイアケボノの3種類を提案し了承された。そして、種の採取は実の熟す5月中旬以降で予定することとした。次に、採取した種子は汚れや外果皮・中果皮が付着していると基本的に輸出ができないので、保険当局の回答を待たず種子毎に下記の作業を実施した。

1. 水洗：採取した種子は、箆を用いて水道水で汚れを水洗する。腐れ、割れ、虫食い等があるものは、この時点で除外する。
2. 剥離作業：ペットボトルに種子を投入する。その後水道水を詰めて2日間程浸させ、浮いた種子は除外する。外果皮・中果皮が柔らかくなったら、箆を用いて水洗する。  
この2の作業を3回繰り返す。
3. 乾燥：きれいに洗浄された種子は、日陰で乾燥させる。
4. 選別：乾燥させた種子は、割れ、虫食い等があるものは除外する。
5. 保存：きれいに洗浄された種子は、乾燥を防ぐため密閉式のビニール袋に入れ、冷蔵庫で保存とした。



洗浄された種子 3種類



密閉式ビニール袋に入った種子

種子の洗浄も終わった頃、世界各国で導入された水際対策としての入国制限措置により、人や物の移動が厳しく制限され、それに伴い航空需要の激減とも重なり、輸出が難しい事態となった。

チリ国大使館を通じて保険当局の検疫状況を確認したところ、コロナ対策とも重なり調整中である旨の回答があった。

2021年5月末になり、チリ保健当局から待望の回答が届いた。

資料を確認したところ、*Eurytoma schreineri*, *Eurytoma amygdali*, *Eurytoma malovsky*、カタビロコバチ科3種類の害虫の発生状況について燻蒸処理（リン化水素（PH3））を行い、その旨を検疫証明書に示すことを輸出国に求める内容であった。

## VI 検疫手続き

輸出に向けて、カタビロコバチ科3種類の害虫の発生状況について確認する必要があったので、種子の輸出手続きも含めて、農林水産省消費・安全局植物防疫課国際室輸出検疫班に相談を行った。

担当官の回答は、日本では3種類の害虫は未発生国であるので、燻蒸処理をせずに、植物防疫所で輸出検査を行い、問題がなければ輸出ができる旨であった。

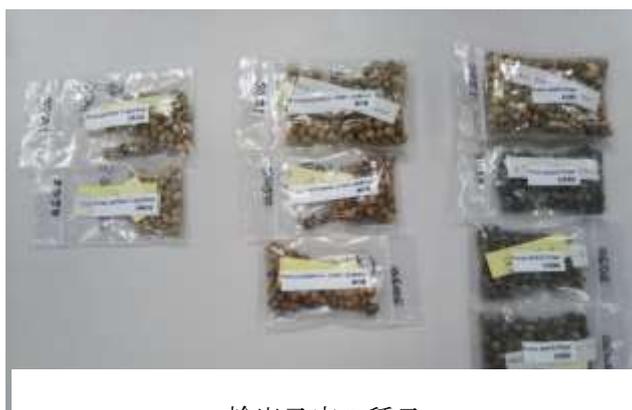
ただし、チリ国が日本を上記3種類の害虫未発生国であることを認めなければ、燻蒸が必要となる旨であった。

後日、チリ大使館を通じて保険当局へカタビロコバチ科3種類の害虫の未発生であることを報告したところ、日本国が3種類の害虫が存在しないことを証明することにより、要求をしている燻蒸処理を不要とする回答を得た。

この回答をもって、農水省の担当官へ報告を行ったところ、証明書については、問題なく発行してもらうこととなった。また、種子については、採取から1年を経過していることもあり、発芽率の低下も懸念されるので、新たに今年の種子を採取し、昨年度の種子を含め送付することとした。

次に、洗浄した種子の輸出検査を受検する必要があるので、横浜植物防疫所を紹介いただいた。また、検査に際しては、受検がスムーズに行われるように、事前に本省から横浜防疫所へ、今回の経緯と持ち込み予定の種子の種類について事前説明を行っていただくこととなった。更に、当日の検査で必要となる植物等輸出検査申請書を事前に電子メールにて送付し、内容について確認していただき、その回答として検査後に発給予定の植物検疫証明書のドラフを頂き申請内容との齟齬について確認を行うことができた。

植物等輸出検査申請書



輸出予定の種子

受検については、担当官と調整し2021年7月13日となった。

当日は、本省から横浜植物防疫所への事前連絡調整を行っていただいたことを始め、都から事前申請や検査後に発給予定の植物検疫証明書のドラフ等のやり取りを行っていたので、スムーズに受検することができた。

主な内容としては、種の汚れ、腐り、割れ、虫食い等について確認を頂き、特に問題なく確認が完了した。

検査後に植物検疫証明書を発給してもらい無事終了となった。

検疫証明書

## Ⅶ 種子の送付

種子の送付はMES（国際スピード郵便）にて郵送する旨をチリ国立ビーニャ・デル・マル植物園への事前に伝えていた。

7月14日、都庁内の郵便局に手続きに赴いたところ、日本国⇒チリ国へのEMSは昨日をもって中止したことを郵便局員から告げられた。

取扱い中止の理由を尋ねたところ、本局からの事前連絡はなく、突然の中止となり郵便局員も困惑していることが伺われた。そのため、その日の内に、民間貨物取扱者へ種子の送付について確認したところ、どこも対応できないと回答を得た。

このことをチリ大使館へ連絡し、大使館からも貨物の取り扱いについて確認をしていたが、同様の回答であった。

種子の送付が通常的手段では送れない状況であるので、チリ大使館と協議し模索することになった。幸いなことに、大使館職員が7月末に本国に帰任する予定が入ったので種子を託すこととなった。

後で分かったことではあるが、諸外国で、新型コロナウイルス感染拡大に関する水際対策の抜本的強化に向け、人の往来の制限、検疫強化、空港貨物取扱者の減少、航空需要の減退による航空便の減少等が重なったことが原因であった。

そして、新型コロナウイルスの終息が見えない中、チリ国に入国する渡航者に対しては、感染予防対策して入国後の隔離期間を設けており、外交官も例外なく10日間を必要とした。そのため、チリ国立ビーニャ・デル・マル植物園へサクラ種子の到着は、8月中旬となった。また、播種については専門家が播種作業を行うので特に問題は無いと思われるが、チリと日本では季節が真逆であるので、念のために以前作成しておいた、サクラの播種から稚苗までの手順マニュアルをスペイン語に翻訳してもらうためチリ大使館へ送付を行った。

翻訳したものは、大使館と通じてチリ国立ビーニャ・デル・マル植物園へ送信していただき、業務を終了することができた。

## Ⅷ 最後に

サクラ種子の送付では、新型コロナウイルスの影響により、色々と想定外の問題を生じたが、何とか送付をすることができた。

今回送ったサクラの種子が発芽し稚苗となり、やがて立派に成長し園内で絢爛豪華な桜の花が咲くことであろう。

そのサクラはやがてチリ国の人々を後世に渡り楽しませてくれる、レガシー的な存在となることと思う。また、日本人会においては、サクラを通して郷愁を感じていただけることであろう。

最後に、サクラの種子送付については、チリ大使館を始め、多くの関係者にご支援頂き、この場を借りて改めて厚く感謝の意を表す。

# 公園・緑地管理における GIS の活用

東京都公園協会 公園事業部 技術管理課 研究開発係  
明石 浩司

## I. はじめに

GISとはGeographic Information Systemの略で、地理情報システムと訳される。位置情報を持つデータを作成、編集、解析し、マップやデータベースとして出力する技術である。都市計画、インフラ整備、防災、自然環境調査、統計調査等、社会経済活動の様々な分野で活用されており、公園・緑地管理においても設計及び情報管理ツールとして期待できる。そこで実際にGISで作成した主題図（特定のテーマを持った図面）を紹介し、課題と展望について述べる。

## II. GIS とは

### 1. GIS でできること

GISは緯度経度のようなグローバルな尺度で位置情報を扱うため、極端に言えば地球上のどこなのかを示すことができる。CADが方眼紙上の製図とすれば、GISは白紙の地球儀上での製図と言える。共通の尺度で位置情報を管理するため作成者が異なっても位置合わせが容易で、図面を簡単に重ね合わせることができる（CADは縮尺や方位を合わせないと重ね合わせができない）。またWebマップサービスに接続することで、シームレス地図の表示が可能である。代表的なサービスは国土地理院の地理院タイルで、地形図や空中写真が公開されている<sup>1)</sup>。点、線、面（多角形）といった図形を作図することで様々なマップを作成でき、図形の数のカウントや距離、面積なども計測できる。これらの図形にはテキストや数値で表される各種情報を付与することができ、それらを一覧表にしてデータベースにすることができる。いわばGISはデータベース付きのマップである。さらにデータベース上で条件検索し、検索結果をもとに凡例分けやカウントができる。これらの機能について表1にまとめた。

表1 GISの機能（従来機器・手段との比較）

従来機器・手段	GISの機能	
地球儀・製図板	空間参照機能	地図や地図上の図形に位置情報を与えることで、作成者が異なっても主題図の重ね合わせができる。
地図帳	Webマップ表示機能	所定のURLに接続することで、Webマップサービスの地図や空中写真（例：国土地理院）を表示できる。
紙・筆記具・定規・製図板	作図機能	点、線、面（多角形）の作図ができる。縮尺や方位も任意に設定可能。
キルビメーター・プランメーター・計算機	空間解析機能	距離や面積を測定できる。
台帳	データベース機能	地図上の図形に各種データ（数値、テキスト）を付与し、一覧表にすることができる。
(なし)	データ検索機能	データの検索ができる。その結果をもとに凡例分けやカウントができる。

## 2. フリーソフト QGIS

QGIS (旧称Quantum GIS) は2009年の初版 (ver. 1. 0. 0) 以降、現在に至るまで継続的に最新版がリリースされている。本稿で紹介する使用例は、2022年2月現在の最新版ver. 3. 16 (長期リリース版) で作成したものである。紹介する機能も同バージョンに基づく。多言語対応しており、世界中で使用されている。フリーソフトでありながら多機能、高機能であり、業務用としても十分使用できる。筆者の所見ではver. 3シリーズになって操作性がかなり向上しており、ライトユーザー向け、または入門用としても推奨できるソフトである。

表2のように行政機関も使用を推奨しており、一般には知名度が低いものの比較的普及しているソフトといえる。空中写真の活用や後述の距離計測・面積計測等の機能を活かせるなどの理由で林業分野での利用が進んでいる。林業分野やその他の分野で解説書<sup>2)</sup> <sup>3)</sup>も市販されており、また多くのウェブサイトで使用方法が紹介されている。筆者もこれらを参考にすることが多い。

表2 行政機関が公開しているマニュアル類の URL (2022年2月現在)

行政機関	分野/内容	QGISのバージョン	作成時期	マニュアル類のURL
国土交通省	地理院地図の閲覧/インストール・データ読み込み設定等	3. 10	2020年11月	<a href="https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/QGIS_manual.pdf">https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/QGIS_manual.pdf</a>
林野庁	森林管理/ポリゴンの作成、紙地図のデジタル化等	3. 4	2021年1月	<a href="https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou_syto/tokatitobu/attach/pdf/index-10.pdf">https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/introduction/gaiyou_syto/tokatitobu/attach/pdf/index-10.pdf</a>
愛媛県	森林管理/ポリゴンの作成、GPSデータの読み込み等	2. 4	2015年3月	<a href="https://www.pref.ehime.jp/h35126/4356/documents/qgis_manual.pdf">https://www.pref.ehime.jp/h35126/4356/documents/qgis_manual.pdf</a>

## III. QGIS の構成

### 1. マップ

#### (1) データの種類

##### ① ベクタデータ

GIS上に表示される様々な情報を地物という。地物は建物のように形があるものの他に、市町村界やゾーニングのような抽象的なもの (実体として見えないもの) も含む。地物は点、線、面 (多角形) の図形で表され、図形で表されるデータをベクタデータという。ベクタデータはシェープファイルという特殊なデータ形式をとり、図1のように同じ名前の複数のファイルができる。点、線、面の区分のことをジオメトリといい、QGISではそれぞれポイント、ライン、ポリゴンと称される (図2)。公園・緑地管理において使用が想定されるベクタデータを表3に示した。ベクタデータの各頂点は位置情報を持っており、後述の投影座標系を用いることにより線は長さ、面は面積を測ることができる。なお一つのシェープファイルは複数のジオメトリを扱うことはできず、図1では草刈範囲を示すポリゴンデータのための扱いとなる。

なおシェープファイルの他にジオパッケージというファイル形式もあるが、本稿では説明を省略する。

表3 ベクタデータの種類

名前	種類	サイズ
草刈範囲図.dbf	DBFファイル	11 KB
草刈範囲図.prj	PRJファイル	1 KB
草刈範囲図.shp	SHPファイル	21 KB
草刈範囲図.shx	SHXファイル	1 KB

図1 シェープファイルの構成

ジオメトリ	公園・緑地内にある地物の例
ポイント (点)	樹木、看板、園内灯、石灯籠等添景物、希少種など。
ライン (線)	フェンス、柵、側溝、点字ブロック、各種配線・配管など。
ポリゴン (面)	草刈などの各種作業範囲、ゾーニング、開園区域など。

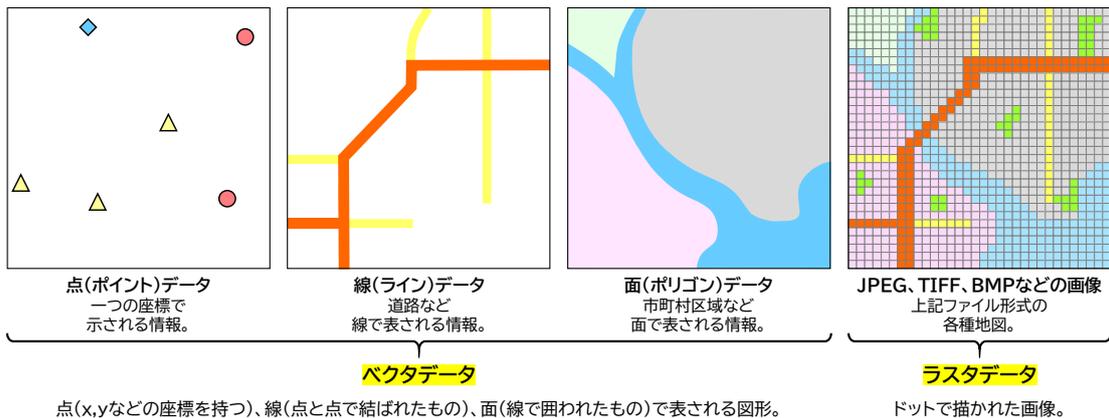


図2 ベクタデータとラスタデータの比較

## ②ラスタデータ

ベクタデータは頂点やそれを結ぶ線で図形を表現するが、JPEGなどの画像データは格子状に並んだドットの集合体により図やテキストを表現している。いわばモザイクタイルに近く、このように表現されるデータをラスタデータという(図2右)。公開されている地理院タイル、公園平面図などスキャンされたまたはCADから出力された画像ファイルはこれにあたる。

## ③プロジェクトファイルとデータファイルの紐づけ

ベクタデータやラスタデータはファイル単体を直接編集するわけではない。QGISではプロジェクトファイル(拡張子.qgz)という統括ファイルを起動して、ベクタデータやラスタデータを読み込んで表示、編集する。CADやofficeソフトは1ドキュメント1ファイルであるが、QGISはプロジェクトファイルと複数のデータファイルの組み合わせからなる。

プロジェクトファイルは手持ちのデータファイルがなくても、web公開されている地図等の閲覧用として使用することができる(図3①)。各ファイルの紐づけ方法は接続先をURLで管理(同①②)することであり、URLがローカルパソコン内でもインターネット上でも紐づけは可能である。公開データにはwebマップサービスのようなweb接続型の他にダウンロード型もある(同③)。ベクタ、ラスタデータの他に、色設定などを行う設定ファイルや入力値のリストも任意で作ることができ、それらの作成や関連づけ(同④⑤)もプロジェクトファイル上で行う。

プロジェクトファイルを使用者ごとに作成しても、データファイルは使用者ごとに複製する必要はない。同一単一のファイルを、複数のプロジェクトファイルに紐づけることが可能である。すなわち一つのファイルを複数の使用者で共有することが可能である。

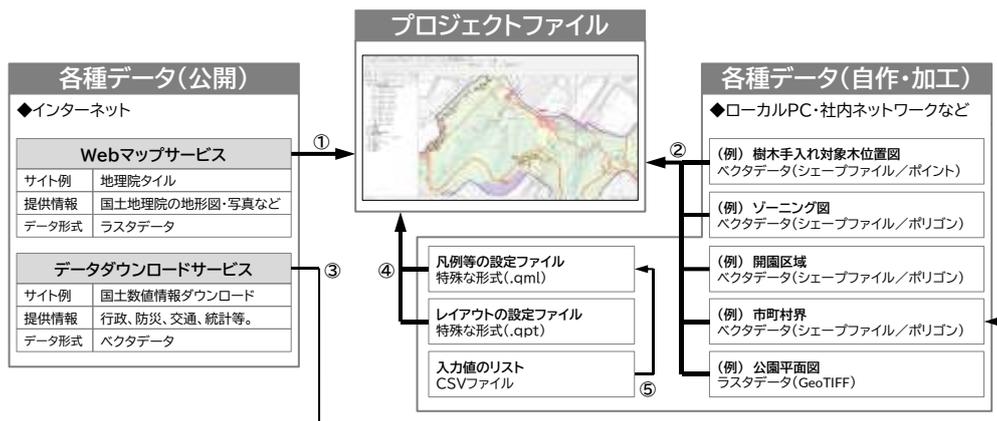


図3 プロジェクトファイルとデータファイル

(2) レイヤと主題図

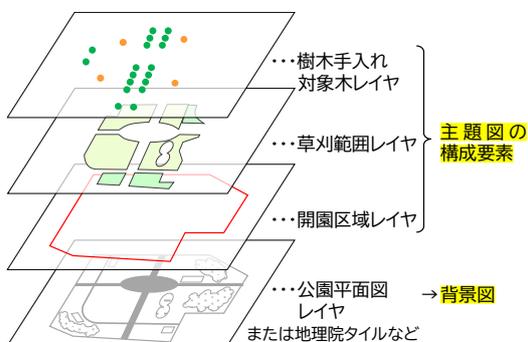


図4 レイヤのイメージ

プロジェクトファイルに表示されるベクタデータやラスターデータの1枚1枚のことをレイヤといい、それらは重ねて表示できる(図4)。透過することもできるので、重ねていながら上下のレイヤを同時に見ることができる。単数または複数のレイヤにより、何らかのテーマを持った図として表示されたものを主題図という。位置を参照する基盤となる図を背景図といい、地理院タイルの各図や取り込んだ公園平面図などがこれにあたる。

2. 属性テーブル

レコード	フィールド	値	属性直径
1	B001	ソメイヨシノ	73
2	B002	ムラサキシキブ	7
3	B003	エゴノキ	20
4	B004	アカメガシワ	14
5	B005	クヌギ	62
6	B006	コナラ	18
7	B007	エノキ	64

図5 属性テーブルの例

マップ画面とは別に、ベクタデータに付加された情報を属性テーブルで一覧表示することができる。縦方向の列は入力項目を示し、フィールドという。図5の①は樹種名が入るフィールドである。横方向の行は個々の図形の情報を示し、レコードという。例えば図5の②はB005番のクヌギのデータが入っている。表計算ソフトのシートに似ているが、クロス集計はできない。あくまでもデータの格納だけであり、その意味で名簿に近い。後述する凡例表示や空間解析を行うための属性検索(図12)の基盤であり、いわばデータベースである。CSVファイルとして出力できるので、データをExcel等で利用することができる。

### 3. レイアウト



図6 レイアウトのイメージ

印刷またはファイル出力のレイアウトのことをQGISでは単にレイアウトと呼んでいる。これもマップ画面とは別の画面で開く。レイアウト上では図6のように地図画面や凡例および方位記号やスケールバーなどの地図整飾、図や表を任意に配置することができる。用紙サイズやページ数も任意で設定できる。地図の縮尺や角度の設定もレイアウト上で行う。

## IV. 準備

### 1. 位置の表し方の定義

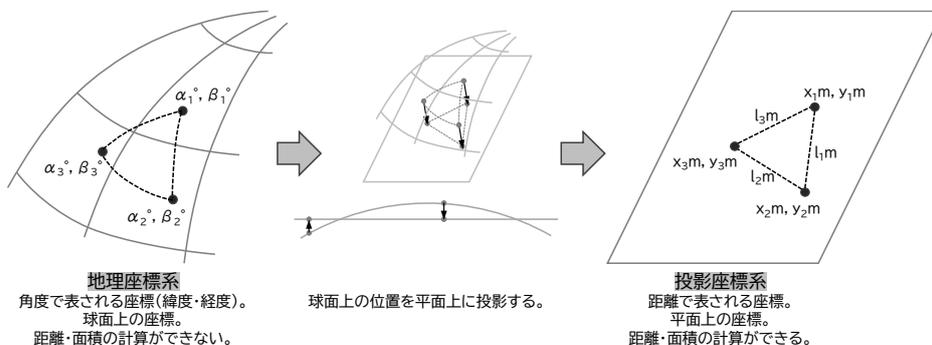
#### (1) 座標参照系

地物の位置を示す座標の定義は、地球上の場所（国や地域）や時代によって異なる。QGISを初めて使用する（またはプロジェクトファイルを新規作成する）場合は、位置座標の定義づけから始めなければならない。この定義づけのことを座標参照（または空間参照）といい、それぞれの定義を座標参照系（CRS:Coordinate Reference System）という。

#### (2) 測地系と座標系

地球は楕円体に近似されるがそのモデルは一つではなく、どれを適用するか決める必要がある。緯度経度の決め方は、かつては国や地域によって異なるローカルルールだったが、現在では世界共通の基準が使われている。緯度経度の基準は共通でも地域的に原点を決めたうえで適用している。つまり原点の場所とその座標を決めたうえで、対象区域（例えば一つの国）の緯度経度が決まる。このような地球のモデルや緯度経度の決め方に関する定義を測地系という。

位置は座標で表し、表し方の定義を座標系という。座標の単位は2種類あり角度（緯度経度）と距離で表される。角度で表す定義を地理座標系といい、球面の世界を表す。距離で表す定義を投影座標系といい、球面の座標を平面上に投影して位置を表している（図7）。球体に板を差し込んで位置を投影するイメージである。投影座標系では投影面ごとに原点を定めなければならない。また誤差



を小さくするためには投影面を細かく分けて作る必要があり、その分定義も細分類される。

図7 地理座標系と投影座標系

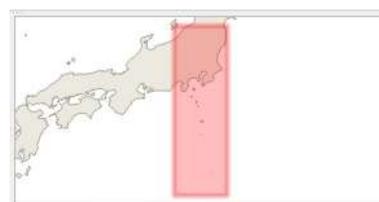
### (3) 平面直角座標系と EPSG コード

距離や面積を算出する必要がある公園・緑地業務では投影座標系が適している。日本の場合、投影座標系のうち平面直角座標系を用いる。平面直角座標系はGISが登場する前の紙地図の時代から公共測量で用いられており、行政機関が作成、使用する図面において位置を表す基準として普及している。国内を19の系（エリア）に分けて、それぞれに原点が決められている。

座標参照系は世界中で無数にあるためEPSG（European Petroleum Survey Group）コードという世界共通のコードで整理されており、QGISではこれを用いる。日本の座標参照系も表4のように網羅されている。東京都の平面直角座標系とEPSGコードは図8に示したとおりである。

表 4 座標参照系と EPSG コード

		測地系 地球の形の定義・緯線経線の引き方などを決める。				
		Tokyo 明治以後 2001年まで 使われていた。	JGD2000 世界基準に合 わせて2001 年から。	JGD2011 一部地域で震 災時の地殻変 動を反映。	WGS84 GPSで使用 される。 JGD2000 等とほとんど 同じ。	
準拠楕円体⇒		ベッセル 楕円体	GRS80 楕円体	GRS80 楕円体	WGS84 楕円体	
座標が緯度経度かXYか 座標系	地理座標系 (緯度・経度)	4301	4612	6668	4326	
	投影座標系 (X・Y)	UTM 座標系	102151~ 102155	3097~ 3101	6688~ 6692	32651~ 32656
		平面直角 座標系	30161~ 30178	2443~ 2461	6669~ 6687	
		Web メルカトル				3857



第IX(9)系 EPSGコード6677  
東京都本土部・伊豆諸島(有人島は青ヶ島まで)  
及び関東甲信越地方



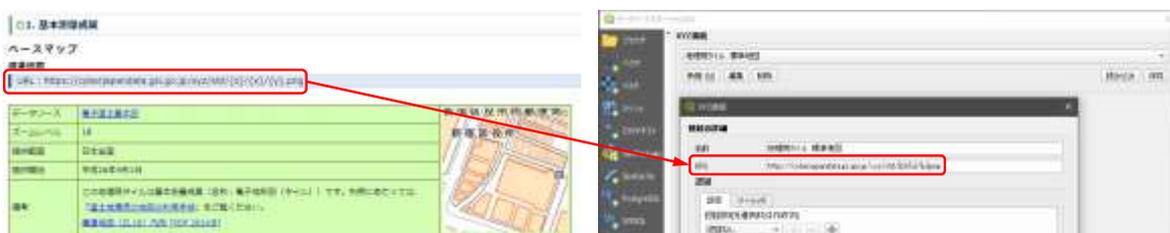
第XIV(14)系 EPSGコード6682  
東京都小笠原村(沖ノ島と南鳥島を除く)

図 8 東京都の平面直角座標系  
QGIS の画面より

## 2. 背景図の設定

### (1) 地理院タイル

プロジェクトファイルを新規作成するとマップ画面は白紙状態なので、どの場所を示しているのかがわかるように背景図が必要である。日本の場合、国土地理院が地形図を公開しているのでこれを活用するとよい。図9のように国土地理院のホームページ<sup>1)</sup>で接続先URLが公開されているので、これをQGISで接続設定すると各種地図や空中写真が表示できる。



国土地理院のホームページより  
各地図の接続先URLが示されている。  
地理院タイル <https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

QGISの接続先設定  
名前欄は任意、URL欄は左記のURLを入力する。

図 9 地理院タイルの接続

## (2) 基盤地図情報

地理院タイルはラスターデータなので、拡大すると画像がぼやける。国土地理院のホームページにある基盤地図情報サイトから地形図情報をダウンロードしてシェープファイルにすることができる。これを使えばシャープな見た目にでき、線の太さや色も任意に設定できるが、手順はどちらかと言えば中級者向けである。本稿では上記紹介にとどめ、説明を省略する。

### 3. 公園平面図の取り込み

#### (1) ファイル形式

業務で使用するには国土地理院の地図では公園の詳細を表示しきれないため、当然公園平面図が必要である。電子ファイルになっていればQGISに取り込むことが可能で、JPEG、BMP、PNG、TIFF、PDFなどの各形式に対応している。その際、縮尺や角度は問わない。一方でCADから出力したDXF、DWG形式は取り込めないので上記ファイル形式に変換する必要がある。

#### (2) ジオリファレンス

平面図を取り込むとは、すなわち平面図に位置情報を与えることであり、QGISではジオリファレンスという機能を使用する。地理院タイルなどの背景図(図10A1及びA2)と公園平面図(図10B)の同一箇所に点を打ち(図10①②)、それを数回繰り返すだけで簡単に位置合わせができる(図10C)。原理は公園平面図上に座標を与えることであるが、数値を手入力するのではなく、点を打つだけの直感的操作で入力できる(数値入力も可能)。

※①②の・は実際のQGIS画面よりも大きく表示している。



図 10 ジオリファレンスによる公園平面図の取り込み(日比谷公園日比谷門付近)

Cの赤紫色に着色したものがジオリファレンス後の平面図。空中写真は地理院タイルを使用。

## V. 主題図の例と機能の紹介

### 1. ポイントデータの作成例

#### (1) 樹木手入れ対象木位置図

剪定や枯枝処理、及び伐採処理等を樹木手入れと総称しており、公園・緑地における基本的な維持管理作業である。ここで紹介するのは大泉中央公園の例で、作業を計画的に行うことと、そのために記録を残すことを意図してQGISで作成した。基本情報として園内の樹木を全部調査し、最初に樹木位置図を作成した。図11のように樹木位置図レイヤとして表示し、凡例は落葉広葉樹等3分類で色分けしているほか、ラベル機能を使って樹木番号と樹種名を表示している。次に作成した樹木手入れレイヤでは工種を示しており、さらに候補か処理済みかを色で分けている。GISでは、入力時はポイントの位置を落とすだけで、その都度色塗りや形の指定しているわけではない。入力した属性情報（図12①）を検索し（図12②③）、それに合致した場合（trueである場合）に指定した凡例（図12④）が表示される仕組みになっている。凡例は色や図形を自由に指定、組み合わせができるので、独自のものを作成できる。ラベルも同様に、表示するフィールドと表示方法を指定するだけでよく、1文字1文字をマップ上で手入力しているわけではない。すなわち凡例もラベルも、ルールを与えたうえでGISが自動で表示している。



図 11 樹木手入れ対象木位置図（大泉中央公園・例示のため一部は架空データ）



図 12 樹木手入れ対象木位置図の属性テーブルとシンボル設定のプロパティ

図11では樹木位置図レイヤと樹木手入れレイヤに分けて凡例を表示しているが、実際は一つのシェープファイルで作成している。レイヤごとに参照するフィールドを分ければよいので、多数のシェープファイルを作る必要はない。

### (2) ウメ品種マップ

ポイントデータは点状に分布するものに適しており、維持管理の主たる対象である樹木はGISで情報を管理することに適している。図13はウメの品種分布についてマップ化したもので、凡例は花色で分け、品種名をラベルで示している。さらに右下にPという添え字（これも独自に作成した凡例）があるものは、ポイントをクリックすると写真が開く仕組みにしている。この場合もURLによる紐づけで、ポイントの属性にはリンク先のURLを入力しておく。



図13 ウメ品種マップと画像のリンク（向島百花園）

### (3) 直径階別樹木位置図

図14のようにAND検索や範囲検索などを組み合わせて表示することもできる。胸高直径20cm、40cmを区切りに三段階で表すため、ルール設定として図のような計算式を与えている。このように不等式の演算子を使えば数値の範囲検索ができる。

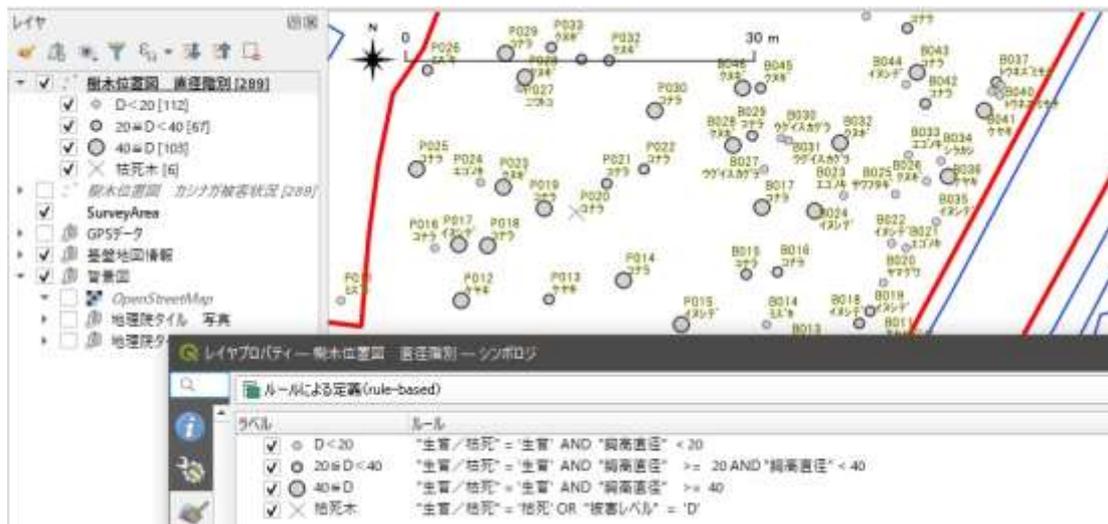


図14 直径階別樹木位置図（和田堀公園）

#### (4) その他の例

このほか樹木管理分野では、樹木診断木位置図、松枯れ対策の薬剤注入木位置図、カシノナガキクイムシ被害木位置図などが作成されている。これらは毎年または数年間隔で追跡調査または継続作業を行うので、マップとデータベースが一体となっているGISは非常に便利である。さらに仮設看板など、維持管理以外の情報管理でも主題図が作られている。

### 2. ラインデータの作成例

#### (1) 雪害対策（除雪優先度区分）図

ラインデータは線状の情報の管理に用いる。図15では園路の除雪を限られた職員数で効果的に行うために優先度を設けており、北側の住宅地と南側の駅方面を結ぶ、生活道路として最も通行量が多い園路を優先度1にしている。除雪を積雪中から行い、1のラインが終われば2、3、…、状況により再び1、と順次展開することで通行を速やかに確保している。比較的簡素な情報なのでGIS以外の方法でも作図できるが、園路のシェープファイルを複製することで短時間での作図が可能である。また既往のレイアウト（図6）を転用しているため、他の図面との統一感を出すことができ、追記・修正も容易に行える。



図 15 雪害対策（除雪優先度区分）図（小山内裏公園）

#### (2) その他の例

平面図上で線状に表示される施設の一つにフェンスやロープ柵がある。草刈作業の中にはフェンス沿い幅2メートルといった指定がされることがある。この場合、フェンスのラインデータを作成し、2メートルのバッファを作成すれば草刈範囲をポリゴンで表示できる。フェンス等がなくても、一定幅のポリゴンを作成する際の基準線としてラインを用いることもある。バッファについては後述する（V4. (3)）。

### 3. ポリゴンデータの作成例

#### (1) 芝刈・草刈範囲図

芝刈、草刈も公園・緑地の基本的な維持管理作業である。樹木手入れと異なり面的な作業なので、GISでは作業範囲のポリゴンを作成する。凡例は対象（芝・草）、工種（使用機械や集草の有無など）、年回数（繰り返し数）などで区分される。図16では便宜上、工種を芝刈A、草刈Bのように表示している。ポリゴンは色分けだけでなくハッチングも任意に設定できる。ラベルによる文字表現も加えて多彩な視覚表現ができる。ポリゴンの表現もポイント同様、属性テーブルを検索することで表示分けをしている。



図 16 芝刈・草刈範囲図（砵公園・例示のため一部は架空データ）



図 17 フィールド計算機と計算式の入力

GISではポリゴンの面積の計測も容易にできる。QGISではフィールド計算機という機能を使用する。Excel等の表計算ソフトのようにセルに計算式を入れるわけではなく、属性テーブルに計算結果だけが表示される。図17はフィールド計算機を使った面積計算の例で、「面積㎡」というフィールドを対象に、「area(\$geometry)」という関数を実行させている。この式によりポリゴンの面積が平面図上の値として出力される（他に\$areaという関数もあり、こちらは楕円体の面積として計算される）。

#### (2) その他の例

園地清掃範囲図、ゾーニング図など、公園・緑地管理では面情報として表すものが多い。特殊な例では、植生図やハザードマップ、保安林などの法規制区域などにも使える。開園区域は線で表されるが、区域を表すためラインではなくポリゴンとして扱われる。

#### 4. 空間解析の例

空間解析とは地物の計測や抽出、等距離範囲の表示、DEM (Digital Elevation Mode : 数値標高モデル) を使った等高線図や傾斜区分図の作成、メッシュ解析など、幅広い内容を持つ。手作業では労力がかかることをGISでは短時間で処理できる。ここでは一部の例を紹介する。

##### (1) カウントや計測

レイヤの凡例ごとの地物数のカウントは比較的簡単である。レイヤ設定で「地物の数を表示」にチェックを入れるだけで、図11のように1個なら[1]と凡例の右端に表示される。前述 (V 3. (1)) の図17で示したフィールド計算機を使用すれば、全てまたは指定した地物の面積等を一括して計測し、属性テーブルの指定のフィールドに自動入力される。このほか、ポイントはx座標、y座標、ポリゴンは周囲長も計測、入力できる。

##### (2) レイヤ間の属性転記

図18①の樹木位置図(階層別)レイヤは樹種、樹高、胸高直径、位置などを調査項目とした毎木調査の結果を示したものである。この情報をもとに樹林地全体を複数のエリアに細分したものが同②樹林地区分レイヤである。したがって樹木位置のポイントデータを作成している時点では、各樹木が樹林地区分のどのポリゴンに属すかわかっていない。これをQGISの機能を使って、各樹木がどの区分に属すかを自動的に判別し、区分名(ポリゴンの属性)を各樹木(ポイント)の属性に後から転記することができる(図18③④)。QGISでは空間解析機能は図中右に示したプロセッシングツールボックスにまとめられている。この例では「属性の空間結合」という機能を使用した。



図 18 樹木位置図と樹林地区分 (和田堀公園)

### (3) バッファの作成



図19 片側バッファで示された草刈範囲（向島百花園）  
赤色のラインに対し、緑色で示したポリゴン  
が0.4メートルのバッファ。

バッファとは等距離の範囲のことで、ジオメトリはポリゴンである。ポイントでは同心円状になり、ラインやポリゴンでは縁取り状になる。このバッファ作成機能も図18で示したプロセッシングツールボックスに格納されている。ラインのバッファは左右両方または片側でも作成できる。図19は幅0.4メートルのバッファで基準線（赤色のライン）に対し片側バッファを作成し、幅が一定の除草範囲を示している。

### (4) 等高線の作成

- 1 基盤地図情報ダウンロードサービスのサイトから該当範囲のデータをダウンロードする。(地図上で選択できる)
- 2 XMLファイルをTIFFファイルに変換する。
- 3 TIFFファイルをQGISに取り込む。
- 4 QGISのラスタ管理ツールを使用して、TIFFファイルから等高線を作成する。(この時、等高線間隔を任意で設定できる)
- 5 等高線レイヤが新たに作成される。(一時レイヤなので、新規のシェープファイルとして保存する)

図20 DEMをQGISで読み込むまでの手順

国土地理院は全国のDEM（数値標高モデル）を公開している<sup>4)</sup>。これは航空レーザー測量により地表面の標高を5メートルまたは10メートル間隔の格子点で表したものである<sup>4)</sup>。このデータを利用して、等高線図や傾斜区分図などを任意の設定で作ることができる。図20はその手順を示したものであるが、やや中級者向けである。

図21は等高線間隔を2メートルで作成したものの（緑色）である。既存の公園平面図（灰色）の等高線も2メートル間隔であるが、これに比べるとDEMの等高線は微地形が詳細に表現されている。特に斜面の谷地形やかつての崩壊地形などが浮かび上がっている。

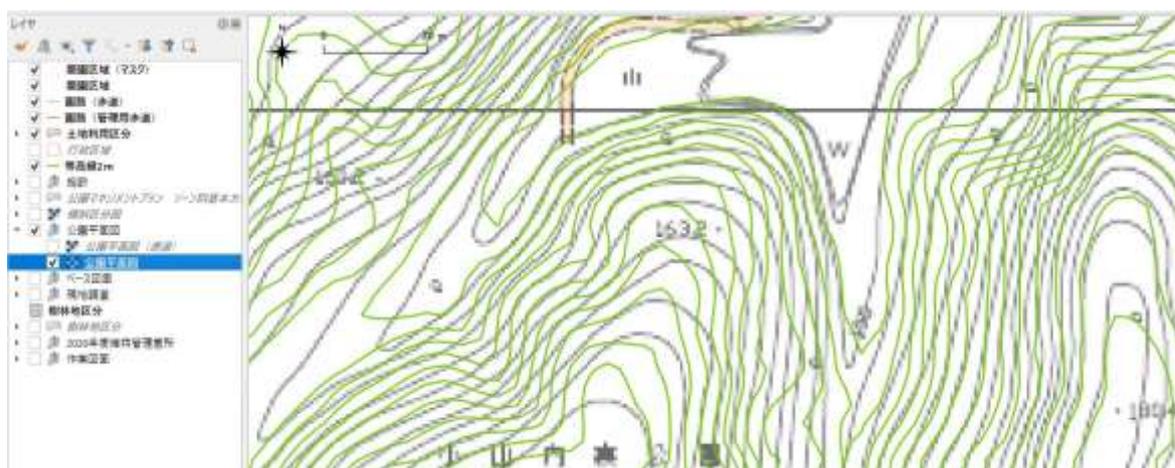


図21 2メートル間隔の等高線図（小山内裏公園）

灰色：背景図（公園平面図） 緑色：DEM から作成した等高線図

## 5. その他の機能

### (1) GPS データの表示

スマートフォンのGPSアプリや登山等で使用するハンディGPSのトラックデータやポイントデータをGPXファイル形式に出力すれば、QGISで表示することができる。さらにGPXファイルをシェープファイルに変換すればGPSデータの編集も可能である。すなわちGPSで記録した単純な位置情報に、GIS上で様々な属性を付与することができる。使用例としては、トラック機能は点検系の作業などで経路表示（ルートマップ）など、ポイント機能は樹木位置や希少種等保全対象種の位置などが挙げられる。GPSは樹林地のように園路や構造物などの目印に乏しく、紙図面での位置確認が難しい場所での使用に有効である。ただし受信状態が良好な状態でも位置精度は半径3メートル程度で、使用の際は注意が必要である。

GPXファイルをシェープファイルに変換せず、シンプルな使い方もできる。図22は樹木医による樹木診断木の位置図で青色の線がトラックである。ポイントは記録していないが、トラックの集中部分だけでもおよその位置が判断できる。

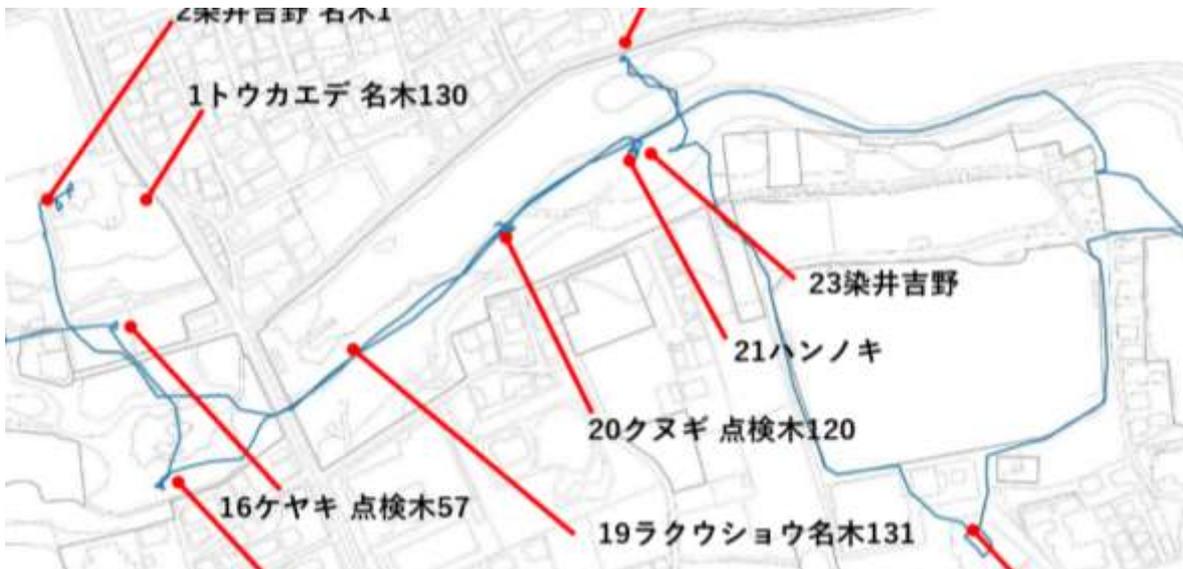


図 22 樹木診断木位置図（石神井公園）

青色のラインが GPS で記録されたトラック

### (2) ファイルリンク

図13に示したように写真画像をポイント等地物に紐づけて、マップ上で地物をクリックしてファイルを開くことができる。これは画像ファイルだけでなく、使用パソコンで開けるファイル形式であれば何でもよい。すなわち、officeソフトで作成した各種ドキュメント、CADで作成した竣工図などでも、ソフトがインストールされていれば開くことができる。この機能をもつぱらの目的としたインデックスマップのような主題図も作ることも可能である。例えばパウチ看板のマップを作り、看板位置のポイントに張り付け方を示した写真や、原稿ファイルを紐づけておくと看板の更新の時に便利である。その他、施設竣工図のアーカイブなどにもインデックスマップは役立つだろう。

## VI. 課題と展望

### 1. 課題

#### (1) 公園平面図の整備

ジオリファレンス機能により公園平面図を読み込むことができる(IV3.(2))が、位置情報付きの図面に変換すると画質が落ちる。また簡単とは言え、分割図ごとにジオリファレンスを行うのは手間である。他にも、そもそも情報が古い、古い紙図面をスキャンしたため画質が悪い(年代的に大容量にできなかった)、紙幅に合わせた方位設定など、これまでの図面管理には現在の視点からすると様々な不利不足がある。

今後、新規に整備する公園平面図はGISに対応することが望まれる。例えば、紙出力に合わせた体裁をやめる(真北を上にする、分割図にしない)、位置情報をつけておくなどである。いっそ最初からシェープファイルにしておけばジオリファレンスの手間もなくなり、属性を付与できるなどの利点がある。以上を含め、現状と今後の仕様(案)について、表5に整理した。

表5 公園平面図の現状とGISでの使用を前提とした仕様(案)

①現状 (紙出力の便宜に合わせた体裁)	②現行の平面図を GISで読み取り	③GISに対応した仕様 (シェープファイル化)
・DXF、DWG形式。またはJPEG等 画像ファイル形式。	→	・ジオリファレンスによりTIFF 形式に。
・情報が古い。 ・なかなか更新されない。	→	・シェープファイル形式。 → ・随時更新できる。 ・該当部分の更新でよい。
・紙出力をスキャンしたものは 画質が悪いものがある。	→	・真北が上でない場合は、角度 回転を伴うジオリファレン スによりさらに劣化。 → ・ベクタデータなのでシャープ な見た目。
・紙出力に合わせた分割図。	→	・見かけ上はシームレス。 ・多数に分割されている場合は その分ジオリファレンスの 手間がかかる。 → ・最初からシームレス。
・紙幅に納めるための方位設 定。	→	・任意の方位にできるが、文字 の向きは紙図面のまま。 → ・任意の方位にできる。文字(ラ ベル)は、マップの角度を変 えても横書きなら横書きの まま表示できる。
・縮尺は500分の1などに固定。	→	・縮尺設定不要。 → ・ただし出力に合わせ、小縮尺 用の詳細版と大縮尺用の簡 易版があるとよい。
・位置情報が無い。	→	・ジオリファレンスにより位置 情報を付与。 → ・最初から位置情報あり。 (ジオリファレンス不要)
・図面に描かれた情報のみ。 ・施設台帳は別。	→	・属性を与えることが可能。 → ・平面図でありながら、施設台 帳(データベース)として使 用可能。
・DXF、DWG形式であればカラー 表示可能。	→	・読み取り画像が単色であれ ば、ジオリファレンス後も単 色。 → ・属性ごとに色分け可能。

## (2) GIS の理解と習熟

### ① データ構造などの理解

シェープファイルが複数できる、全てのデータはURLで紐づけるなど、通常のofficeソフトとはファイルの扱いが異なる。またプロジェクトファイルは使用者別に複数作っていても、紐づけ先のデータ（シェープファイル）は同一単一である。このような特徴は、初心者には馴染みにくいと思われる。

また入力値も統一しておかないと検索漏れが生じ、結果的に表示漏れにつながってしまう。V章で示したように、凡例分けやカウントは指定されたフィールドの入力値を検索して処理している。フィールド名や入力値の表現が異なると検索を実行しても適正な結果が得られない。例えばフィールドが「草刈工種」であれば、検索フィールドを「工種」や「草刈種別」としてしまうと検索できない。同様に検索値が「草刈 I」であれば、「草刈り I」や「草刈1」という入力値は検索しても抽出されない。検索処理は厳正なものであり、デジタル慣れが必要である。

### ② 使い方の習熟

担当者によってはGISを日常的に使うとは限らず、慣れるための機会や時間の確保が難しいと思われる。特に空間解析機能は便利だが使用機会も稀でそもそもどんな機能があるかがわからない。したがって最初から多機能をこなすのではなく、基本操作だけで簡単な主題図を繰り返し作成、編集することがトレーニングになると考える。なおV章で紹介したマップは、QGISを使用して3か月程度の職員も作成している。難しいと思われがちだが、基本を理解すれば短期間で習得できる。

### (3) 共通のルール作り

業務で使用するデータは組織のものであり、自分が作成したデータは他の職員が使用する前提で管理すべきである。GISではそれが強く求められる。したがって共通のルール作りが必要で、次の二点に整理した。

一つはデータの格納先のルールである。格納フォルダの1次階層から個別の業務項目で分けると際限がなく増えてしまい、探しにくい。作成者の所属部署→事業年度→業務項目、というように階層が進むに従い全般→個別、普遍→特殊、不変→可変、小数→多数という分け方をすると扱いやすい。もう一つは入力値のルールである。これは入力値の統一など上記 (VI1. (2) ①) で示したとおりであるが、ルール作りは組織的に行うことが望ましい。

## 2. 展望

### (1) 業務の標準化・適正化

上述 (VI1. (3)) した共通のルール作りを行うことにより、特に設計業務ではGISを使うとおのずと標準化に進む。標準化により担当者の自己判断による部分が小さくなり、組織として統一的な業務執行、あるいは適正化が維持できる。

### (2) 新たな情報管理手段として

表5でも触れたが、公園平面図をシェープファイル化すれば平面図そのものに属性を付与できる。図23は水元公園の施設基数表示図 (PDFファイル) をQGISに取り込み、地理院タイルの最新写真を背景にして表示したものである。同図は東部公園緑地事務所により令和1年度と2年度

に行われた施設測量業務の成果物の一つである。表示内容はあらゆる施設であり、管理者必携の資料である。凡例はコードで分類され、例えば図中に多い「6-1」は木製ベンチを示す。これは一見ただけでGIS的なマップである。ただしこのままでは単なる図面であって、ベンチなどの一つ一つの情報は当然無い。これを凡例別に属性を分けてシェープファイル化できれば、平面図でありながら施設台帳として活用できる。指定管理者は維持管理箇所や変更箇所について記録しやすくなる。報告を受ける東京都も管理状況を確認しやすくなり、情報資産としても豊かになると思われる。そのようなやり取りはまさにデータの共有化であり、そのためには前述したようにルールや仕様の共通化が必要である。

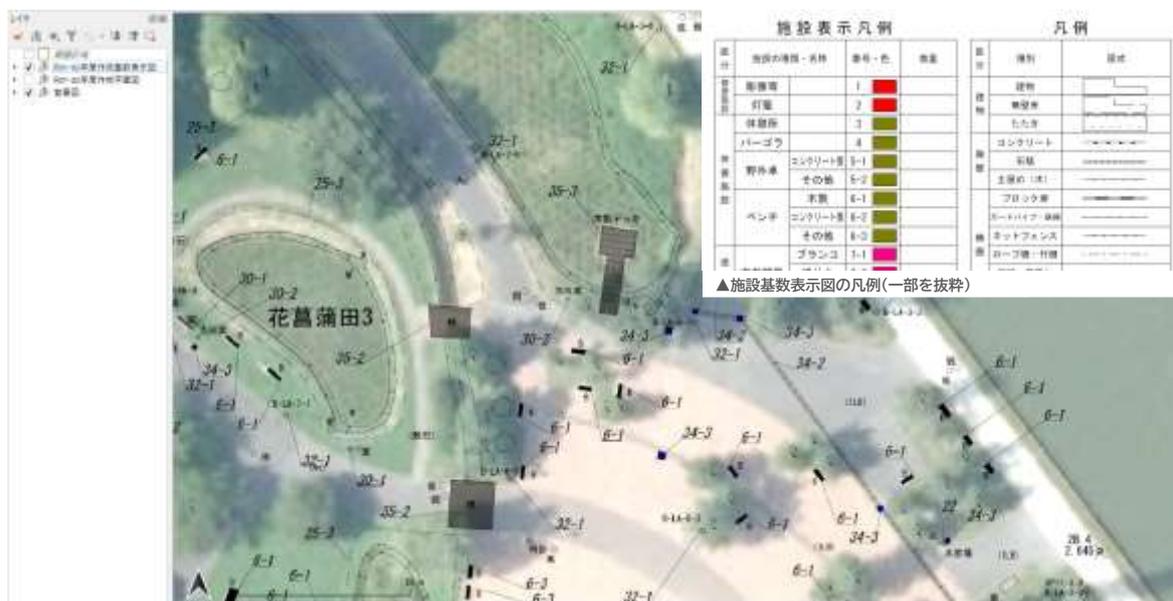


図 23 QGIS に貼り付けた施設基数表示図（水元公園）

基数表示図は単色にして表示。背景の写真は地理院タイルを使用。

### (3) オペレーターからプランナー、プレゼンターへ

V章で紹介したようにQGISはフリーソフトでありながら多彩な視覚表現ができる。しかしこれは単なるデザインの美化ではない。データを可視化することにより、潜在的なものが顕在化する。図11の樹木手入れ対象木位置図では候補と処理済で色分けしており、計画と執行状況とが一目瞭然でわかる。候補木を公園全域にわたり挙げておけば、今後なすべき樹木手入れの全体像がわかる。近年各公園でカシノナガキクイムシの被害（ナラ枯れ）が見られ、一部の公園では被害状況をGISで情報管理している。小山内裏公園では被害木の情報（位置とランク）をGISで管理し、分布（範囲と集中度）を可視化することで対策の優先度を決めている。このように維持管理の対象物の状況を可視化することで、次の一手をどう打つべきかが見えてくる。

当初筆者は図16や図19のような設計ツールの使い方だけを想定していたが、現場職員の活用状況を見て、現在ではむしろマネジメントツールとして有効であると認識している。GISを設計ツールとして使う場合は、使用者はすなわちオペレーターである。しかしGISはそれにとどまらず、公園・緑地管理者が公園のプランナー、管理ビジョンのプレゼンターとして、その公園をどうしたいかを表現できるツールでもある。

#### (4) データの連携・蓄積

GISの持ち味は他者（多者）をつなぐことにある。前述（Ⅲ1. (1)③）したように、一つのデータを複数の使用者で共有できる。都立の公園・緑地は、東京都、指定管理者、様々なボランティア団体がかかわっている。事業や活動が多いほど管理の全体像がわかりにくくなるので、これらの管理情報を統括するのにGISは大変有効である。GISでは作成者が異なっても簡単に重ね合わせができるので、それぞれが自身の業務範囲、活動範囲の情報を持ち寄れば、おのずと一つの公園の全体像が浮かびあがる。これにより管理の重点箇所や必要箇所の抽出、業務重複の回避などができる。こうしたことからGISはマネジメントツールといえる。

#### Ⅶ. おわりに

筆者は初心者の指導時にGISは寄せ鍋のようなものと説明している。もちろんこれだけは細かい点は説明しきれないが、次のように例えている。GISは、みんなでいろいろな食材（データ）を持ち寄って、一つの鍋（一つの公園のGIS）を囲み、公園づくりのビジョンを語り合う、そんなイメージである。逆に言えば、鍋会があるからこそ人や食材が集まる。他者（多者）や多様なデータを引き寄せ、多彩な味わいを提供できるのがGIS鍋である。

#### 謝辞

本稿を執筆するにあたり、様々な方に協力していただきました。大泉中央公園サービスセンターの石井康平氏、向島百花園サービスセンターの田口杜氏、小山内裏公園サービスセンター長の山田智氏、防災区部西エリア維持係の小海隆氏、公園事業部事業管理課維持係の松元信乃氏（以上掲載順）からは、QGISで作成したマップ等について紹介していただき、本稿での掲載について了解をしていただきました。このうち山田氏と松元氏からはQGISやGPSの使い方について、日ごろから有意義な意見をいただきました。FIT（森林インストラクター東京会）杉並会の会長宮崎健様をはじめとする会員の皆様には、共同で行った樹林地調査のマップの掲載についてご理解をいただきました。これらの皆様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

#### 参考文献・Web サイト

- 1) 地理院タイル一覧. 地理院地図（電子国土Web）.  
<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>, (2022-2-28)
- 2) 竹島喜芳. フリーソフトでここまで出来る実務で使う林業GIS, 全国林業改良普及協会, 2014, 316p
- 3) 喜多耕一. 業務で使うQGISver. 3完全使いこなしガイド, 全国林業改良普及協会, 2019, 632p
- 4) 基盤地図情報ダウンロードサービス. 国土地理院.  
標高<https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>, (2022-2-28)

# 都立公園の小面積皆伐によるナラ枯れ被害の回避 ～桜ヶ丘公園こならの丘～

公益財団法人東京都公園協会 事業管理課  
維持係 阿部好淳・松元信乃

## I. はじめに

### 1. ナラ枯れとは

ナラ枯れ（ブナ科樹木萎凋病）は、カシノナガキクイムシ（以下、カシナガという）が媒介し、ナラ菌 *Raffaelea quercivora* と呼ばれる菌類によって引き起こされる樹木の伝染病である。被害を受ける樹種は、ブナ属を除くブナ科樹木であるが、特にコナラやミズナラの大径木は被害を受けやすいとされる。

カシナガは集合フェロモンを放出することで他の成虫を呼び寄せ、被害木を集中加害（マスアタック）する。その際排出される木くずはフラスと呼ばれ、穿孔痕の周りや根元に堆積する。カシナガによって持ち込まれたナラ菌は坑道内で増殖し、被害木の通水機能を奪う。カシナガの穿孔を受けた被害木のなかには枯死に至るものもあれば、部分的な枝枯れを起こしたのちに復活するものもある。

### 2. 公園でのナラ枯れ被害状況

東京都公園協会（以下、公園協会という）では、都立公園ではじめてナラ枯れの被害を確認した2019年以降、毎年おおむね10月に指定管理を行う都立公園60か所でナラ枯れ調査を行ってきた。三年間で被害総数（枯死木の本数、フラス・枝枯れありの本数、フラスあり・枝枯れなしの本数の合計）は右肩上がりに増加し、2021年度の調査では4000本を超えた。新たに被害を確認する公園等の箇所数も増えていることから、ナラ枯れ被害は今後も続くとみられる。

### 3. ナラ枯れと皆伐更新

ナラ枯れは古くから日本国内で確認されてきたが、今日になって被害を拡大させている背景のひとつには、雑木林等の樹木の大径木化がある。そもそも、雑木林には皆伐更新という管理手法があり、この方法では一定の年数で樹木を伐採し燃料等に利用するため、カシナガが好む大径木が生まれない。皆伐更新は、ナラ枯れの根本的な対策としてもっとも効果的であるといわれている。



図1. カシノナガキクイムシ雄成虫（体長5mm）



図2. ナラ枯れした樹林

しかし、皆伐更新によってナラ枯れがどの程度抑制されるかを検証した事例は乏しい。本調査は皆伐更新を30年間行ってきた桜ヶ丘公園こなるの丘におけるナラ枯れ被害を調べることで、皆伐更新のナラ枯れ抑止効果を検証することを目的とした。

## II. 調査地と調査方法

### 1. 調査地の概要と目的

都立桜ヶ丘公園（東京都多摩市連光寺三丁目、五丁目）は多摩丘陵自然公園に位置し、開園面積の広範囲を造成前から残る雑木林（コナラ・クヌギを主体とする二次林）が占めている。桜ヶ丘公園はおよそ60年前に都市計画決定され、昭和59年に開園した。開園から7年後の平成3年にはボランティア団体『桜ヶ丘公園雑木林ボランティア』が結成され、現在に至るまで園内にある雑木林『こなるの丘』で小面積皆伐を行ってきた（図3）。

小面積皆伐は、一定の区画を決めて定期的に区画内のすべての樹木を伐採し、切り株から新たな樹林を再生させる皆伐更新のひとつである。今回調査を行った『こなるの丘』においても15個の区画が設定され、現在14年周期の小面積皆伐が行われている。こなるの丘には『皆伐エリア』と皆伐を行わない『緩衝帯』があり、この対照的な特徴をもつ2つのエリアを対象にナラ枯れ被害調査を実施した（図4）。

### 2. 調査地①皆伐エリア

皆伐エリアはおよそ0.4haの面積があり、14年周期で皆伐更新を行っている。皆伐後は、下草刈りやひこばえの間引き（もやわけ）を行い、生育の悪い場所には1a当たり10本の密度になるよう実生苗を補植している。実生苗には、こなるの丘で拾ったどんぐり（コナラやクヌギ）を地元の小学生等が育てたものを利用している。

### 3. 調査地②緩衝帯

緩衝帯はおよそ0.6haの面積があり皆伐更新は行わず、3分割した区画を1年おきに下草刈りしている。雑木林管理の天敵といわれるアズマネザサが外周部の雑木林から皆伐エリアに侵入するのを防ぐために設けられたエリアで、皆伐エリアを幅10～20m内外で囲んでいる。最後に皆伐したのは都市計画決定されたおよそ60年前といわれている。



図3. 調査地こなるの丘の位置図

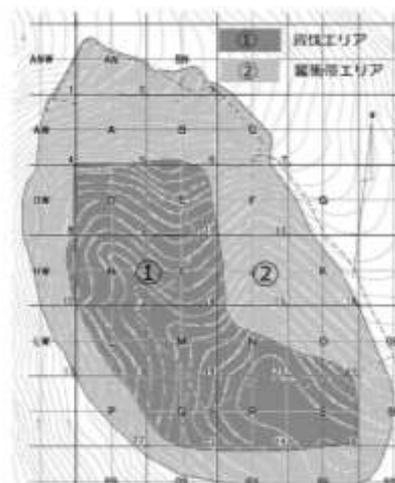


図4. 調査地①②の概形

#### 4. 調査方法

皆伐エリアおよび緩衝帯にあるブナ科樹木を対象に、樹種、幹周、被害状況 [枝枯なし・枝枯あり・枯死]、カシナガの穿孔数 [なし・少ない (1~5)・普通 (6~50)・多い (51以上)] を調査した。調査は樹木医を含む公園協会職員 5 名と雑木林ボランティア 2 名が担当し、8 月 24 日 (晴天) に実施した。

調査時には、GPS ロガー (ETREX22X、GARMIN) を使用して対象樹木の GPS データを取得し、フリーソフト QGIS で図面化した。

### Ⅲ. 結果と考察

#### 1. 幹周の構成

調査対象木は、皆伐エリアで 341 本、緩衝帯で 174 本の計 515 本だった。エリアに分けて幹周の構成を調べてみると、皆伐エリアは幹周 50 cm 未満の若い個体が多く (312 本、91%)、反対に緩衝帯では幹周 50 cm 以上の個体が多かった (171 本、98%)。さらに緩衝帯では幹周 100 cm 以上の大径木も多くみられた (104 本、59%) (図 5)。

#### 2. 樹種の構成

樹種を調べたところ、『こならの丘』という名称の通りコナラが最も多く (439 本)、次いでクヌギ (74 本)、クリ (2 本) となった。

エリアに分けてコナラ・クヌギ比を調べると、皆伐エリアで 7 : 1、緩衝帯で 4 : 1 となった。緩衝帯は造成前の樹種構成に近いと考えられるが、クヌギよりコナラの方が明らかに多いことがわかった。

#### 3. カシナガ穿孔なし個体の割合

エリアに分けてカシナガによる穿孔を受けていない穿孔 [なし] 個体の割合を調べてみると皆伐エリアが 94% (323 本)、緩衝帯で 16% (29 本) だった。どちらのエリアでもまとまった個体数がある幹周 50 cm 以上 100 cm 未満では皆伐エリアで 75% (22 本)、緩衝帯で 17% (12 本) であり、カシナガ穿孔 [なし] 個体の割合は、皆伐エリアの方が緩衝帯よりも 4 倍以上多くなった (図 6)。

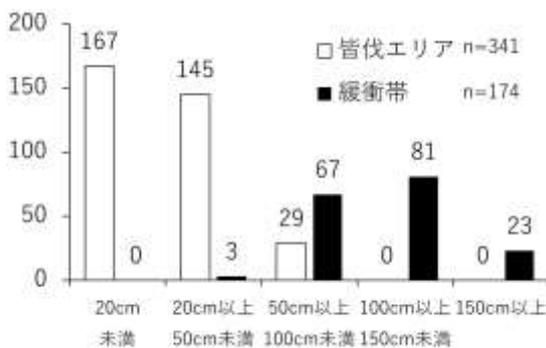


図 5. エリア・幹周別の本数

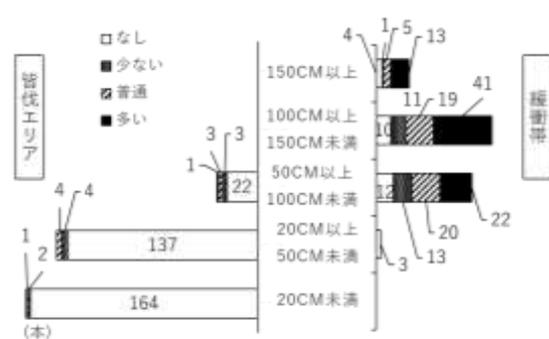


図 6. カシナガ穿孔数・幹周別本数

#### 4. 枝枯なし個体の割合

エリアに分けて〔枝枯なし〕個体の割合を調べてみると、皆伐エリアで99%、緩衝帯で73%だった。3と同様に幹周50cm以上100cm未満の個体に絞ると皆伐エリアで100%、緩衝帯で77%となり、皆伐エリアの方が緩衝帯よりも枝枯のない個体の割合が高くなった。(図7)

#### 5. 幹周とカシナガ穿孔数〔多い〕の関係

緩衝帯では穿孔〔多い〕に分類された個体が76本あり、皆伐エリアでは0本だった。緩衝帯における穿孔〔多い〕個体は幹周50cm以上100cm未満で22本、幹周100cm以上150cm未満で41本、幹周150cm以上で13本であり、それぞれの合計に対して32%、51%、57%となった。このことから緩衝帯では、幹周が大きくなるほど穿孔数〔多い〕個体の割合が増加する傾向がみられた(図8)。

#### 6. 枯死率

枯死率は、皆伐エリアで0.5%、緩衝帯では18%となった(図9)。また皆伐エリアで枯死した2個体についてはカシナガの穿孔は確認できず、枯死の原因はナラ枯れと断定できない。

また、枯死率を樹種別に比較すると、クヌギの枯死個体は0本で、枯死していたのはすべてコナラだった(32本)。そもそも被害の多かった緩衝帯では、カシナガの穿孔を受けた個体はコナラで132本(94%)、これに対しクヌギでは13本(37%)であり、樹種別に明らかな差が見られた(図10)。

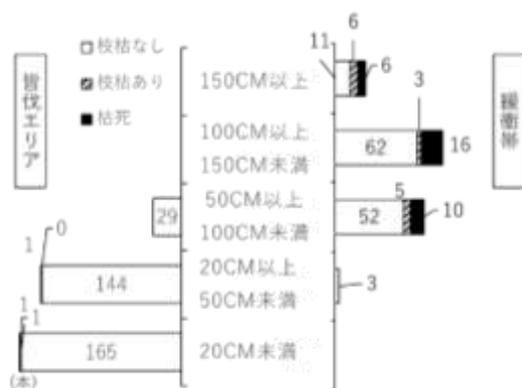


図7. エリア・幹周別被害別本数

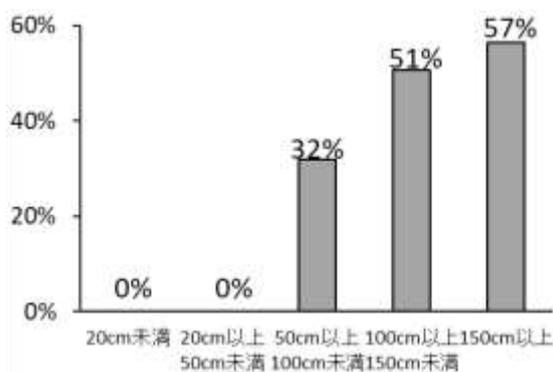


図8. 幹周別穿孔〔多い〕率 (緩衝帯)

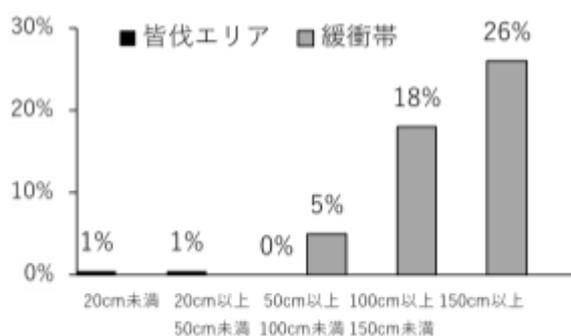


図9. 幹周別枯死率

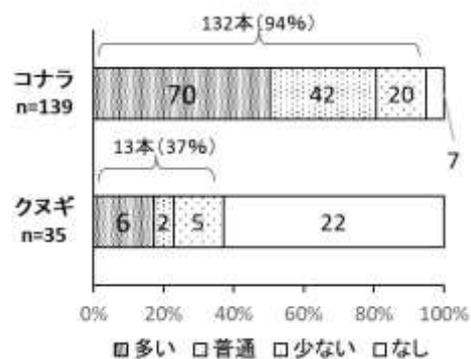


図10. コナラとクヌギの穿孔数の違い (緩衝帯)

## 7. 被害樹木の位置関係

緩衝帯においてクヌギは35本あり、そのうち最も多い22本が穿孔[なし]だったが、次いで穿孔[多い]が6本あった。穿孔[多い]クヌギはいずれの個体もコナラの穿孔[多い]が集中するエリアにあった(図11)。また、緩衝帯のクヌギは2本以外すべて健全で、2本は枝枯れの症状を呈していた。この2本のクヌギはいずれも枯死したコナラの大径木(150cm以上)のそばにあった(図12)。※図は参考まで、GPSによる誤差あり。

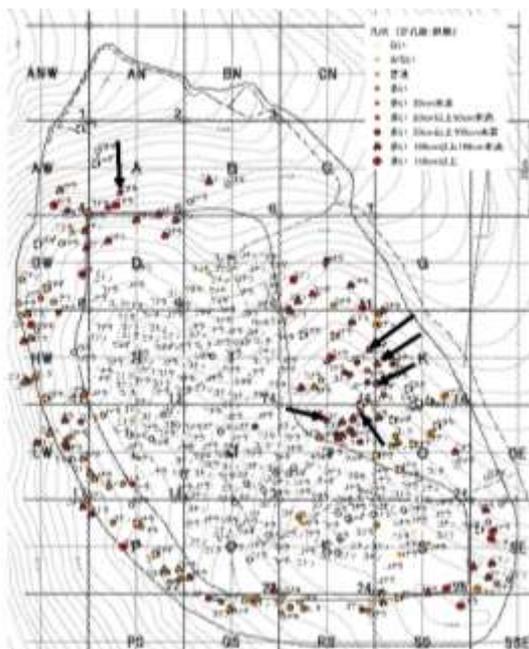


図11. 穿孔数・幹周別 位置図

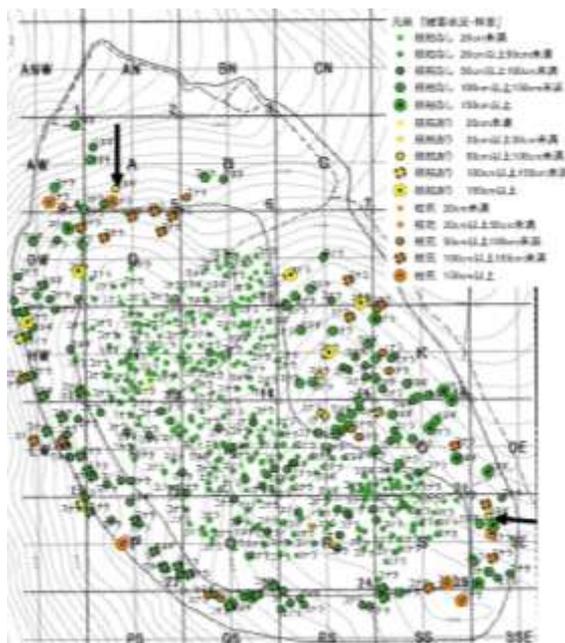


図12. 被害状況・幹周別 位置図

## 8. まとめ

### (1) 調査地について

皆伐エリアは幹周50cm未満が9割、緩衝帯は幹周50cm以上が9割を占める環境であった。コナラ・クヌギ比は皆伐エリアで7:1、緩衝帯で4:1であった。

### (2) カシノナガキクイムシについて

穿孔を受けた個体の割合は、皆伐エリアで5%、緩衝帯で83%だった。同じ幹周でも緩衝帯は、皆伐エリアよりも穿孔を受けた個体の割合が高くなった。

樹種別ではコナラの方がクヌギよりも穿孔を受けた個体の割合が2倍弱高くなった。クヌギで穿孔[多い]個体はわずか6本だったが、それらはコナラの穿孔[多い]が集中したエリアにあり、枝枯れを呈したクヌギはコナラの枯死した大径木のそばにあった。

ナラ枯れの原因とされるカシナガによる集中加害(マスアタック)を穿孔[多い]に該当する『穿孔箇所51個以上』と仮定すると、皆伐エリアではマスアタックを受けた個体はなく、逆に緩衝帯では4割強がマスアタックを受けていたといえる。さらに、幹回が

大きくなるほどマスアタックされる個体の割合は高くなる傾向がみられた。

### (3) ナラ枯れについて

枯死率は皆伐エリアで 0.5% (ナラ枯れによるかは不明)、緩衝帯で 18% であり、緩衝帯では幹周が大きくなるほど枯死率が高くなった。樹種別では、コナラの枯死率 23% で、クヌギは 0% だった。

以上より、こならの丘の皆伐エリアは幹周 50cm 未満の個体から成る若い樹林として維持されているため、カシナガのマスアタックを受けにくく、ナラ枯れによる枯死個体が発生しにくい状態であるといえる。この効果はカシナガが好むコナラの割合が高い状況 (皆伐エリア) にあっても、有効に発揮されている。よって、14 年周期の小面積皆伐はナラ枯れ被害の発生を抑制していると考えられる。

## IV. おわりに

本調査は樹木医学会 26 回大会で発表し、学会誌に掲載した。学会誌では、紙面の都合から割愛するデータがあったが、本報告ではほぼすべてを掲載した。この報告を介して雑木林の管理が見直されその利活用が進むことで、ナラ枯れの被害が沈静化することを切に願う。重ねて、日ごろからこならの丘の雑木林管理に従事し、本調査にも協力いただいた桜ヶ丘公園雑木林ボランティアの皆様へ感謝申し上げます。



図 13. 調査の様子



図 14. 調査の様子②

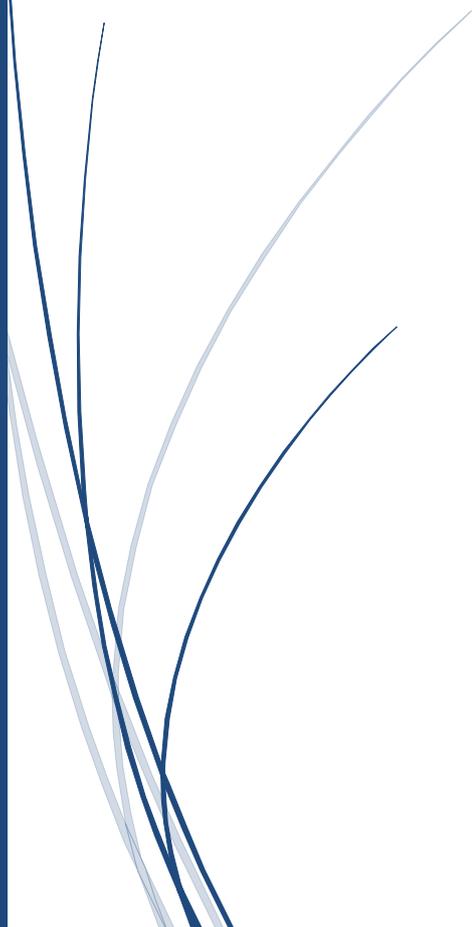
### 引用文献

- 1) 公益財団法人東京都公園 (1992) : 「こならの丘の植生管理計画」
- 2) 都立公園桜ヶ丘公園雑木林ボランティア・公益財団法人東京都公園協会 (2011) : 「雑木林の管理～ボランティア 20 年の歩み～」 (1991 年～2011 年)
- 3) 阿部好淳・松元信乃 (2022) : 樹木医学研究 26 巻 2 号  
「都立公園における小面積皆伐によるナラ枯れ被害の抑止効果-桜ヶ丘公園こならの丘を例に-」
- 4) 阿部好淳・松元信乃 (2022) : 樹木医学研究 26 巻 2 号  
「都立公園 60 か所におけるナラ枯れ被害の変遷」

令和 2 年度

# 事業年報

神代植物公園植物多様性センター



# 目次

はじめに .....	1
I. 絶滅危惧種の保護増殖に関すること .....	2
1. 優先保全対象種等の植物調査 .....	2
2. 東京都内における生息域外保全 .....	3
3. 建設局事業等に対する絶滅危惧植物等の保全に対する取組への支援に関すること .....	4
II. 絶滅危惧植物の情報収集・発信に関すること .....	5
1. 植物多様性センター蔵書数 .....	5
2. 神代植物公園植物多様性保全に関する情報連絡会 .....	5
3. ホームページのお知らせ .....	5
III. 植物多様性の教育・普及に関すること .....	6
1. エントランス展示 .....	6
2. ガイドツアーの回数と参加者 .....	6
3. 団体ガイド .....	6
4. 学習園植栽植物 .....	6
5. 植物多様性に関する講座 .....	9
6. 植物多様性センター外部の展示 .....	10
7. 植物多様性センター外部の講座 .....	10
8. 学習プログラム .....	10
IV. その他 .....	11
1. 来館者数 .....	11

## はじめに

植物多様性の衰退が懸念されている中、神代植物公園では他の植物園と連携して絶滅危惧植物の保護・増殖等を行う「植物多様性保全拠点園」としての活動に取り組んできた。

神代植物公園植物多様性センターは、都内における植物多様性保全をより一層推進するため、保全上の様々な機能を総合的に担う拠点施設となることを目的に、平成 24 年 4 月に開設された。

植物多様性センターの敷地は約 26,000 m<sup>2</sup>あり、その中には情報館 (650 m<sup>2</sup>)、学習園 (16,000 m<sup>2</sup>)、栽培温室 (200 m<sup>2</sup>) の施設がある。

情報館は、東京の植生図や丘陵地の公園を紹介するパネル展示や図書文献が閲覧できるライブラリーコーナー等、植物多様性に関する展示・解説を行っている。

学習園は、東京を代表する自然環境の中から、山地や石灰岩地を再現した奥多摩ゾーン、河原や雑木林を再現した武蔵野ゾーン、海岸や火山地形を再現した伊豆諸島ゾーンと大きく三つのゾーンに分かれ、それぞれの環境にあった植物を展示している。

開設当初から公益財団法人東京都公園協会が管理運営を受託し、平成 28 年度より引続き公益財団法人東京都公園協会が指定管理者として職員 7 名の体制で執行している。

植物多様性センターの事業は、次の 3 つを軸に展開している。

1. 絶滅危惧植物の保護・増殖
2. 絶滅危惧植物に関する情報収集・発信
3. 植物多様性に関する教育・普及

絶滅危惧植物の保護・増殖については、平成 19 年度から 25 年度まで神代植物公園において「絶滅危惧植物保全調査」の検討及び「絶滅危惧植物保全計画」の策定を行い、都内の絶滅危惧植物の生育状況の把握と保全対象種の検討を行ってきた。植物多様性センターが重点的に保全する植物種を「優先保全対象種」として 118 種（本土部 43 種及び島嶼部 75 種）選定し、保全策に基づき、それら植物種の現地調査等の域内保全や種子採取・無菌培養等の域外保全を平成 26 年度から行っている。

絶滅危惧植物に関する情報収集・発信については、関係機関や保全団体とのネットワークを活かし、都内における絶滅危惧植物の現状と保全に向けた取組状況を把握した上で、情報拠点として各活動主体の保全・保護・増殖活動に有効な支援を行うことを目的としている。このため、保全団体や愛好家等との情報連絡会や公園管理者連絡会等を開催し、各団体等の取組について意見交換や情報交換を行っている。

植物多様性に関する教育・普及については、近隣の小中学校や農学系の大学生等へ環境学習プログラムを企画立案し、教育普及活動を行っている。また、土日には職員やボランティアによる園内のガイドツアーを実施するほか、職員や専門家による講座を開催している。

本書は、植物多様性センターが令和 2 年度に実施した事業や取組を年報としてとりまとめたものであり、植物多様性センターへのご理解とご支援をいただく上での参考として、また今後事業や取組の進展を図る上で、技術の向上や事業の推進に役立たせることができると考えている。

## I. 絶滅危惧種の保護増殖に関すること

### 1. 優先保全対象種等の植物調査

#### 本土部における優先保全対象種の調査

NO.	調査日	種名	保全ランク	調査概要	備考
1	2020/6/15	オミナエシ	B	30株。林道沿いに生育。 踏圧により、林道の幅がやや広がっている。	
2	2020/6/15	ステゴビル	B	花期休眠中のため個体確認できず。 生育地は柵で囲われている。	
3	2020/6/24	キバナノショウキラン	B	2箇所個体確認できず 2019年の台風19号による土砂崩れにより自生地消失	自生地消失のため今後の調査は行わない
4	2020/6/29	アキノハハコグサ	B	1箇所個体確認できず	
5	2020/7/2	ユウシュンラン	B	2箇所計2個体確認。	
6	2020/7/4	ウラギク	B	1箇所50個体確認。	
7	2020/7/13	トウゴクヘラオモダカ	B	1箇所300個体以上確認	
8	2020/7/13	オオニガナ	B	2箇所計62個体確認	
9	2020/7/30	キバナノショウキラン	B	2箇所個体確認できず。採取予定地で蒴果2個落ちていたため採取	
10	2020/10/6	カワラハハコ	-	1箇所個体確認できず	保全団体より、近年生育不明とのこと。
11	2020/10/17	フジバカマ	B	1箇所2個体確認。	
12	2020/10/17	ミズネコノオ	B	1箇所10,000個体確認	
13	2020/10/17	ミズオオバコ	B	1箇所個体確認できず	
14	2020/10/17	ミズワラビ	B	1箇所個体確認できず	
15	2021/3/17	イヌノフグリ	B	1箇所3個体確認	

#### 本土部における優先保全対象種以外の調査

NO.	調査日	種名	保全ランク	調査概要	備考
1	2020/6/14	シャクジョウソウ	無し	1箇所1個体、5花茎22花確認	
2	2020/6/24	キバナノショウキラン	無し	1箇所22個体確認	
3	2020/7/3	ツレサギソウ	無し	5箇所計15個体確認	
4	2020/7/4	ハマカキラン	無し	1箇所20個体確認	
5	2021/3/29	ヤブサンザシ	無し	1箇所2個体確認	

※島嶼部は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため実施しなかった。

## 2. 東京都内における生息域外保全

No.	種名	優先保全対象種 保全ランク	本土・島しょ	採取日	備考
1	イズノシマホシクサ	C	島しょ部	H26年9月26日種子採取 H30年8月29日種子採取 H30年8月30日種子採取	H26年より継続・栽培
2	ウチョウラン	C	本土部	H27年10月1日種子採取	新宿御苑へ送付（しいな）
3	オオシマシスラン	C	島しょ部	H27年1月20日種子採取	新宿御苑へ送付
4	キキョウ	対象外	本土部	H27年9月30日種子採取	新宿御苑へ送付
5	キンラン	C	島しょ部	H26年9月3日種子採取	H26年より継続・無菌培養
6	クマガイソウ	C	島しょ部	H26年9月3日種子採取 H30年9月11日種子採取	H26年より継続・無菌培養 平成30年4月10日に人工授粉を行い、9蒴果のうち5蒴果を採取した。 新宿御苑、富山県中央植物園へ送付
7	コウズエビネ	C	島しょ部	H26年9月27日種子採取	無菌培養、H26年より継続・無菌培養（2系統）
8	コウズエビネ	C	島しょ部	H27年10月5日種子採取	新宿御苑へ送付・無菌培養（2系統）
9	シムライノデ	対象外	本土部	H30年2月15日個体受取	栽培、危険分散のためつくば実験植物園へ送付
10	シラン	B	本土部	H27年9月15日種子採取	案内人の依頼及び盗掘の恐れがあることから種子採取による域外保全を行った・新宿御苑へ送付、栽培
11	ナギラン	対象外	島しょ部	H26年9月3日種子採取	H26年より継続・無菌培養（対象外だがキヨンの食害で消失の恐れがあるため採取）
12	ナギラン	C	島しょ部	H28年10月27日種子採取	H28年より無菌播種、新宿御苑へ送付
13	ナゴラン	C	島しょ部	H27年7月7日個体受取	栽培
14	ナツエビネ	C	島しょ部	H29年11月8日種子採取	新宿御苑へ送付、無菌培養
15	ニオイエビネ	対象外	島しょ部	H28年10月27日種子採取	無菌培養、新宿御苑へ送付（自生地消失のため代替地で採取）
16	ハマカキラン	対象外	本土部	H28年8月6日種子採取	新宿御苑へ送付
17	ヒイラギソウ	C	本土部	H27年9月30日個体採取	挿し木にて栽培、H26年より継続・栽培
18	ヒナノキンチャク	C	本土部	H29年11月16日種子採取	栽培、新宿御苑へ送付
19	ヒナワチガイソウ	B	本土部	H27年4月30日種子採取	新宿御苑へ送付、生活史調査及び栽培
20	フウラン	C	島しょ部	H28年11月1日種子採取	無菌培養
21	マメヅタラン	C	島しょ部	H26年9月26日個体採取	H26年より継続・栽培
22	ミクラジマトウヒレン	A	島しょ部	H27年11月17日種子採取	案内人の依頼により種子採取による域外保全を行った 新宿御苑、富山県中央植物園へ送付、栽培
23	ミズネコノオ	B	本土部	H27年10月14日種子採取	案内人の依頼により種子採取による域外保全を行った 新宿御苑へ送付

No.	種名	優先保全対象種 保全ランク	本土・島しょ	採取日	備考
24	ムサシノキスゲ	対象外	本土部	H29年7月13日種子採取 H29年7月28日個体採取	栽培、東京大学及び新宿御苑へ送付
25	ユウシュンラン	対象外	本土部	H28年1月22日種子採取	指定対象種は過去の自生情報のみのため、他の自生地から採種 新宿御苑へ送付・無菌培養
26	ハチジョウツレサギ	対象外	島しょ部	H30年10月6日種子採取	新宿御苑へ送付
27	バアソブ	対象外	本土部	H30年10月3日種子採取	新宿御苑へ送付、栽培
28	ハタザオ	対象外	本土部	H29年11月28日種子採取	新宿御苑へ送付、栽培
29	シマキンレイカ	対象外	島しょ部	H30年10月7日種子採取	新宿御苑へ送付
30	ウラジロヒカゲツツジ	対象外	本土部	H30年10月29日種子、個体 採取	新宿御苑へ種子送付、新潟県立植物園へ個体送付 1枝採取し、持ち運びしやすいよう3枝に分けた
31	カイコバイモ	B	本土部	R1年5月10日種子採取	栽培、新宿御苑、筑波実験植物園へ送付
32	ツレサギソウ	対象外	本土部	R1年9月3日種子採取	無菌培養
33	クロヤツシロラン	対象外	本土部	R1年12月17日種子採取	無菌培養
34	フジバカマ	B	本土部	R2年12月25日種子採取	栽培

### 3. 建設局事業等に対する絶滅危惧植物等の保全に対する取組への支援に関すること

事務所	担当部署	植物種名	目標等	現状の規模・数量等	取組状況	関連事業	着手	備考
							完了(予定)	
北多摩北部 建設事務所	工事第一課 設計担当	・マヤラン ・サガミラン	苗根株の形成確認、開 花	・マヤラン8鉢 ・サガミラン6鉢	コナラ実生、腐葉土に 植えた鉢の維持管理、 共生可否の確認	東村山キャンパス道路 整備工事	・平成24年6月1日(苗 木) ・平成24年10月19日 (培養苗植付) 平成27年度	植え戻し等なければセンターの バックヤードで3年間経過観察 し、処分。
西部公園 緑地事務所	工事課 事業係	水生植物類	発現種や生育状況に よって、継続した個体 の保護・増殖、もしくは 現地への植え戻し	0.6m×0.9m/バット 1基	埋土種子発芽個体の保 護育成	井の頭池かいぼり事業	平成24年12月11日 平成30年程度(状況等 による)	・かいぼり25時に採取 ・平成28年2月2日 ガマ6鉢・カンガレイ1鉢工事課 へ返却 ・平成30年3月12日 ヒメガマ5株・カンガレイ1株工 事課へ返却
西部公園 緑地事務所	工事課 緑化推進担当	キンラン	委託業者のバックアッ プが枯れた場合は、整 備事業終了後、現地へ の植え戻しを予定	・三者共生：2鉢 ・二者共生：2鉢	菌根菌・コナラ等苗木 との共生体の保護育 成、共生可否の確認	放射5号線整備事業	平成25年5月26日 平成31年	・令和2年3月31日、現地への植 え戻しは不要のため処分。
第三 建設事務所	工事第一課 環境対策担当	アマナ	整備事業終了後、現地 への植え戻しを予定	プランター2基 (土壌6袋分)	個体の保護育成	放射5号線整備事業 (牟礼橋架替)	平成27年6月24日 平成31年 令和3年	・令和元年6月8日5号線開通。 追加工事が発生したため、保管 継続。
西部公園 緑地事務所	工事課 事業係	水生植物類	発現種や生育状況に よって、継続した個体 の保護・増殖、もしくは 現地への植え戻し	0.6m×0.9m/バット 4基	埋土種子発芽確認、発 芽個体の保護育成	井の頭池かいぼり事業	平成28年2月12日 平成30年程度(発芽状 況等による)	・かいぼり27時に採取 ・平成30年3月12日 イグサ2株・サンカクイ1株工事 課へ返却
西部公園 緑地事務所	工事課 事業係	水生植物類	発現種や生育状況に よって、継続した個体 の保護・増殖、もしくは 現地への植え戻し	0.6m×0.9m/バット 6基	埋土種子発芽確認、発 芽個体の保護育成	井の頭池かいぼり事業	平成30年3月11日 令和2年程度(発芽状 況等による)	・かいぼり29時に採取

事務所	担当部署	植物種名	目標等	現状の規模・数量等	取組状況	関連事業	着手	備考
							完了（予定）	
北多摩南部建設事務所	工事第一課 環境対策担当	希少植物	事業終了後、現地への播種を予定	3g程度	種子の保存 (1～2年間で種子を更新)	関戸橋架替事業	平成28年3月8日	・現地で種子採取状況により種子の交換等を行う。 ・平成28年2月28日返却 ・平成28年3月6日種子播種 ・平成28年3月15日種子保存 ・平成30年2月23日種子保存 ・平成31年2月18日種子保存、返却 ・令和2年2月21日種子保存、一部返却
							令和13年	
公園緑地部	公園管理担当	タテクラマゴケ	工事区域内の個体調査	100㎡に点在	個体調査 保全の助言	保育所建設事業	平成29年6月16日	
							平成29年7月1日	
公園緑地部	・緑化推進担当 ・第二建設事務所 工事第一課	クスノキ	工事区域内の伐採対象クスノキの増殖、植え戻し	中央分離帯の3本分の種子、差し穂	街路樹植栽までの保護 育成	地下トンネル築造及び街路築造工事（27-二環5の1千駄ヶ谷）	平成30年10月16日	街路樹に植栽できる大きさまで管理 ・令和元年7月16日差し穂は枯損のため処分
西部公園緑地事務所	工事課 緑化推進担当	キンラン	キンラン無菌培養苗の育苗、植え戻し	・無菌培養苗約50株（4シャーレ） ・菌根菌の保存2系統（3シャーレ） ・二者共生苗20株	無菌培養苗の育苗、菌根菌の保存、二者共生苗の育苗	放射5号線整備事業	令和2年3月23日	・令和2年6月9日無菌培養苗を二者共生苗の鉢へ植付を行った。 ・令和2年10月7日工事課、コンサル会社、指定管理者協働で玉川上水緑道に二者共生苗の植え戻しを行った。
							令和2年10月7日	

## II. 絶滅危惧植物の情報収集・発信に関すること

### 1. 植物多様性センター蔵書数

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	計
冊数	187	288	215	257	63	112	87	104	130	1,443

### 2. 神代植物公園植物多様性保全に関する情報連絡会

	ポスター／報告書提出団体数
本土部	18
島しょ部	7

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため書面開催とした。

### 3. ホームページのお知らせ

No.	更新日	題	No.	更新日	題
1	4月3日	カジイチゴの花	14	7月3日	カンガレイとサンカクイ
2	4月10日	シバヤナギの性転換その後	15	7月10日	チダケサシ
3	4月17日	樹木の芽吹き	16	7月17日	オニバスの葉の七変化
4	4月24日	この木何の木	17	7月24日	松ぼっくりの成長
5	5月1日	フジの花	18	7月31日	オオヒナノウスツボ
6	5月8日	メグスリノキの変身	19	8月7日	ちいさな田んぼ
7	5月15日	初夏のひつつきむし	20	8月14日	カリガネソウとクサギ
8	5月22日	ツリバナの花	21	8月21日	タラノキの花
9	5月29日	オオミサルナシ	22	8月28日	サイハイランの夏休み
10	6月5日	ヒツジグサの芽ばえ	23	9月4日	メヒシバとオヒシバ
11	6月12日	サンショウの実	24	9月11日	イシミカワの花
12	6月19日	ヤマアジサイの裏返し	25	9月18日	キンミズヒキ
13	6月26日	かえでの実比べ	26	9月25日	スズメウリの雌雄性

No.	更新日	題	No.	更新日	題
27	10月2日	クワクサの花	40	1月1日	ヤブコウジのどこが牛？
28	10月9日	シモバシラはおおにぎわい	41	1月8日	モジモジ4兄弟
29	10月16日	カツラとカヤ	42	1月15日	多年草の冬芽
30	10月23日	落ち葉のパズル	43	1月22日	シラカシ
31	10月30日	リンドウの花	44	1月29日	かかあ天下と亭主関白
32	11月6日	4種のセンダングサ	45	2月5日	樹皮の表情
33	11月13日	ツルウメモドキの黄色い実	46	2月12日	うろこのあるツツジ？
34	11月20日	角なしツノハシバミ？	47	2月19日	セツブンソウの花
35	11月27日	コウヤボウキ	48	2月26日	植物の芽ばえ
36	12月4日	イボクサの閉鎖花	49	3月5日	ヒナワチガイソウ
37	12月11日	センリョウ	50	3月12日	ウグイスカグラの二刀流
38	12月18日	初冬のタイ類	51	3月19日	ナズナ
39	12月25日	マンリョウ	52	3月26日	シダの葉のぐるぐる

### Ⅲ. 植物多様性の教育・普及に関すること

#### 1. エントランス展示

期間	題
6月1日～7月5日	ラン科植物の無菌培養の取組
7月7日～8月10日	水辺の植物
8月12日～9月16日	島の植物本土の植物
9月17日～11月19日	コケとシダ
11月20日～12月25日	紅葉と黄葉

#### 2. ガイドツアーの回数と参加者

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	0	0	0	0	0	6	8	6	0	0	0	20
参加人数	0	0	0	0	0	0	32	44	29	0	0	0	105

#### 3. 団体ガイド

No.	月	団体名	参加人数
1	10	三鷹市都市整備部緑と公園課	14
計			14

#### 4. 学習園植栽植物

No.	月	種名	植栽地	
			ゾーン	エリア
1	4	ハナユズ	武蔵野	果樹林
2	4	チャノキ	武蔵野	果樹林
3	4	ヤマコウバシ	武蔵野	雑木林
4	4	ニシキギ	武蔵野	雑木林

No.	月	種名	植栽地	
			ゾーン	エリア
5	4	コナラ	武蔵野	雑木林
6	4	アゼスゲ	管理	屋外水槽
7	4	ハマボッス	伊豆諸島	海岸岩地
8	4	ポタンボウフウ	伊豆諸島	海岸岩地
9	4	ウバユリ	管理	奥多摩
10	4	ヤマハッカ	管理	奥多摩
11	4	ヤマホトトギス	管理	奥多摩
12	4	ヤマブキソウ	管理	奥多摩
13	4	モミジイチゴ	管理	旧球根
14	4	ウツボグサ	管理	旧球根
15	5	カワラナデシコ	武蔵野	礫地
16	6	ハマゴウ（白花）	伊豆諸島	海岸岩地
17	6	オオバコ	武蔵野	路傍
18	6	チガヤ	武蔵野	路傍
19	6	ヨモギ	武蔵野	路傍
20	6	ヒメムカシヨモギ	武蔵野	路傍
21	6	エノコログサ	武蔵野	路傍
22	6	メヒシバ	武蔵野	路傍
23	7	イネ古代米「対馬」	管理	ミニ田んぼ
24	7	ミズアオイ	管理	ミニ田んぼ
25	7	ミズハコベ	管理	ミニ田んぼ
26	7	ミズオオバコ	管理	ミニ田んぼ
27	7	ヒメジソ	管理	ミニ田んぼ
28	7	タウコギ	管理	ミニ田んぼ
29	7	シロバナサクラタデ	管理	ミニ田んぼ
30	7	コウガイゼキショウ	管理	ミニ田んぼ
31	7	ヤガミスゲ	管理	ミニ田んぼ
32	7	ハッカ	管理	ミニ田んぼ
33	7	セリ	管理	ミニ田んぼ
34	8	タムラソウ	管理	旧球根
35	8	クサノオウ	管理	旧球根
36	8	ヤマウコギ	管理	旧球根
37	8	キクタニギク	管理	旧球根
38	8	ツルニンジン	管理	奥多摩
39	8	ギンレイカ	管理	奥多摩
40	8	エビネ	管理	情報館前
41	8	タツノヒゲ	管理	奥多摩借景

No.	月	種名	植栽地	
			ゾーン	エリア
42	8	ハグロソウ	管理	奥多摩借景
43	9	クサネム	武蔵野	池周り
44	9	タヌキマメ	武蔵野	池周り
45	9	アカバナ	武蔵野	池周り
46	9	ウラギク	武蔵野	礫地
47	9	カワラノギク	武蔵野	礫地
48	9	アキノエノコログサ	武蔵野	路傍
49	9	ヒナワチガイソウ	武蔵野	高茎草地
50	9	キキョウ	武蔵野	高茎草地
51	10	ヒナワチガイソウ	武蔵野	雑木林
52	11	ラセイタソウ	管理	伊豆極相林
53	11	タマシダ	伊豆諸島	海岸岩地
54	12	ササバギンラン	武蔵野	雑木林
55	1	ネムノキ	武蔵野	礫地
56	1	カワラヨモギ	武蔵野	礫地
57	2	カマツカ	奥多摩	湿生林
58	2	カマツカ	管理	奥多摩借景
59	2	エゴノキ	奥多摩	石灰岩地
60	2	エゴノキ	管理	奥多摩借景
61	2	コブシ	管理	奥多摩借景
62	2	ウグイスカズラ	管理	旧球根
63	2	カシワ	奥多摩	湿生林
64	2	ヤマウコギ	管理	旧球根
65	2	ハマビワ	管理	旧花木園
66	2	ナニワイバラ	管理	旧花木園
67	3	カワラハハコ	武蔵野	礫地
68	3	フウラン	管理	伊豆極相林
69	3	レンプクソウ	奥多摩	落葉広葉樹
70	3	レンプクソウ	管理	奥多摩借景
71	3	アヤメ	奥多摩	石灰岩地
72	3	ラショウモンカズラ	管理	奥多摩借景

No.	月	種名	植栽地	
			ゾーン	エリア
73	3	キッコウハグマ	管理	奥多摩借景
74	3	ツルニンジン	管理	奥多摩借景
75	3	タカオスミレ	奥多摩	湿生草地
76	3	アラカシ	管理	旧球根
77	3	ネズミモチ	管理	旧球根
78	3	イヌツゲ	管理	旧球根
79	3	コゴメウツギ	管理	情報館前
80	3	コゴメウツギ	管理	旧球根
81	3	クサギ	武蔵野	雑木林
82	3	シマホタルブクロ	管理	伊豆極相林
83	3	ハマボッス	伊豆諸島	海岸岩地
84	3	シマタヌキラン	伊豆諸島	火山性草地
85	3	ハチジョウアザミ	伊豆諸島	火山性草地
86	3	ボタンポウフウ	伊豆諸島	海岸砂地
87	3	ハマナデシコ	伊豆諸島	海岸岩地
88	3	イワタイゲキ	伊豆諸島	海岸岩地
89	3	イズノシマダイモンジソウ	管理	伊豆極相林

#### 5. 植物多様性に関する講座

NO.	月	日	時間	題	講師	参加人数
1	5	17	13:30~15:00	ガイドツアー・スペシャル「植物用語を覚えよう! 草本編:単子葉植物・双子葉植物」	植物多様性センター職員	中止
2	6	6	13:30~15:30	ガイドツアー・スペシャル「植物用語を覚えよう! 木本編:針葉樹・広葉樹」	植物多様性センター職員	中止
3	6	29	13:30~15:30	ガイドツアー・スペシャル「植物用語を覚えよう! コケとシダ」	植物多様性センター職員	中止
4	8	30	13:30~15:00	スライドショーで楽しむ「残暑お見舞いガイドツアー」	植物多様性センター職員	中止
5	9	27	13:30~15:00	専門講座「森を作るキノコ~キノコの多様性と植物の多様性」	江口 文陽(東京農業大学)	中止
6	10	11	13:30~15:00	スライドショーで楽しむ~学習園 春・夏物語 /2020~	植物多様性センター職員	20
7	11	29	13:30~15:30	~こんなところに東京都~火山列島の自然	加藤 英寿(東京都立大学)	21
8	1	24	13:30~15:30	ガイドツアー・スペシャル「植物用語を覚えよう! 冬芽編」	植物多様性センター職員	中止
9	3	7	13:30~15:30	専門講座「伊豆諸島の植物多様性と保全の最前線」	上條 隆志(筑波大学)	中止
10	3	14	13:30~15:30	専門講座「東京都レンジャーに学ぶ東京都の自然公園」(オンライン講座)	笠原 天生(東京都レンジャー奥多摩地区)	8
合計						49

※中止は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため。

#### 6. 植物多様性センター外部の展示

NO.	月日	題	場所
1	6月27日～9月30日	植物多様性センターの紹介、生物多様性のはなし	東南植物楽園（沖縄県）
2	7月1日～7月19日	植物多様性センターの紹介、生物多様性のはなし	渋谷区ふれあい植物センター（東京都）
3	7月5日～7月26日	植物多様性センターの紹介、生物多様性のはなし	豊橋総合動植物公園（愛知県）
4	7月1日～8月23日	生物多様性のはなし	とちぎ花センター（栃木県）
5	7月15日～10月25日	植物多様性センターの紹介、生物多様性のはなし	白馬五竜高山植物園（長野県）
6	8月1日～12月13日	生物多様性のはなし	小峰公園ビジターセンター（東京都）
7	10月1日～10月31日	生物多様性のはなし	高尾ビジターセンター（東京都）
8	10月2日～3月31日	東京の自然環境と植物、多摩丘陵の紹介	小山内裏公園（東京都）
9	11月1日～11月30日	生物多様性のはなし	御岳ビジターセンター（東京都）
10	11月5日～11月22日	生物多様性のはなし	新潟県立植物園（新潟県）
11	11月7日～3月31日	生物多様性のはなし	東村山中央公園（東京都）
12	12月1日～12月31日	生物多様性のはなし	奥多摩ビジターセンター（東京都）
13	1月26日～1月31日	植物多様性センターの紹介、生物多様性のはなし	豊橋総合動植物公園（愛知県）

#### 7. 植物多様性センター外部の講座

NO.	月日	参加人数	題	場所
1	11月19日	24	身近な絶滅危惧植物を知っていますか 神代植物公園からのお話	調布市西部公民館

#### 8. 学習プログラム

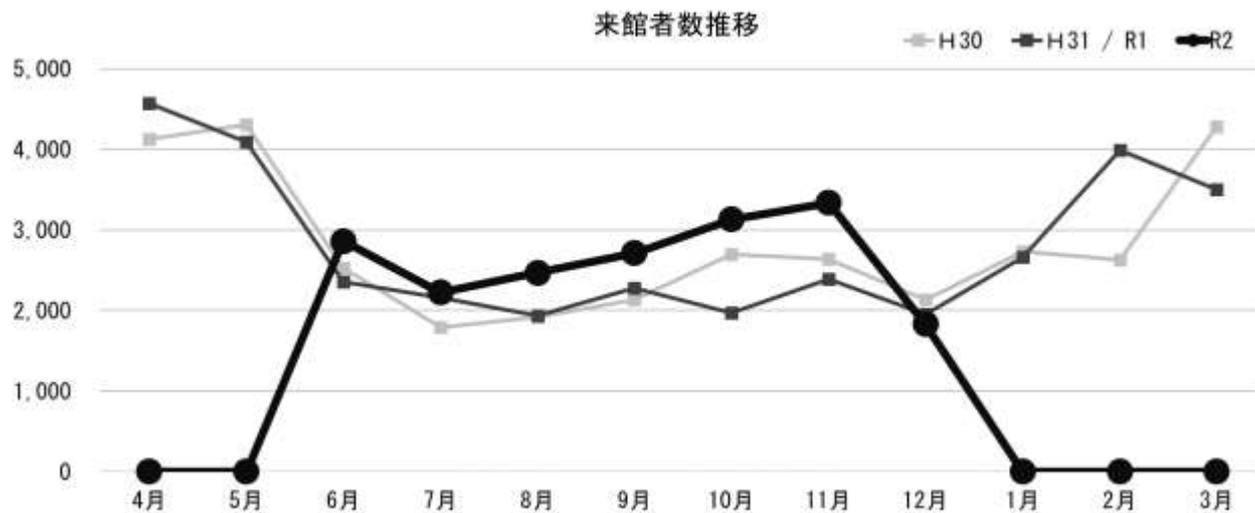
NO.	月	団体名	人数
1	10	東京都立大学プレミアム・カレッジ	24
2	11	調布市立柏野小学校	104
合計			128

#### IV. その他

##### 1. 来館者数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	4,129	4,307	2,528	1,791	1,916	2,129	2,699	2,635	2,132	2,730	2,625	4,275	33,896
H31 / R1	4,572	4,087	2,354	2,160	1,933	2,280	1,971	2,391	1,950	2,665	3,991	3,498	33,852
R2	0	0	2,860	2,223	2,466	2,710	3,131	3,335	1,832	0	0	0	18,557

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため、4月1日～5月31日、12月26日～3月31日は休園



神代植物公園植物多様性センター事業年報

令和3年4月発行

編集発行 公益財団法人東京都公園協会

神代植物公園植物多様性センター

〒182-0011 東京都調布市深大寺北町1-4-6

電話：042-485-1210

F A X：042-485-1220

## 日常にスポーツを～むさしのヘルシーパークプロジェクト～

西武・武蔵野パートナーズ

統括所長 清水 卓

(西武造園株式会社所属)

副統括所長 中倉 美奈子

(特定非営利活動法人 NPO birth 所属)

植田 有亮

(ミズノスポーツサービス株式会社所属(東京地区指定管理エリア長))

### I. はじめに

東京 2020 大会が開催されたことで、令和 3 年はスポーツへの注目が一気に高まった。オープンスペースである都立公園も、多様なスポーツを行う場としての活用が広がっている。

私たち西武・武蔵野パートナーズは、平成 23 年より武蔵野の公園グループの指定管理者となり、身近な公園をスポーツの場として定着させ、地域の健康づくりを推進する取り組み「むさしのヘルシーパークプロジェクト」を行ってきた。専門スタッフであるスポーツコーディネーターを公園に配置し、日常にスポーツを取り入れるための様々なプログラムを継続している。この取り組みは、東京 2020 大会の機運醸成からレガシーの継承へとつながっている。本稿では、この「むさしのヘルシーパークプロジェクト」の取り組みについて報告する。

### II. むさしのヘルシーパークプロジェクト

西武・武蔵野パートナーズは、4 団体のパートナーシップによる運営体制をとっている。構成団体は、西武造園株式会社、特定非営利活動法人 NPO birth、ミズノスポーツサービス株式会社、一般社団法人防災教育普及協会であり、それぞれが持つ専門性を活かすとともに、多様な協力団体と連携しながら公園運営を進めている。私たちは、東京都の都市部と丘陵地・山地の中間に位置する武蔵野エリアにある 8 つの公園を管理・運営し、公園管理の基本理念を、「人・自然・まちが元気になる公園づくり」と設定。「チャンス・イン・ザ・パーク、多様な好機を公園づくりに活かす」の視点をもって地域と一体となったパークマネジメントを実践し、多様化した都民ニーズに応じてきた。その取り組みの一つが、「むさしのヘルシーパークプロジェクト」である。

そもそもヘルシーパークとは、平成 11 年に「ヘルシーパーク、ヘルシーピープル」というスローガンで、オーストラリアから世界に広がった活動である。公園や自然の中で過ごすことで得られる健康と福祉の効果を実感できるように支援する活動で、生物多様性を保全しながら、自然や公園が持つ力を引き出し、健康を回復し、ウェルビーイングを向上させる、つまり、充実した状態にすることを目指す。「むさしのヘルシーパークプロジェクト」では、地域スポーツの振興を図るとともに、公園利用を通じてより多くの人が連携をし、新たなライフスタイルや

コミュニティの拡大、次世代へつなぐ誇りと愛着をはぐくむことを目的としている。このプロジェクトでは、ミズノスポーツサービスのスポーツコーディネーターが日々のスポーツプログラムを実施し、NPO birth のパークコーディネーターが地域連携の役割を担っている。

### Ⅲ. ヘルシーパークプロジェクトの必要性

なぜヘルシーパークプロジェクトを行っているのか、ここではその必要性について考察する。

#### 1. 現在の健康と運動を取り巻く状況

令和 2 年度の厚生労働白書は、健康寿命と平均寿命の差をなくす対策の必要性を説いている。健康寿命とは、日常生活に支障がない期間のことで、健康寿命と平均寿命との差は「不健康な期間」を意味する。健康寿命と平均寿命との差を短縮することは、個人の生活の質の低下を防ぎ、国民の社会保障負担の軽減も期待できる。



出典資料: 令和 2 年厚生労働白書

健康寿命を延ばすうえで運動が果たす役割が大きいのは既知の通りである。文部科学省スポーツ庁のスポーツ基本計画では、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率目標を 65%と設定している。一方で、令和 2 年の調査ではその目標を満たしておらず、運動機会を増やすことが求められている。

#### 2. 理想的な運動の在り方

私たちは、運動機会を増やすために求められる運動の在り方は以下の 3 つと考えた。

##### ① 手軽に日常に取り入れられる運動

遠くの施設に行くことなく、近くの公園であれば日常的に運動ができる。

② 無理なく安全にできる運動

それぞれの体力や体調に合わせた運動を行うことで、ケガをすることなく安全に運動が継続できる。

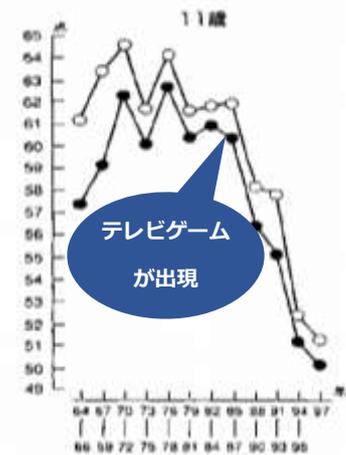
③ 屋外で五感を使う運動

屋外で暑さ、寒さを感じる、風や香りを感じて運動をすることで、肉体的な刺激ばかりでなく、感覚的な刺激も得ることができる。

### 3. 子どもに求められる理想的な運動習慣

現在日本では、子どもの体力低下が問題視されている。運動量が減少することにより筋力が低下し、些細なことでケガをするリスクが高まる。また、運動不足による肥満等が原因で、生活習慣病が増加傾向にある。

昭和 40 年代からの 11 歳の子どもの体力・運動能力がどのように変化してきたかを表した調査(文部科学省「体力・運動能力調査報告書」)によれば、昭和 60 年頃から急激に体力低下が始まっていることがわかる。時代背景を考えると、テレビゲームの出現などの要因で生活習慣が変化したことで、運動をする子供が減ったことが体力低下につながったと推測される。



出典資料:文部科学省「体力・運動能力調査報告書」

そこで、理想的な子供の運動について考察したい。体力低下問題が注視されている中、私たちは子どもに求められる理想的な運動の在り方は以下の3つであると考える。

① 競技志向ではなく、遊びの中でできる運動

遊びでは様々な動きを行う。そのことで全身の身体能力を高めることができる。

② コミュニケーションを介して楽しめる運動

親や友達とコミュニケーションを取りながら運動することで、体にも頭にも刺激を受けることができる。

③ 多様な運動遊びやスポーツの体験

様々な体験を通じて子供たちの好奇心が刺激される。もっとやってみたい、もっと楽しみたい、といった気持ちは更なる運動の機会の創出につながる。

このような運動を実現させるために、私たちは身近な公園をスポーツの場として定着させる「むさしのヘルシーパークプロジェクト」により、地域の健康づくりを推進する様々なスポーツプログラムを行っている。

#### IV. スポーツコーディネーターの役割

適切なスポーツプログラムを提供するために、私たちは平成 23 年当初より、公園に「スポーツコーディネーター」を配置している。スポーツコーディネーターは、ミズノスポーツサービスが持つノウハウを生かし、公園でのスポーツ・運動プログラムを立案・実施する専門のスタッフである。専門的な見地に基づき、各公園における多様な世代のニーズに応えたプログラムを実施している。



スポーツコーディネーターが指導するスポーツプログラム(野川公園)

私たちがむさしのヘルシーパークプロジェクトで実施するスポーツ・運動プログラムのコンセプトは3つ。

① できる、たのしむ、つづく

「できる」という達成感や体を動かす「楽しい」という感覚は運動の継続につながる。日常的にできること、お金があまりかからないことも大切である。

② 遊びの中で行える

自然やほかの人との交流の中でコミュニケーションを取り、五感を刺激することで心と体を強くすることができる。

③ だれでも参加しやすい

家の近くにある公園で様々なスポーツ体験を提供することで、気軽に運動に触れることができる。

こういった、公園コンセプトを踏まえながら専門的な知識を持って対応できるスポーツコーディネーターがいるからこそ、身近な公園が健康づくりの場として定着できると考える。

#### V. スポーツプログラムの事例

私たちは野球場やテニスコートといったスポーツ専用施設ではなく、公園内の芝生の広場、園路など、誰もが自由に使えるオープンスペースを主な会場とし、多様なスポーツプログラムを実施している。

コロナ禍前の平成 30 年度は年間 120 回以上のプログラムを開催、1 年間で約 2,400 人が参加した。内容は子ども向けのキッズプログラム、親子プログラム、初心者向けのビギナーズプログラム、健康づくりプログラムなど、様々な世代が参加できるプログラムの他、総合スポーツイベント「チャレンジキャラバン」を開催。東京 2020 大会の機運醸成とレガシー継承の取り組みも行った。ここではプログラムの事例を成人向けと子ども・親子向けに分けてそれぞれ紹介する。

## 1. 成人向けプログラム

### ・生活に簡単に取り入れられる「ウォーキング教室」

手軽に日常に取り入れることのできる運動として、ウォーキング教室を実施。誰もが毎日行う「歩く」動きの基本を学び、日常生活の中で少し意識をすることで、1 日の歩数を増やし、活動量を増やすことができる。公園の広いスペースを活かして準備運動や正しいウォーキングフォームづくりを行い、その後、園内のコースをスポーツコーディネーターと一緒にみんなで歩く。

参加者からは「普段から園内のコースを気軽に歩けるようになった」、「歩数を毎日のはかる習慣が身についた」など生活の一部として取り入れられたという感想を多数得ている。

公園ならではの四季折々の変化を感じながら行うウォーキングは、運動効果を得ることはもちろん、心を整えたり、仲間づくりにも最適なプログラムである。



ウォーキング教室(武蔵国分寺公園)

### ・ポールを使って安全性アップ「ノルディックウォーキング教室」

ノルディックウォーキングとは、2 本の専用ポールを使ったウォーキングである。ポールによって体重を分散し、歩く際のバランスをとることができる。また、腕もしっかり使えることで全身の筋肉をバランスよく動かす運動であり、ポールを操作することは体だけでなく頭も使う。通常のウォーキングから少し変化を持たせたい方や、ウォーキングに少し不安のある方に最適で、ポールを使った簡単なストレッチや体操を通じて少しずつ慣れながら教室を行う。アスファルト舗装から土や芝生の上など、様々な場所を安全に歩くことができるという公園ならではの特徴を活かして行うことができる。

・公園を体で感じてリラックス「パークストレッチ教室」

春や秋など気候の良い季節を中心に、開放的な芝生の上で気持ちよく体を伸ばすストレッチ教室を開催している。スポーツコーディネーターが正しいストレッチ方法を細かく指導するため、無理なく、安全なプログラムが実施できる。木漏れ日を浴び、鳥たちのさえずりが聞こえる中、呼吸を整え、芝生の匂いや柔らかさなど自然を全身に感じながら運動することは脳への適度な刺激になるとともに、リラクゼーション効果も期待できる。

芝生の広場と木陰のあるスペースが、立派なフィットネス空間となる。



パークストレッチ教室(武蔵国分寺公園)

## 2. 子どもや親子を対象にしたプログラム

近年、運動や遊びの方法がわからない、という子供が増えている。そこで登場するのがミズノプレイリーダーである。ミズノプレイリーダーは子どもたちの運動遊びを支える存在であり、遊ぶ知識を伝える存在でもある。私たちのスポーツイベントでは、ミズノプレイリーダーの資格をもったスポーツコーディネーターがすべての子ども向けプログラムを担当している。

・遊びながら運動能力をアップさせる「はらっぱスポーツ教室」

未就学児を対象とした教室で、運動の基本動作となる「走る」、「投げる」、「跳ぶ」といった動作を多く含んだ遊びの中に運動要素を多数取り入れた教室。友達と協力しあったり、年が異なる子ども同士が教え合ったり、特別な道具を使わなくても公園で遊ぶ方法を紹介している。公園すべてが、子どもたちにとって最高の運動あそびフィールドになる。

・コミュニケーションを介して楽しめる「親子スポーツ教室」

親子で一緒に「走って」、「跳んで」、「転がって」、遊びながら子どもの基礎運動能力を身につけることはもちろん、ご家族もしっかり運動ができる。互いに声をかけあったり、スキンシップなどを通してコミュ

ニケーションを深めながら、体を動かす楽しさを感じられる。教室内では、親子で体を思い切り使った遊び方を紹介し、公園ではもちろん、家でも実践できるよう促している。参加者からは「体を使ってこんな遊び方ができるなんて」、「子どもとの遊び方が変わった」などの感想を得ている。



親子スポーツ教室



ヘキサスロンを使ったイベント

・多様な運動あそびやスポーツの体験ができる「チャレンジキャラバン」

東京 2020 大会を盛り上げ、高まったスポーツ・運動機運を日常化するための総合スポーツイベント。広い芝生のオープンスペースを1日専用会場とし、子どもから大人まで参加できる様々なスポーツや屋外アクティビティを提供する。オリンピックを招いた走り方教室では、アスリートの身体能力の高さを体感できた。

ミズノ(株)が開発したヘキサスロンを使ったイベントでは、25m 走、立ち幅跳び、エアロケット投げなど6 種目の運動遊びを通じ、運動が苦手な子供でも遊び感覚で運動発達に必要な基本動作を身につけることができました。

その他、ボルダリングやボールを使った親子プログラム、またパラリンピック種目であるボッチャ、ブラインドサッカー等の体験会も実施。自治体や各スポーツ団体と連携したプログラムも多数開催している。

参加者からは「普段体験できない種目ができて楽しかった」「選手の走った姿がかっこいい、と子どもがあこがれるようになった」などの感想を得ており、スポーツにチャレンジするきっかけとなるイベントとなっている。



ブラインドサッカー教室(武蔵国分寺公園)



オリンピックの気運醸成(野川公園)

・スポーツ競技への移行を後押し「キッズ&ジュニア走り方教室」

小学生を対象に、速く走るコツを実践で習得するプログラム。ほとんどのスポーツの基礎となる「走る」という動作の基本を身につけることで、今後、色々なスポーツへ挑戦する気持ちを後押しする。運動遊びからスポーツ競技へと興味移行していく子どもたちを応援するプログラムとして人気を集め、運動会シーズンはもちろん、普段からキャンセル待ちがでるほど。「速くかっこよく走れた」と大変好評のお声をいただいている大人気プログラムとなっている。



毎回人気の走り方教室の様子(野川公園)

## VI. 日常のスポーツをサポートするための取り組み

これまでご紹介したスポーツプログラムにより、私たちはあらゆる世代に対して公園での運動のきっかけづくりを行ってきた。その運動習慣を継続してもらえるように、様々なサポートコンテンツも提供している。

### ・スポーツ動画の配信

コロナ禍でおうち時間が増える中、自宅でスポーツプログラムの復習をしたり、公園に来たときの運動をより楽しんでもらえるよう、公園のホームページで多様なスポーツ動画を紹介している。

ミズノ動画プログラムでは、スポーツコーディネーターによる、誰でも簡単にできる運動の方法や、親子遊びのレシピを多数紹介している。また、公園 YouTube では、夏休みキッズプログラムとして、早く走るためのポイントや練習方法を解説した動画を毎週配信した。

来園者からは、「動画で手軽に運動のポイントがわかって楽しい」「反復練習の助けになる」と好評を得ており、日々の運動習慣のサポートにつながっている。



公園ホームページや特設サイトの活用

### ・公園で楽しんでもらう取り組み

公園内には、来園者にスポーツを楽しんでもらうためのコンテンツをそろえている。公園内で配布しているフリーマガジン「パークライフマガジン」の最新号では、「Park Life × SPORTS」をテーマに、公園で効果的に体を動かすポイントや健康遊具の使い方などを紹介している。



パークライフマガジン 14号として Park Life × SPORTS を特集

さらに、スポーツコーディネーター考案のスポーツガイドシートを発行し、正しいストレッチやウォーキング方法を紹介したり、四季の自然が楽しめるおすすめのウォーキングコースマップを提案して好評を得ている。



各公園で配布しているスポーツガイドシート

このような運動の継続をサポートするためのツールは、公園利用者とのコミュニケーションの中でニーズを把握しながら、常にアップデートしている。

## VII. おわりに

私たちは、オープンスペースである公園が、誰もが気軽にスポーツを楽しむことのできる場となるよう、スポーツプログラムで運動の機会を創出し、その後、多様なコンテンツを用いて運動習慣の継続をサポートしてきた。このようなソフトプログラムの展開により、身近な公園で気軽に運動を楽しむライフスタイルが広がり、公園がスポーツの場として定着している。

私たちはこれからも、「むさしのヘルシーパーク」プロジェクトにより、人・自然・まちが元気になる公園づくりを推進していく。

## 令和2年度 夢の島公園・夢の島熱帯植物館事業報告

夢の島公園・夢の島熱帯植物館

指定管理者：アメニス夢の島グループ

館長 高橋 将

### I. はじめに

令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、大会）の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）が拡大し、開催は1年延期となった。公園内で行われていた整備工事も中断となり、大会のセキュリティフェンス設置やバリケードなどの他、決勝会場となる競技場内も様々な施設が残置となった。園内の各広場も利用制限のままとなり、大型バスなどが駐車できる南側（第一）駐車場は大会関係で令和2年8月まで利用不可となった。それでも公園利用をされる方もおり、東京都の指導による不要不急の外出を控えて頂く利用指導や感染症対策のオリジナルポップ掲示や園内アナウンスで注意喚起を行った。



写真1 マナー看板増設  
(オリジナルポップ)

なお、感染症の拡大は、公園内施設である夢の島熱帯植物館にも影響を及ぼし、令和2年度は臨時休館からのスタート。開館は6月となり、それまでは植物の管理の他、再開館に向けた感染症対策や施設の新しい利用方法などを模索した。令和2年度は、人々の生活様式も一変する年となり、我々、施設を管理する側も従来の来館促進から新しい発想の転換を要する1年となった。

### II. 夢の島公園

#### (1) 公園利用

感染症拡大措置として緊急事態宣言が発令され、公園利用者には、利用時間の制限や混雑時の利用を控えて頂くなどの自粛要請を実施。また、飛沫感染を避けるため、利用自粛のチラシを作製して配布した。全トイレ洗面所に石鹸を配備し、公園利用マナー看板を増設して感染症の注意喚起を行った。

幸い、整備工事や大会関係での占用区域により、利用できる広場の制限や駐車場の閉鎖、さらに園内施設であるBumBスポーツ東京文化館は前年度2月より組織委員会の占用となっており、施設利用者などの園内通行も無いなどの要因も相まって、利用者が三密となることは

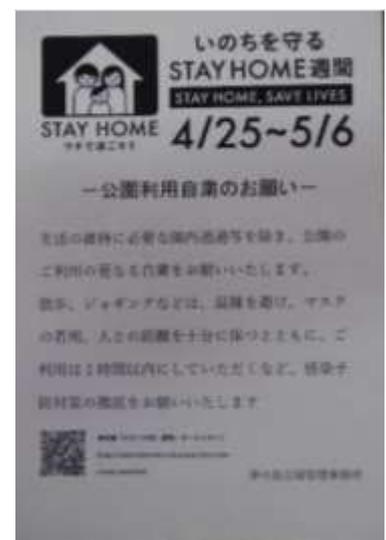


写真2 利用自粛チラシ配布

無かった。ただし、緊急事態宣言が解除となった6月以降は夢の島熱帯植物館や第五福竜丸展示館の再開館、8月下旬には南側（第一）駐車場の再開、10月にはBBQ利用の開始など、少しずつ公園利用も増加した。特にBBQ広場の利用は、数年間の護岸工事やその後の園地改修工事によって約2年半ぶりであった。利用再開までは、職員の運用教育を実施し、予約時のトークスクリプトを公式HPに掲載。予約時には、事前にHPを確認頂いてからの受付とすることで、一件当たりの所要時間を短縮し、話途中で電話が繋がらないなどのご意見が低減できた。BBQ利用は、感染症対策の観点から、利用卓数を一つ置きとして卓数利用数を半減とした。利用の多い週末には、職員がBBQ広場に赴き、利用者には利用誓約書に署名を頂くなどの取り組みを適切に遂行し、長い休止期間があったが、クレームなどは発生しなかった。なお、1月に再び緊急事態宣言が発令された。BBQ広場も利用停止し、東京都の指導による公園での飲酒などは、ご遠慮頂くなどの感染症対策を遂行した。



写真3 BBQ利用再開

## (2) 公園維持管理作業

感染症の拡大により、大会の延期が決定されたが、大会組織委員会の整備工事は7月まで実施された。年度当初は緊急事態宣言下であったが、6月には植物館も再開となり利用者の動線の安全確保の他、埋設管損傷事故対応を含め、現場立会を実施して不安全箇所の是正など安全第一で工事を行うよう指導した。整備工事は12月より再開し、年が明けた1月からは、本格的となった。植物館横の芝生広場の閉鎖、樹林地や園路際などにセキュリティフェンスの延長工事などで、工事関係者が増員され、園路も大型車両や重機が多く通行となった。感染症対策のため、工事定例会などは自粛となったが、適宜、園内整備状況を確認して、車両の徐行などの安全指導を行った。但し、大会の開催時期にも配慮し、工程に支障が出ないように、公園の工事利用を大会組織



写真4 大会整備状況



写真5 樹木診断

委員会や工事関係者と協議しつつ、打合せ事項や協議内容は朝礼や館内会議などで共有を図り、時に来館者への告知を行うなどの運営を行った。

公園維持管理作業では、ここ数年の公園改修工事により大きく樹木数を減らすなど、園内環境が大きく変化し、前年度は台風で多数の倒木被害を受けた。防災減災も踏まえた植栽管理計画(グリーンマネジメントプラン)を改定。目標を①：歴史を継承していく公園、②：全ての利用者へのおもてなし機能を備えた公園、③：災害対応能力の高い公園の3点に定め、グリーンマネジメントプランをもとに、大径木管理5か年計画・樹木診断5か年計画を作成した。今年度は倒木リスクが大きいと考

えられる高木ユーカリを対象に樹木診断を実施し、診断結果をもとに園内の高木ユーカリを剪定(高所)作業のエリア管理を行った他、大会のアーチェリー決勝会場となる陸上競技場内のヤシの手入れ、園内メイン通りにあるデイゴの剪定を実施した。

これは、グリーンマネジメントプランでのゾーニングにより園内の樹木・樹林地の特徴をふまえ、防災減災に繋がる処置すべき優先順位の高い作業と樹木診断を大径木管理と関連付け、樹木医の専門的な意見を取り入れることで、倒木リスクの樹木に対して伐採ではなく、剪定(樹高低減)により倒木を防止でき、樹木の保全が図られた。よって、気象災害などのリスク軽減につながることで、豊かなみどりに貢献したと考える。

施設管理では、高圧洗浄機やバキューム車による側溝特別清掃や便所特別清掃により、良好な衛生環境を確保しつつ、大雨時に園路が滞水する箇所は、改善工事を行うなど適切な施設修繕を行い、台風対策およびデング熱ウイルス対策にも繋がった。

さて、前年度に夏花(夏に強い花・夏によく咲く花)の植付イベントや勉強会を行った夏花プロジェクトは、夏の大会を草花で彩り日本のみならず海外の方たちをもてなすことを目的に実施してきた。令和2年度は、大会整備の利用制限により規模は縮小したものの、夏花の植付を実施。また、前年までの取り組みを通じて夏花100種類を夢の島セレクション100『応援花』として選定した。このセレクション100『応援花』は夢の島公園を含む代表企業(株)日比谷アメニスが管理する16の公園の花壇に取り入れられ、園芸雑誌でもプロジェクトの内容を取り上げていただいた。夏は非常に気温の高い日が続いたが、『応援花』の花壇は良い状態を保ち、会場工事ばかりが目立つ公園の中で、来園者の憩いの場となったこと、さらに、大会のレガシーとして発展していくことと考えている。



写真8・9 夏花プロジェクト



写真6 ユーカリ樹高低減剪定



写真7 排水管交換工事

### (3) 公園利用促進事業

大会は1年延期となり、年度当初は、公園利用再開のため、一部の仮囲いや敷き鉄板の撤去などの園内工事が開始された。7月には工事が終了したが、樹林地内のセキュリティフェンスの残置や競技場の閉鎖継続など緑地の景観は損なわれたままとなった。通常の公園利用は難しく、また感染者数が増加して緊急事態宣言が継続された際は、利用自粛のアナウンスを行うなど、公園の利用を促進することも自

粛となった。しかし、秋は感染者数が減少し、公園でも限られた広場で、利用促進事業を検討した。使用場所などは、大会組織委員会との調整も行い、当初計画していたブラインドサッカーは人との接触などを懸念し中止としたが、隣接する江東区陸上競技場と連携したアーチェリー体験は、使用道具を消毒して体験イベントを実施した。イベントは、児童用だが大人も楽しめ、園内放送などで呼びかけることでB B Q利用者や公園内施設の

東京B u m Bスポーツ会館利用者も参加頂いた。体験前に、アーチェリー場や江東湾岸地区で行われる会場のパネルなどで、アーチェリー場開設の経緯を説明でき、大会への機運醸成に繋がるとともに、



写真 10・11 アーチェリー体験

広場では個々で楽しめる方にも公園のイベントを楽しんで頂いた。

続いて、公園利用とは異なるが、公園と植物館で連携した事業を報告する。

前年度の2019年9月に発生した台風により、高木の倒木などの気象災害が発生した。公園の歴史や管理作業などへの関心を喚起するために、台風で倒木したユーカリの木を使い彫刻家に作品制作を依頼し、植物館企画展示室にて「木と人との物語」展を開催した。内容は、「夢の島公園が生まれた頃に植樹され、公園で楽しむ人たちを眺めながら成長したユーカリが、台風で倒れても人の手により作品に生まれ変わることで、あらたな息吹を吹き込まれた」という木と人間のストーリーである。



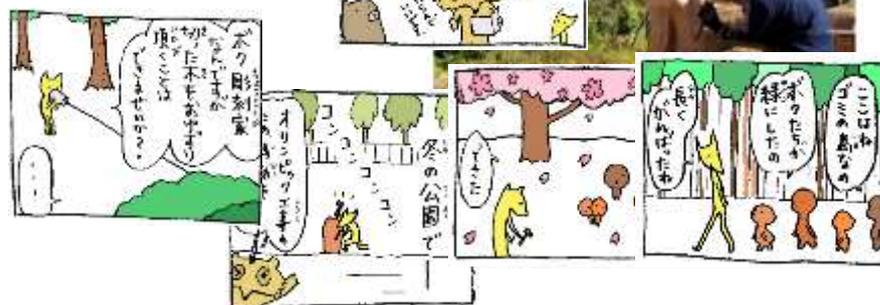
写真 12 台風による倒木

公園の移りゆきを木が主人公として表現し、来館者にかつてごみの埋め立て地だった土地が、緑と人々でにぎわい、大会会場へと発展した歴史、発展の経過を伝えることができ、公園への関心を大きくふくらませることが出来た。観覧された方は、強く共感されたようで、スタッフに感想を伝えてくれる方、植物館退館後に改め



写真 13 木と人の物語展

て公園のユーカリを眺めている方もいた。



### 3. 夢の島熱帯植物館

#### (1) 植物館利用と入館者数

令和2年度は感染症拡大措置として施設利用が停止となり、臨時休館からのスタートとなった。しかし、職員は、ソーシャルディスタンスを保ちながら植栽の日常管理を実施し、委託定期作業も実施した。また、再開館に向け感染症対策をハード面・ソフト面で行い、再開館に備えた。

6月には再開館となったが、駐車場の一部閉鎖の他、イベントの自粛や団体利用も控えたため学校利用の入館者数は激減した。また、ご高齢の方の外出自粛も多く来館される方は少なかった。感染者数が減少した秋以降は参加人数を制限しながらもイベントを再開した。しかし、年末から再び臨時休館となり、年が明けた1月には再び緊急事態宣言が発令され、約5カ月間の休館となった。それでも休日は幅広い層の方にご利用頂き、大会整備が落ち着き、駐車場がすべて利用可能となった9月からの3カ月は、有料入館者数が前年比増(約11.4%増)となり、特に10月は過去五年間で最も多い有料入館者数を記録した。

感染症対策は、4・5月の休館時にオリジナル感染症防止ピクトグラムを作製し、各所掲示板・臨時案内板・館内各所に掲示。券売所などには、飛沫感染防止用アクリルボードやビニール、窓口インターフォンを設置した他、館内スツールやカフェ席数を半数以下に削減した。トイレドアは、利用者がドアノブに触れないよう常時開放とし、スクリーンカーテンを設置。館内には10か所以上の手指消毒個所を設けた。換気にも留意し、夏期には大型冷風機を設置した室温管理、冬期には館内全体に空気の流れを作り出し循環させるロスナイ換気その他、空気清浄機及びサーキュレーターを設置した対策を行った。

職員は、ソーシャルディスタンスに留意して業務を実施。4月からの半年間は会議室も執務室として職員を分散した。さらに、職員の体調不良の欠勤を想定し、事務職員の増員、事務職員の複数業務研修(事務職員による券売業務やインフォメーション業務の研修)を行い、単独で遂行できるよう育成して準備を整えた。秋にはイベントを再開したが、入館時とは別途、すべて予約制で定員半減とし、マスク着用、事前の検温、手指の消毒を義務づけた。受付時に多少の時間をかけ実施したが「安心して受講できる」「コロナ禍でも安全なイベントがあることはうれしい」などの声を頂いた。感染症対策は、館内アナウンスの他、三密を無くし、換気を徹底するなど飛沫感染・接触感染、東京都の接触確認アプリを推奨しての運営を行った。臨時休館もあり、イベントの自粛やカフェ利用の変更などあったが、来館者には安心してご利用頂いたと考えている。

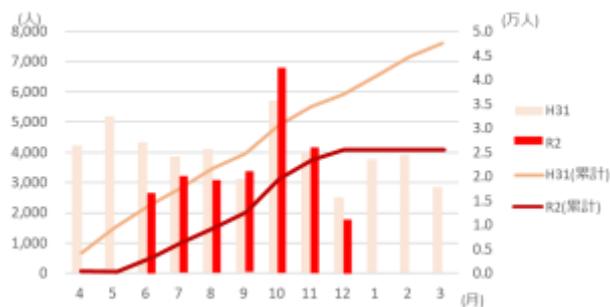


図1 有料入館者数



写真14 トイレ前スクリーン設置



写真15 イベント再開(一方向)

## (2) 植物館維持管理

植栽管理は、休館中はイベントホールも作業場所とし、一定の距離を保ちながら日常管理を実施。また、休館日の定期点検や定期作業の他、温水配管やエアコン、映写機などの不具合箇所を把握し、修繕対応・緊急対応を実施した。

トピック

大温室（B ドーム）の施設保全のため、展示しているヤシの伐採作業を実施。

B ドームは、植物館の中で1番高く28mあるが、ダイオウヤシ3本のうち1本が、温室上部のガラスに接触するほど生育していた。ヤシ類の大型樹木に対しては、定期的な樹木点検を計画し、高所作業で高性ヤシの状態を注視していたが、ダイオウヤシ1本の新芽が天井部分に到達しており、このまま生長するとガラスの損傷も懸念された。そのためダイオウヤシの伐採作業を計画し、伐採業者の選定、作業内容と手順、スケジュールの調整を行った。作業は複数日かかるため、週に1度の休館日では終了できない。当初、大会期間中に伴う臨時休館に予定したが、大会が延期となったため、計画を見直し、連日休館となる年末休暇（3日間）とした。伐採方法は、ロープを使用した”吊るし切り”と”玉切り”を取り入れた最適な方法で行い、来館者への災害や作業員の事故及び物損事故なく、またドームの天井への支障もなく伐採を実施できた。

なお、伐採に際して、「さよならダイオウヤシ」と題して、

事前に大温室入口にポスター大の写真を掲示。来館者がコメントをできる工夫を凝らした他、ダイオウヤシ伐採をHP、館内に掲示・周知することで、苦情も無く伐採への理解をいただくことができた。

さらに、上記に加えて、ダイオウヤシへのメッセージを来館者に募集したところ100を超えるあたたかいメッセージとはがき、メールでの関心をいただいた。作業では、作業風景など観賞できるよう、写真や動画を撮影し、発生材は、樹冠および幹部を前庭に展示。

来館者にヤシの構造を身近に見て頂く事としたほか、休館も長く続いたこともあり、動画配信を行った。

本来は単なる館内作業である伐採を「さよならダイオウヤシ」としてイベント化し、メッセージをお客様から募集するパネル設置や作業動画公開など、通常の維持管理作業を魅力的に発信することができた。



写真 16 栽培温室カーテン交換



写真 17 伐採前メッセージ



写真 18 伐採作業



写真 19 伐採ヤシ展示

### (3) 植物館利用促進事業

令和 2 年度は、感染症が拡大し、緊急事態宣言の発令や臨時休館、利用者の外出自粛などもあり、通年の管理運営業務や施設利用のあり方を再考することとなった。

植物館も P C リモート会議や動画での研修など、デジタル技術を活用した業務で対面での会話を控え、来館者へのガイド・ガイダンスも自粛することとした。ガイドは、前年度リニューアルした夢熱アプリを推奨し、ガイダンスはエントランスに支給されたデジタルサイネージモニターを有効活用することとした。アプリは、植物館で

も人気の高い食虫植物を中心に追加し、休館期間中を含めて合計約 600 人のお客様にアプリをダウンロードして頂き、外出を控える方が多い中、来館しなくても植物館を楽しめるツールとして役割を果たせた。来館された方にも、対面ガイドを休止している中で、新しい生活様式のひとつとして個人端末で利用できるガイドアプリの活用が広まったと考える。ガイダンスは、令和 2 年度に配備されたデジタルサイネージモニターを使用し、避難経路や感染症対策のお願いの他、画像や映像を用いて、見頃の花や植物館の概要などをお知らせするガイダンス利用に役立てた。

そして、コロナ禍での施設の新しい利用として「バーチャル植物館」を提供。

植物館内を 3D 撮影し、HP から立体的な写真で植物館が楽しめる V R を使った広報の手法として、



3Dビュー+VR画像で館内を公開

写真 22 バーチャル植物館

植物館を広報するためにも活用でき、メディアリリースを強化していく材料にもなった。

その他、公式HPでは、開花情報を「本日のスタッフのおすすめ」として休館中は毎日更新し、SNS では公式 Instagram を活用。日本植物園協会とも共通ハッシュタグで連携するなど、タイムリーに閲覧者に届けることができ「花の画像に癒される」などの声を頂いている。



写真 23 本日のおすすめブログ



写真 20 デジタルサイネージ活用



写真 21 夢熱アプリ

Web 公開した。利用者は、スマートフォンや P C で、3D の来館を疑似体験でき、自粛を余儀なくされ、来館が困難な利用者をご自宅の時間の中に植物館を取り入れていただける内容となった。これは、新たな施設利用の機会を提供するとともに、地方等遠隔地に向け

メディアでは、ケーブルTVでの企画展の紹介の他、TV番組で芸能人と植物館を散策、さらにリモートで、職員がゲスト出演して植物館を紹介するなど、媒体の特徴やメリットをとらえ、適正な内容での情報を発信した。TVメディアでレポートすることで、植物の魅力を楽しく説明でき、植物館の魅力を多くの方に知って頂く事ができた。



写真 24 職員がTVゲスト出演（リモート）

次に、大学連携について報告する。



写真 25 企画展

大学との連携活動では、感染者数が減少した 11 月に慶応義塾大学アフリカ研究会と連携。学生とともに企画展「アフリカの森と「秋祭り」展」を実施した。植物はじめ繊維やファッション、文化、食物、慣習、遊びなどを一般の方に楽しく分かりやすく紹介する企画展とした。さらに、企画展関連イベントも実施し、これまでとは異なる若い世代の来館者層や初めて植物館に来館される方も多くなり、イベント参加者の満足度も高かった。企画は学生が中心となって進

め、学生の柔らかな発想で、楽しく、価値あるアフリカを表現したことで、アフリカを身近に感じることものできる企画展となり、展示室では子供たちもアフリカの楽器や遊びを楽しんでいた他、学生の学業の発表の場ともなり、大学側からもコロナ禍において休止している学生の研究会活動の場となった事でとても喜ばれた。



写真 26・27 アフリカの繊維，ファッション，文化，植物，慣習

続いて、植物館売店でのオリジナル

商品について。植物館内の売店やカフェでも休館中は再開館に備え、飛沫防止シートやソーシャルディスタンスシールを設置して感染症対策を講じた。

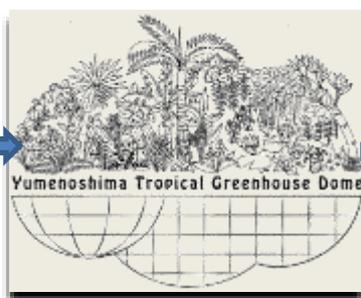


写真 28～30 職員イラストのトートエコバック

売店商品は、植物館関連のミニ観葉・多肉・食虫植物などを季節により装飾を変え、常備商品の他、企画展に合わせて商品を取り揃え、ハーブ展（ハーブティー）、ハロウィン（カボチャプッチーニ）、アフリカ展（アフリカマスク）など、人気で来館記念のお土産として喜ばれた。また、新商品として「東京都産のカカオを使ったチョコレート」「ラフレシアマグネット」などの他、植物館オリジナル商品として「小笠原固有植物シール」、職員が描いたシリーズでは「ハンカチ」「イラストエコバッグ 3 種（大温室ドーム・食虫植物・小笠原植物）」や、花とゴミのリバーシブル仕様（組み立てて使える 3WAY）の「キーホルダー」などを制作発売し、植物館ならではの新たな魅力を創出した。



写真 31 キーホルダー

#### 4. さいごに

令和 2 年度は、東京 2020 大会の延期に伴う整備区域の残置による閉鎖区域が継続された。また、感染症拡大に伴う公園利用の自粛要請や植物館の休館があり、大会の整備継続対応と感染症対策に尽力する 1 年であった。公園では利用できる広場が制限され、植物館もイベント自粛やカフェの席数制限など通年と異なる運営となったが、アンケート結果では、公園・植物館とも「安全・安心感」が高く、実施した感染症対策や園内・館内放送による注意喚起などで、居心地の良さや安心感につながったと考える。

公園では、前述の通り、工事により 2 年半休止していた B B Q 利用再開があり、利用できる卓を半減し、安全な距離を確保した。また、昨年度の台風で倒木したユーカリの発生材を用い、彫刻家に作品制作を依頼、台風時の様子や維持管理の目的など写真や動画などを用いた企画展を植物館で開催した。

植物館は臨時休館からのスタートだったが、感染症対策をハード面・ソフト面で実施し、アクリルボード設置などで応接客を極力控えつつも音声スピーカーなどで頂いた「お客様の声」を共有して接客意識を高め、安心して来館頂いた。また、慶応義塾大学や「きのこ展」で協力頂いた国立科学博物館筑波実験植物園との連携など産官学連携企画や公式 H P で V R 撮影による「バーチャル植物館」を展開した他、職員の T V 出演、休館中の「本日のスタッフのおすすめ」開花情報を毎日掲載し、コロナ禍で来館が困難な方にも楽しんで頂く新たな施設利用を提供できたと考える。



丑年

写真 32 新木場駅正月装飾

牛車

## 2021（令和3）年度都市部の公園・東部グループの管理運営と利用の実態

都市部の公園・東部グループ

指定管理者 アメニス東部地区グループ

統括責任者 上田太司

### I. はじめに

2021（令和3）年度も新型コロナウイルス covid-19 の感染拡大の危機は、昨年度以上に長い期間影響を受けたように感じられる。昨年のように学校が休校になるようなことはなかったが、緊急事態宣言とその措置の期間、まん延防止等重点措置の期間、その他の注意喚起の期間が長期に渡り、公園の管理運営や利用促進などに大きく影響があった。さらに12月から急速に広まったオミクロン株については、職員の近辺でも家庭内感染などにより、その影響が間近まで迫って、BCP体制やバックアップの方法なども検討を行った。

2021（令和3）年度の都市部の公園・東部グループの管理運営と利用の実態について、まとめる。

### II. コロナ禍における対応状況

2021年1月～2022年3月の対応状況（表1参照）

### III. 公園利用者数推移

大島小松川公園の利用者数推移（表2参照）

大島小松川公園の利用者数推移を表とグラフで表示した。

2021年1月7日から続いた「緊急事態宣言及びその措置期間」が3月21日で終わり、春休みに向けて段階的な緩和措置が行われながら、2021（令和3）年度が始まった。

段階的な緩和措置であった4月は前年より利用者が少なくなった。しかし、4月下旬より再び、緊急事態宣言とその措置期間となり、それ以降、盛夏であった8月を除く5月から10月まで前年より利用者が増加した。9月30日で緊急事態宣言が解除され、リバウンド防止期間に移行、11月、12月は利用者が減少した。移動が緩和されて、行楽シーズンも重なり、近郊利用が減ったと推測する。1月に再び、まん延防止等重点措置の期間となると再び利用者が増えている。2月については週末2回ほど積雪があり、これは運動施設利用者が減少したことが要因であると推測する。

緊急事態宣言及びその措置期間における利用者は、屋外でのレクリエーションを求めていること、ウォーキングやランニングなどの運動をする方が増えていること、などが考察される。特にBBQ施設の利用や例年行っているイベントの開催に関する問合せが多かった。

公園の新たな利用者が増えていると推測され、その方々の公園利用が定着するように、今後は公園に誘導するような仕組みやコロナ禍での公園の利用促進策を実施する。

#### IV. 利用状況の概要

4月

暖かい日が続き、ソメイヨシノが3月中に終了。花見の規制を行ったことで花見客は昨年同様に激減した。花の開花も例年に比べて2週間程度早く、花を楽しまれる方がたくさん公園内を散策、問い合わせも多かった。4月25日から「緊急事態宣言及びその措置期間」により運動施設及び駐車場の利用中止。事前予約者への連絡対応と問い合わせに追われた。



施設利用中止のホームページ記事の閲覧数が7,537件と非常に多く、特に4月24日と25日に閲覧数が跳ね上がり、利用者から注目されていることが分かる。

5月

4月25日から「緊急事態宣言及びその措置期間」により、運動施設及び駐車場が閉鎖となった。さらに5月12日～5月31日まで緊急事態宣言が延長となったが、駐車場の利用再開や運動施設の利用が20時まで再開となり、公園としての利用制限は緩和された。やはり5月は、ゴールデンウィークの利用者が多かった。5月23日は日曜日であり、天候にも恵まれ、各公園において賑わいをみせていた。

「公園施設の閉鎖についてのお知らせ」が掲載されたホームページ記事の閲覧数が8,128件と非常に多く、5月2日、3日、4日だけで、1日1500ビューを超えていた。また、「公園施設利用再開のお知らせ」は5,239件で、5月8日、9日、22日に閲覧数が跳ね上がり、利用者から注目されていることが分かった。



6月

6月19日まで約2か月間の「緊急事態宣言及びその措置期間」が終了し、その後6月20日からはまん延防止等重点措置が発令された。その為、引き続き運動施設の利用は20時までとなった。イベントに関しては、コロナ禍対策を行ったうえ、少人数での参加であれば行うことが可能となった。

梅雨に入り天候が安定しない日も多かったが、全体の利用者が昨年よりも増えてきており、本来の公園利用の姿に戻りつつある。



## 7月

7月12日には再び、「緊急事態宣言とその措置期間」に移行した。しかし対応には大きな変化はなく、引き続き新型コロナウイルス感染症対策の下で公園の管理運営に務めた。アメニス東部地区グループとして新型コロナウイルス対策用のイベントガイドライン定め、少人数の事前申込制のイベントから少しずつ再開させた。特に東京オリンピックの開幕にあわせ、猿江恩賜公園と大島小松川公園ではスポーツプログラム「アウトドアフィットネス」を再開させ、公園利用者の健康増進に力を入れている。

また、猿江恩賜公園、亀戸中央公園、尾久の原公園では2年ぶりにじゃぶじゃぶ池の運用を開始した。オープンを皆待ちわびていたようで、連日多くのファミリーで賑わっていた。こちらも新型コロナウイルス感染症拡大防止の看板を特別に設置し、感染症対策に努めた。



## 8月

7月12日から続いている緊急事態宣言、8月も明けることはなかった。8月は雨が多く、晴れた日には日差しが強かった為なのか、公園の利用者は期待したほど伸びなかった。緊急事態宣言中ではあるが、感染拡大防止対策を万全に行ってイベントを実施した。

尾久の原公園では自然観察会を再開、猿江恩賜公園と大島小松川公園ではアウトドアフィットネスを開催した。尾久の原公園と亀戸中央公園と猿江恩賜公園では、7月22日からじゃぶじゃぶ池を運用している。去年に比べて3公園とも約1万人の利用者が増えた。

また、職員研修として「樹木点検講習会」を野外にてリアルに実施。樹木医から樹木の点検のポイントを教わりつつ、判断基準と書式の統一を目標として実施した。



## 9月

緊急事態宣言は9月12日まで延長され、さらに9月30日まで続いた。天候は9月上旬に台風9号、10号が接近したが大きな被害はなかった。9月3日には最高気温38度を記録したが、不安定な気温が続いてカラッと晴れる日は少なかった。



ハロウィンイベントとして茨城県で育てたおぼけかぼちゃの展示を開催、毎年楽しみにしている利用者もあり、フォトスポットとして、仮装をした子どもたちが写真撮影をしている光景が増えた。

## 10月

10月1日から「リバウンド防止措置期間」とし、10月21日からは「基本的対策徹底期間」に移行した。ホームページ閲覧数としては、10月3日が4,393件と今月最高となった。また、10月22日には、11月以降に再開となる大島小松川公園バーベキュー予約ページの閲覧数が250件となり、前日平均150件に対し、東京都発表後の23日以降は200件を超えるようになった。



## 11月

利用者数が大島小松川公園、宇喜田公園、東綾瀬公園が減少した。緊急事態宣言が10月1日に明け、行楽時期と重なり、週末を中心に遠出される方が増加したことが原因と思われる。

尾久の原愛好会が「みどりの愛護」功労者として、表彰されることとなったが、新型コロナウイルスの影響により、式典が中止となった為、サービスセンターより感謝状を贈呈した。



## 12月

利用者数は、亀戸中央公園を除く6公園で減少した。天候等も特段変わらず、新型コロナウイルスの感染者の減少傾向により、多方面への遠出が影響と推測している。

また、7公園で行っていたどんぐりイベント「どんぐりクラフトコンテスト」は10作品の写真が届き、6名の方に「カラフルで賞」や「機能的で賞」などの賞を授与し、「東部7公園コイン」を景品で郵送した。亀戸中央公園で、2年ぶりに「自然観察会サザンカガイドツアー」を12月5日に実施し、コロナ禍でも参加者は15名。予告を告げてから5日間で予約が一杯になるなど人気が高い観察会である。



## 1月

今年はお正月の霽囲気から一転、1月6日には大雪警報が発令され、都市部の公園・東部7公園でも積雪や凍結があり、各公園で夜間を通して除雪対応を行った。明け方作業中には感謝の言葉をかけられる光景も見受けられた。1



月 21 日からは、新型コロナウイルスの感染大の影響により、「まん延防止等重点措置」が発令された。

公園利用者もホームページ閲覧数も減少しているが、帰省や旅行で減少していると思われる。しかしながら、東部 7 公園ホームページトップの最高閲覧日が 1 月 20 日の 72 件、大島小松川公園のホームページトップは 29 日の 471 件、猿江恩賜公園も 29 日に 206 件と 1 月後半の休日は利用者が伸びていたと推測できる。まん延防止等重点措置に伴い、利用者が近場の公園に戻ってきていると読み取れる。

## 2 月

新型コロナウイルスの影響に伴い、まん延防止等重点措置が 1 月 21 日～2 月 13 日に発出されていたが、さらに 2 月 14 日～3 月 21 日まで延長となった。2 日間ほど降雪予報があり、各公園で体制構築と除雪対応に追われた。

前値対比で公園利用者も減少し、ホームページアクセス数も減ってはいる。しかし土日・祝日の利用者やアクセス数は多い傾向となっている。大島小松川公園では、コロナ禍における公園利用について、公園利用者取材報道が行われた。



## V. 利用促進

### 4 月

大島小松川公園、亀戸中央公園、中川公園、尾久の原公園では、ワークショップ形式で実施した「こいのぼりをつくろう」を、新型コロナウイルス対策の為、新たな手法で実施した。サービスセンターで配布した真っ白なこいのぼりやうろこを自宅で書いてきてもらい、持ってきたものを展示した。そのため、ワークショップ参加者だけではなく、展示することにより公園利用者にも季節感を楽しんでいただいた。

またこれまで猿江恩賜公園と中川公園で実施していた森の絵本を、亀戸中央公園で新規に実施した。3月に配布した「7公園見ごろマップ」や「猿江樹木マップ」も引き続き好評である。



5月

4月にワークショップ形式で実施した「こいのぼりをつくろう」を管理所付近に展示し、参加者だけではなく、公園利用者に季節感を楽しんでいただくことができた。各公園イベント等が出来ない中、公園の既存の魅力としてボランティア花壇や季節の草花の広報に力を入れた。

またコロナ対策の一環として、遊具や更衣室で光触媒塗布を実施した。その動画を作成、公開して公園利用者に安心感を与えることができた。



6月

7月に向けて七夕飾りを開催した。こいのぼりと同様に、自宅で書いてきてもらい、持ってきたものを展示することで、参加者だけではなく、公園利用者に季節感を楽しんでいただいた。今回はオンラインでの募集も行い、各公園に飾ってもらう新たな試みも行った。

公園の魅力発信とコロナ対策の一環として、春に撮りためておいた大島小松川公園の大花壇のネモフィラや、猿江恩賜公園に新しく設置した森のギャラリーのデザイナーインタビューや南園を平日の昼下がり散歩するコンテンツを撮影し配信した。



7月

東京オリンピックにて7月25日に行われた「スケートボード男子ストリート」で堀米雄斗選手が金メダル獲得した。堀米選手は江東区出身で、そのコメントが報道されると大島小松川公園のホームページアクセス数が1日で4,903件に達して通常時の約25倍のアクセス数となった。問い合わせも増えて7月25日から3日間にはスケートボードや堀米選手に関する問い合わせがあった。

報道撮影に関しては、7月25日に急遽マスコミ各社による堀米選手の父親のインタビュー記者会見が公園内で行われた。また7月26日にはテレビ朝日「スーパーJチャンネル」で特集、7月31日にも海外での報道番組の取材があった。



8月

広報として、秋に向けた公園の情報が様々な雑誌等に掲載された。「SUUMO 新築マンション特集」「江東区議会だより」「るるぶ de Kids こどもの運動能力がぐんぐん伸びる公園」

他に公園の持つポテンシャルを紹介する動画配信を行い、知名度をあげるようにした。



9月

公園ホームページでは9月19日にアクセスが4,886件と今月の最高となった。また、去年掲載したキンモクセイやマテバシイの探し方のホームページ記事が閲覧数ランキングに入り、公園内での秋の魅力が向上しており、公園利用者も増えてきている。

どんぐりマップや秋の見どころマップを制作、東部7公園公式ホームページにてイベント情報の掲載を行った。



## 10月

自然観察会、サザンガイドツアー、ワンちゃんとの暮らし方教室、などをイベント情報サイト等へ情報提供を行った。また東部7公園公式ホームページにてイベント情報、植物情報、ボランティア情報、などを発信して、利用者の公園での楽しみ方を提供した。



## 11月

ホームページ閲覧数は増加傾向で大島小松川公園のバーベキュー場が8日から再開され、バーベキュー予約ページの閲覧数が2,855件と11月の東部7公園のホームページの中で3番目に多くなった。

東部7公園公式ホームページにてイベント情報の他、植物情報・ボランティア情報を掲載した。前月のどんぐりイベントの参加拡大を図るためSNSで参加を呼び掛ける投稿を行った。



## 12月

東部7公園公式ホームページ・YouTube・Twitter・Facebookにてイベント情報の他、植物情報・ボランティア情報を掲載した。お正月飾りを作ろうをYoutube配信、おでかけノルディックウォーキング（七福神めぐり）、凧つくり、などをSNSやポスター掲示で呼びかけた。



## 1月

1月のイベントの開催は、1月9日大島小松川公園「星空観察会」32名、猿江恩賜公園「自然観察会」16名、1月10日大島小松川公園「凧づくり」は124名と大盛況であった。公園イベントの価値が高まっていることを実感した。その後1月21日から、まん延防止等重点措置が発出されて、イベントも中止となってしまったが、公園の魅力をSNSで発信する手法に切り替えた。新型コロナウイルスの影響により、尾久の原公園（1月30日）、亀戸中央公園（2月5日）、猿江恩賜公園（2月13日）で予定していた「自然観察会」と「アウトドアフィットネス」を中止させた。（猿江・大島・亀戸）で予定していたイベント予約者には、中止の連絡を速やかに行った。

公園内の魅力アップの為、猿江恩賜公園・亀戸中央公園・中川公園・大島小松川公園の自主事業「森の絵本」の作品をローテーションし、各公園で新しい絵本を展示した。新しい絵本になったことを公式ホームページや園内掲示板、Twitter等で広報し、利用者楽しんでもらっている。

また「見どころ冬マップ」を制作し、各公園で配布している。また、各サービスセンターに行かなくても、今まで制作した「見どころマップ」を公式ホームページからスマートフォンでダウンロード出来るようにした。



## 2月

まん延防止等重点措置延長に伴い、2月の人が集まるイベントはすべて中止となっている。各サービスセンターにおいて、節分に関する装飾、ひな祭りに関する装飾を行って公園を彩った。

今まで対面で行っていた自然観察会を公式YouTubeで数回に分けて撮影・配信した。リアルタイムではなく、たくさんの方が何回も視聴できるように、2時間園内を回る自然観察会を数回に分けて配信する。一回目はウメとアンズの解説を行った。



## VI. 管理状況

猿江恩賜公園		
		
チューリップの杜 満開	見通しを良くする低木剪定	1月6日テニスコート積雪状況
亀戸中央公園		
		
チャドクガ駆除	サザンカの品種育成	樹名板の設置
尾久の原公園		
		
秋の火災予防訓練	水辺の管理状況	樹木に絡まった凧の除去
東綾瀬公園		
		
満開のラベンダー	綾瀬警察署水害対策合同訓練	F地区流れ彼岸花

中川公園		
		
ナラ枯れ対策	A 地区トイレ前漏水工事	ソーラー照明灯修理完了
大島小松川公園		
		
大花壇 ネモフィラ満開	自由の広場簡易テント状況	クロスズメバチ巣の除去
宇喜田公園		
		
ハーブガーデン手入れ	安全パトロール指摘改善作業	苦情対応によるサイン看板設置

## Ⅶ. 感染防止の対策

「かからない、うつさない、うつされない」5つのルール

- ・ 3つの密（密閉・密集・密接）を作らない、
- ・ アルコール消毒、手洗いとうがいの徹底、
- ・ 社会的距離（ソーシャルディスタンス）の確保、
- ・ 会話をする際にはマスクを着用（食事の際の会話はしない、個食を推奨）、
- ・ ヘルスチェック及び行動記録、

を継続して設定し、実施した。

職員にメールや配布物でこまめに周知し、「正しく恐れ、しっかりと対応する」ことを徹底した。

このほか、接触確認アプリ COCOA のインストール、大勢での会食を控える、炎天下作業

時のマスクの外し方など、時節に応じた対応が必要となり、その都度、周知や周囲へ理解を図った。

公園利用者に対しても、コロナ禍での公園利用に対して理解をしてもらうため、ホームページや園内掲示だけではなく、定期的かつ利用が多い時には園内放送、巡回時の声かけも行い、注意喚起をしている。「東京版新型コロナ見守りサービス」や「接触確認アプリ（COCOA）」の利用、「TOKYOワクションアプリ」への登録を、掲示物や放送案内にて強く奨励している。

物品購入としては、受付窓口へのパーテーション設置、トイレや水飲み場に石鹸を設置した。一部サービスセンターには、体温測定とアルコール消毒を同時に行える装置を設置して注意喚起を行った。

それまで職員の感染はなかったが、12月からオミクロン株に置き換わった頃から家族内感染が増えてきて、職員の家族が感染するケースが目立った。再度、感染対策を周知しつつ、職員の状況把握、自宅待機の期間や連絡方法など、を確認して対応した。2月に職員1名が陽性となったが、所内でクラスターとなるような事態はなかった。

## **VIII. With コロナから After コロナへ、新しい公園利用のあり方**

昨年度から続く、コロナ禍での対応も、今年度は自粛期間が長期間に渡り、イベントなどもかなりの制約を強いられた。これまでの2年間でWith コロナにおける公園の活用方法を考えて、しっかりと対応できている。さらに今後は、After コロナの公園利用のあり方を模索しなくてはならない。

利用促進事業や自主事業をどんどんやって利用者を集めるのではなく、公園本来の安全・安心を基本として、花や緑、生き物の四季の変化を楽しむこと、健康増進や憩いの場を提供すること、などの、公園の持つ本来のポテンシャルを利用者に対して、しっかりと伝える事が必要と考える。

これまで利用することが少なかった方々に、いかに公園の魅力を発信しながら、人を分散して集めるような方法がないか、を創意工夫していきたい。

以上

表1) コロナ禍における対応状況 (2021年1月~2022年3月)

2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1 金		1 月	1 月	1 木	1 土	1 火
2 土	その28 卒業生起コロナ 特別管理	2 火	2 火	2 金	2 日	2 水
3 日		3 水	3 水	3 土	3 月	3 木
4 月	10/21 ~1/11	4 木	4 木	4 日	4 火	4 金
5 金		5 金	5 金	5 日	5 水	5 土
6 土		6 土	6 土	6 火	6 木	6 日
7 日		7 日	7 日	7 水	7 金	7 月
8 月		8 月	8 月	8 木	8 土	8 火
9 金	その29 緊急事態宣言 及びその措置 (~2/7)	9 火	9 火	9 金	9 日	9 水
10 日		10 水	10 水	10 土	10 月	10 木
11 月		11 木	11 木	11 日	11 火	11 金
12 火	緊急事態 宣言中止	12 金	12 金	12 月	12 水	12 土
13 水		13 土	13 土	13 火	13 木	13 日
14 木		14 日	14 日	14 水	14 金	14 月
15 金		15 月	15 月	15 土	15 日	15 火
16 土		16 火	16 火	16 月	16 水	16 木
17 日		17 水	17 水	17 火	17 日	17 土
18 月		18 木	18 木	18 水	18 月	18 金
19 火		19 金	19 金	19 火	19 水	19 木
20 水		20 土	20 土	20 火	20 木	20 日
21 木		21 日	21 日	21 水	21 金	21 月
22 金		22 月	22 月	22 木	22 土	22 火
23 土		23 火	23 火	23 金	23 日	23 水
24 日		24 水	24 水	24 土	24 月	24 木
25 月		25 木	25 木	25 日	25 火	25 金
26 火		26 金	26 金	26 月	26 水	26 土
27 水		27 土	27 土	27 火	27 木	27 日
28 木		28 日	28 日	28 水	28 金	28 月
29 金			29 月	29 木	29 土	29 火
30 土			30 火	30 金	30 日	30 水
31 日			31 水		31 月	

2021年	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1 木		1 日	1 木	1 金	1 月	1 木
2 金		2 月	2 金	2 土	2 火	2 金
3 土		3 火	3 土	3 日	3 水	3 土
4 日		4 水	4 日	4 月	4 木	4 土
5 月		5 木	5 月	5 火	5 金	5 日
6 火		6 金	6 月	6 水	6 土	6 月
7 水		7 土	7 火	7 木	7 日	7 火
8 木		8 日	8 水	8 金	8 月	8 木
9 金		9 月	9 木	9 土	9 日	9 金
10 土		10 火	10 金	10 月	10 水	10 土
11 日		11 水	11 土	11 火	11 木	11 日
12 月	その44 緊急事態宣言 及びその措置 (~9/22)	12 木	12 日	12 火	12 金	12 月
13 火		13 金	13 月	13 水	13 土	13 日
14 水		14 土	14 火	14 木	14 日	14 火
15 木		15 日	15 水	15 金	15 月	15 水
16 金		16 月	16 木	16 土	16 火	16 木
17 土		17 火	17 金	17 日	17 水	17 金
18 日		18 水	18 土	18 月	18 木	18 土
19 月		19 木	19 日	19 火	19 金	19 日
20 火		20 金	20 月	20 水	20 土	20 月
21 水		21 土	21 火	21 木	21 日	21 火
22 木		22 日	22 水	22 金	22 月	22 水
23 金		23 月	23 木	23 土	23 火	23 木
24 土		24 火	24 金	24 日	24 水	24 金
25 日		25 水	25 土	25 月	25 木	25 土
26 月		26 木	26 日	26 火	26 金	26 日
27 火		27 金	27 月	27 水	27 土	27 月
28 水		28 土	28 火	28 木	28 日	28 火
29 木		29 日	29 水	29 金	29 月	29 水
30 金		30 月	30 木	30 土	30 火	30 木
31 土		31 火		31 日		31 金

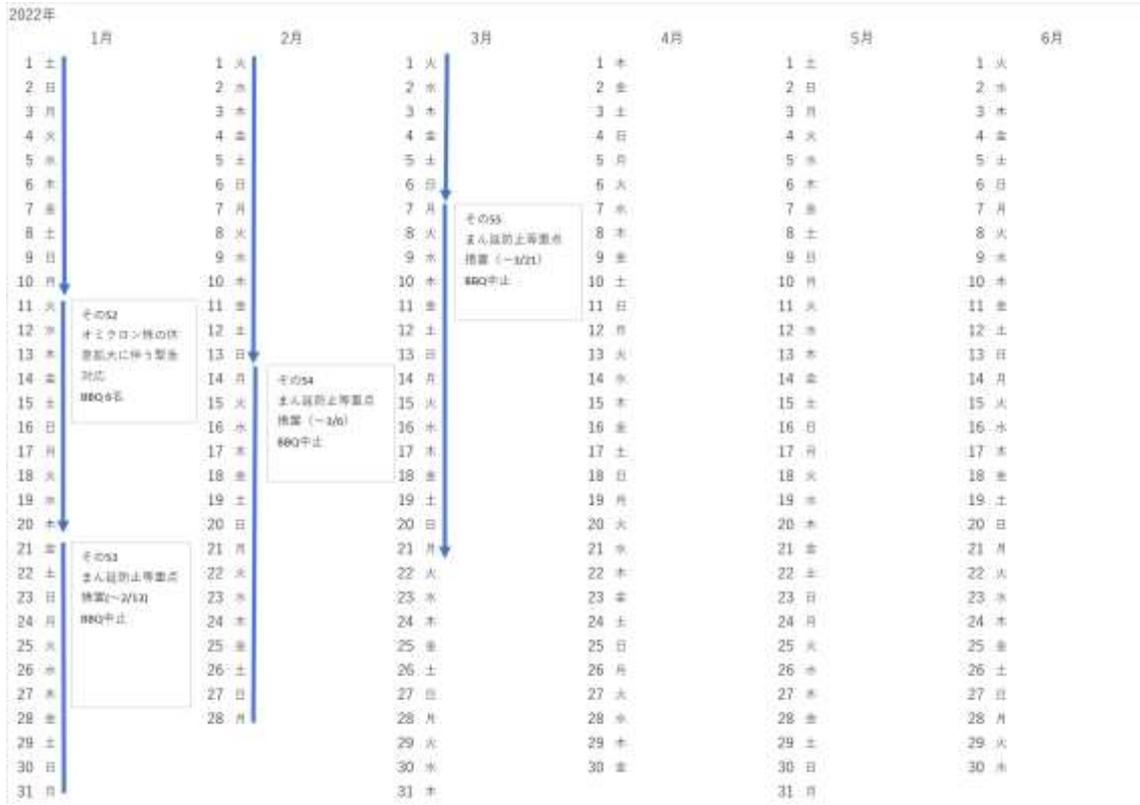
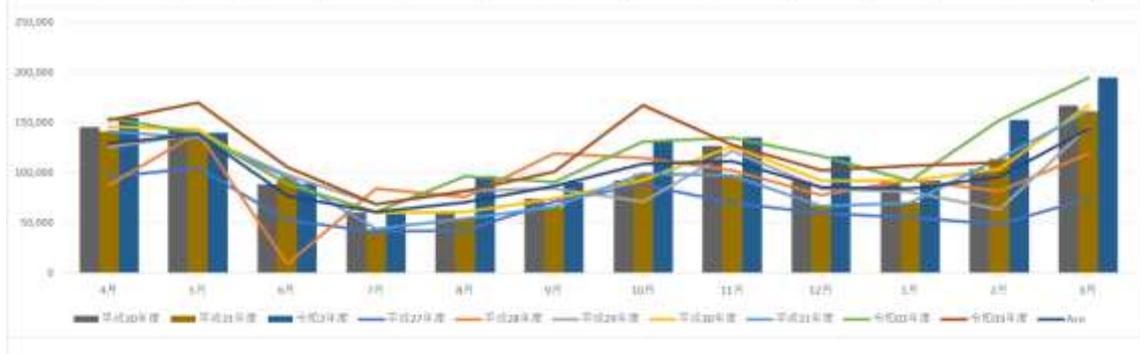


表2) 大島小松川公園 利用者数推移

施設名	大島小松川公園												合計(人)	係数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
平成25年度	85,023	104,436	61,754	40,712	42,088	71,339	87,894	69,956	86,980	55,807	47,892	74,291	830,223	16.1
平成26年度	87,054	136,886	8,124	83,869	75,250	118,699	114,489	101,743	77,444	82,307	81,208	118,806	1,066,563	18.8
平成27年度	131,243	138,018	87,654	85,037	82,186	83,861	71,087	121,716	83,576	80,305	83,022	148,243	1,158,969	18.8
平成28年度	145,273	142,993	88,166	59,686	80,646	79,821	86,153	126,866	91,349	91,766	100,299	166,876	1,242,469	18.8
平成29年度	140,824	134,686	86,623	43,561	63,888	85,436	88,728	97,081	85,476	89,705	113,892	160,832	1,140,127	18.8
令和3年度	134,087	136,308	86,487	80,596	89,888	85,188	130,481	134,788	118,187	91,890	130,288	164,288	1,448,981	18.8
令和4年度	131,674	169,448	104,680	85,088	80,854	100,793	107,181	127,341	101,989	106,810	106,740		1,289,311	18.8
Ave	128,886	128,362	78,422	60,672	70,294	85,336	106,891	111,267	86,154	84,036	86,858	142,406	1,022,877	



# 令和3年度 緑の情報連絡会活動について

東京都建設局公園緑地部計画課緑化推進担当 紅林宏樹

## I. 会議の開催

今年度の緑の情報連絡会は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響により開催を中止とした。その経緯について説明を行う。

令和元年（2019）より、世界で流行している新型コロナウイルス感染症が、令和3年（2021）に入り変異株デルタ型の出現によって新たな局面を迎え、WHOは、同年5月に「注視すべき変異」と位置付けた。

こうした中、感染症予防としてワクチン接種が医療従事者や基礎疾患のある高齢者、高齢者施設入居者を対象に始まっていたが、一般の高齢者及び一般の接種の対応が急がれていた。

ワクチン接種の事務手続きについては、基礎的自治体が担っており、対象者の優先順位の把握や接種会場の準備、クーポンの作成等、色々な事務手続きが存在していた。

この作業を、なるべく短期間で迅速な対応が求められたこともあり、自治体の中には緑行政に携わる職員も支援に参加するなどして、自治体をあげてこの未曾有の危機に対応していた。

このような状況下の中で、緑の情報連絡会は中止とした。

一方で、コナラ・クヌギの雑木が各地で枯れる被害が発生したので、各基礎的自治体へ下記の資料を情報としておこなった。

## II. 資料提供

### 1) カシノナガキクイムシについて

- ①東京都建設局 令和3年度ナラ枯れ被害の処理
- ②東京都公園協会 ナラ枯れ被害対策の取組
- ③東京都公園協会 カシノナガキクイムシの被害状況と対応

### 2) クビアカツヤカミキリについて

東京都環境局 クビアカツヤカミキリ防除の手引き

# 1 東京の道路緑化状況

## (1) 東京都の道路緑化状況

(令和3年4月1日現在)

### ア. 東京の街路樹規模 (管理者別)

単位：本

種類	管理者	管理本数合計	%	区部	%	多摩部他	%
一般国道	国土交通大臣	25,433	2.5%	18,919	3.0%	6,514	1.7%
都道	東京都知事	648,277	64.1%	403,185	63.6%	245,092	64.8%
区道	特別区長	211,717	20.9%	211,717	33.4%	0	0.0%
市町村道	市町村長	126,650	12.5%	0	0.0%	126,650	33.5%
合計		1,012,077	100.0%	633,821	100.0%	378,256	100.0%

### イ. 東京の道路緑化延長 (管理者別)

単位：km

種類	管理者	緑化延長合計	%	区部	%	多摩部他	%
一般国道	国土交通大臣	198	5.4%	158	6.9%	40	2.9%
都道	東京都知事	1,371	37.1%	842	36.7%	529	38.0%
区道	特別区長	1,295	35.2%	1,295	56.4%	0	0.0%
市町村道	市町村長	822	22.3%	0	0.0%	822	59.1%
合計		3,686	100.0%	2,295	100.0%	1,391	100.0%

\*小数第1位を四捨五入した整数値で表記

### ウ. 都内の道路緑地規模 (管理者別)

単位：㎡

種類	管理者	管理面積合計	%	区部	%	多摩部他	%
一般国道	国土交通大臣	345,729	7.3%	268,042	9.6%	77,687	3.9%
都道	東京都知事	2,312,653	48.1%	1,238,158	44.4%	1,074,495	53.4%
区道	特別区長	1,285,078	26.6%	1,285,078	46.0%	0	0.0%
市町村道	市町村長	858,733	18.0%	0	0.0%	858,733	42.7%
合計		4,802,193	100.0%	2,791,278	100.0%	2,010,915	100.0%

### エ. 東京の道路緑地規模 (緑地区別)

単位：㎡

種類	管理者	管理面積合計	%	歩道植樹帯	%	その他道路緑地	%
一般国道	国土交通大臣	345,729	7.3%	205,410	7.0%	140,319	7.8%
都道	東京都知事	2,312,653	48.1%	1,157,435	38.8%	1,155,218	64.9%
区道	特別区長	1,285,078	26.6%	918,934	30.5%	366,145	20.5%
市町村道	市町村長	858,733	18.0%	731,758	24.3%	126,975	7.1%
合計		4,802,193	100.0%	3,013,537	100.0%	1,788,657	100.3%

\*「その他道路緑地」とは歩道植樹帯以外の道路緑地 (中央分離帯・交通島など)

### オ. 参考表

東京の道路延長及び面積規模 (管理者別) 令和3年4月1日現在

区分	道路延長 m	%	道路面積 ㎡	%
一般国道	248,745	1.0%	7,504,117	3.9%
都道	2,242,953	9.1%	41,844,010	22.0%
区道	10,715,094	43.3%	70,873,527	37.3%
市町村道	11,243,048	45.5%	60,290,053	31.7%
自動車専用道	280,192	1.1%	9,480,744	5.0%
合計	24,730,032	100.0%	189,992,451	100.0%

※道路率：都内全域8.6% 区部16.5% 多摩部10.5% 島しょ部1.8%

3 東京の街路樹

3-(1) 東京の街路樹 総括表

令和3年4月1日現在

樹種名	合計規模			地区別規模計				都 道					国 道		区 道		市町村道														
	順位	本数	%	順位	区部	順位	多摩部他	区部	多摩部他	順位	合計	%	区部	多摩部	順位	合計	順位	合計	順位	合計											
アオギリ	20	4,880	0.48	17	4,355	22	525	2,825	331	13	3,156	0.49	33	0	17	33	20	1,497	23	194											
アキニレ	22	4,487	0.44	20	3,921	20	566	1,037	24	22	1,061	0.16	11	0	19	11	17	2,873	20	542											
イチヨウ	2	60,114	5.94	1	38,220	2	21,894	18,998	8,595	1	27,593	4.26	4,881	2,416	1	7,297	3	14,341	3	10,883											
ウバメガシ	21	4,573	0.45	19	4,060	23	513	1,203	419	18	1,622	0.25	6	0	20	6	18	2,851	27	94											
エンジュ類	13	9,868	0.98	14	5,475	11	4,393	3,485	615	10	4,100	0.63	168	98	11	266	19	1,822	8	3,680											
クスノキ	7	18,731	1.85	6	13,150	6	5,581	3,305	2,920	7	6,225	0.96	68	37	14	105	4	9,777	13	2,624											
ケヤキ	5	29,319	2.90	7	12,848	5	16,471	3,782	6,676	5	10,458	1.61	948	522	4	1,470	5	8,118	5	9,273											
サクラ類	3	43,453	4.29	3	26,490	4	16,963	3,587	4,066	6	7,653	1.18	372	80	8	452	1	22,531	2	12,817											
シンジュ	28	124	0.01	29	15	27	109	14	0	29	14	0.002	0	0	24	0	29	1	26	109											
プラタナス類	6	22,591	2.23	4	20,866	18	1,725	13,544	743	4	14,287	2.20	1,828	10	2	1,838	10	5,494	17	972											
トウカエデ	4	35,692	3.53	5	14,626	3	21,066	6,334	10,753	3	17,087	2.64	656	659	6	1,315	7	7,636	4	9,654											
トチノキ	17	5,529	0.55	23	1,706	13	3,823	384	702	21	1,086	0.17	100	0	15	100	21	1,222	11	3,121											
トネリコ	27	320	0.03	26	305	29	15	61	0	27	61	0.01	2	0	22	2	26	242	29	15											
ニセアカシヤ	25	983	0.10	25	482	24	501	36	83	25	119	0.02	0	0	24	0	25	446	22	418											
ハナミズキ	1	62,472	6.17	2	27,523	1	34,949	6,787	13,367	2	20,154	3.11	979	349	5	1,328	2	19,757	1	21,233											
フウ	24	2,337	0.23	22	1,798	21	539	1,347	0	20	1,347	0.21	0	0	24	0	24	451	21	539											
外来ポプラ類	29	108	0.01	27	103	30	5	29	0	28	29	0.004	0	0	24	0	27	74	30	5											
マテバシイ	8	16,642	1.64	8	12,098	9	4,544	2,911	1,688	8	4,599	0.71	1,579	207	3	1,786	8	7,608	12	2,649											
モミジバフウ	15	8,307	0.82	11	6,439	17	1,868	3,529	795	9	4,324	0.67	2	76	16	78	16	2,908	16	997											
シダレヤナギ	23	2,384	0.24	21	2,183	26	201	817	10	23	827	0.13	194	0	12	194	22	1,172	24	191											
ヤマモモ	9	13,270	1.31	9	10,711	15	2,559	2,959	941	11	3,900	0.60	420	6	9	426	9	7,332	15	1,612											
ユリノキ	14	9,604	0.95	15	5,070	10	4,534	1,406	790	14	2,196	0.34	460	0	7	460	15	3,204	7	3,744											
ウメ類	26	940	0.09	24	611	25	329	38	174	24	212	0.03	0	0	24	0	23	573	25	155											
クワ	30	103	0.01	28	65	28	38	0	0	30	0	0.000	0	2	22	2	28	65	28	36											
コブシ	10	11,649	1.15	13	6,074	7	5,575	2,288	903	12	3,191	0.49	210	65	10	275	13	3,576	6	4,607											
サルスベリ類	11	10,456	1.03	12	6,274	12	4,182	893	988	16	1,881	0.29	16	0	18	16	11	5,365	10	3,194											
サザンカ類	19	5,058	0.50	16	4,447	19	611	105	6	26	111	0.02	0	0	24	0	12	4,342	18	605											
ツバキ類	12	10,086	1.00	10	7,778	16	2,308	12	1,722	17	1,734	0.27	0	5	21	5	6	7,766	19	581											
シラカシ	16	7,197	0.71	18	4,273	14	2,924	899	457	19	1,356	0.21	113	48	13	161	14	3,261	14	2,419											
ビロウ	18	5,418	0.54	30	0	8	5,418	0	1,961	15	1,961	0.30	0	0	24	0	30	0	9	3,457											
その他		605,382	59.82		391,855		213,527	320,570	185,363		505,933	78.04	5,873	1,934		7,807		65,412		26,230											
街路樹	街路樹本数 合計	1,012,077 (本)		633,821				378,256					403,185		245,092		648,277					18,919		6,514		25,433		211,717		126,650	
	(百分率)	100.0 (%)		62.6				37.4					39.8		24.2		64.1					1.9		0.6		2.5		20.9		12.5	
	街路樹植栽延長	3,686.0 (km)		2,295.5				1,390.5					842.3		528.6		1,370.9					158.3		39.9		198.2		1,294.9		822.0	
道路	面積 合計(①+②)	4,802,193 (㎡)		2,791,278				2,010,915					1,238,158		1,074,495		2,312,653					268,042		77,687		345,729		1,285,078		858,733	
	(百分率)	100.0 (%)		58.1				41.9					25.8		22.4		48.2					5.6		1.6		7.2		26.8		17.9	
緑地	①歩道植樹帯	3,013,537 (㎡)		1,717,335				1,296,202					645,202		512,233		1,157,435					153,199		52,211		205,410		918,934		731,758	
	②その他道路緑地	1,788,656 (㎡)		1,073,944				714,713					592,956		562,262		1,155,218					114,843		25,476		140,319		366,145		126,975	

(港湾局含む) (島しょ含む)

\* 道路緑地の「その他道路緑地」とは歩道植樹帯以外の道路緑地(中央分離帯・交通島など)

## (2) 都道（東京都（知事）管理道路）道路の状況

2021/4/1

## ア. 総括表

街路樹	【本】	648,920
道路緑地	【m <sup>2</sup> 】	2,312,653
	歩道植樹帯	1,157,435
	その他道路緑地	1,155,218
道路延長	道路緑化延長	
【km】	延長【km】	緑化率%
2,243	1,371	61.1%

## イ. 街路樹の主要樹種状況

順位	樹種	本数	割合
1	イチョウ	27,593	4.3%
2	ハナミズキ	20,154	3.1%
3	トウカエデ	17,087	2.6%
4	プラタナス類	14,287	2.2%
5	ケヤキ	10,458	1.6%
6	サクラ類	7,653	1.2%
7	クスノキ	6,225	1.0%
8	マテバシイ	4,599	0.7%
9	モミジバフウ	4,324	0.7%
10	エンジュ類	4,105	0.6%
	上記以外	531,792	82.0%
	合計	648,277	100.0%

ウ. 都道の街路樹・道路内緑地管理規模の推移

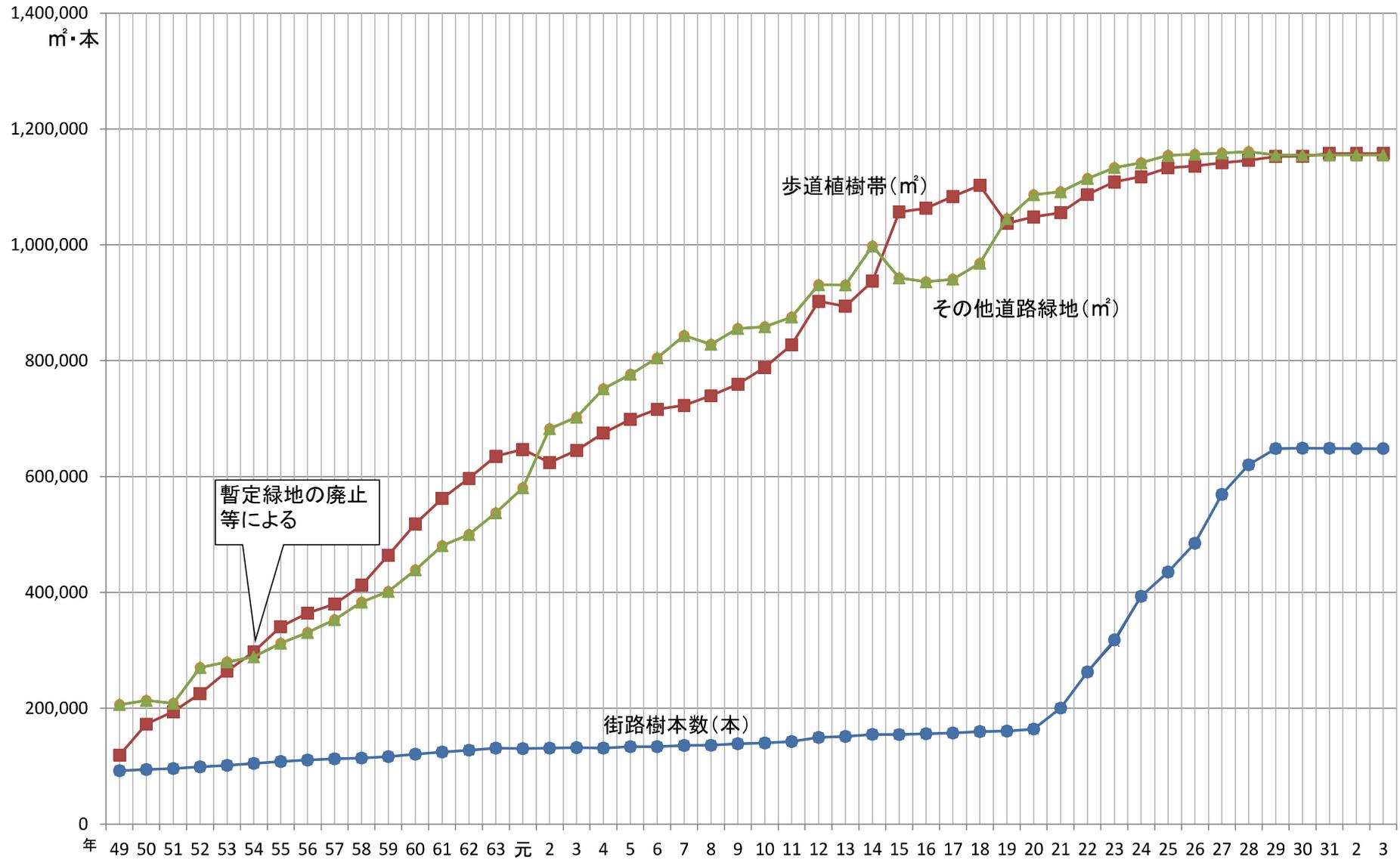
年度	街路街路樹 【本】	道路緑地			
		面積合計(①+②) (㎡)	①歩道植樹帯 面積(㎡)	延長(km)	②その他道路緑地 面積(㎡)
S49	92,283	325,568	119,308	113.7	206,260
50	94,275	386,141	172,536	164.0	213,605
51	96,135	402,436	194,194	180.9	208,242
52	98,969	495,605	225,267	199.0	270,338
53	101,678	543,466	263,638	231.1	279,828
54	105,039	586,440	297,552	258.8	288,888
55	108,063	653,338	340,840	291.2	312,498
56	110,795	694,915	364,200	319.6	330,715
57	112,864	732,864	380,023	336.2	352,841
58	114,004	795,383	412,449	350.1	382,934
59	116,681	865,720	464,347	375.3	401,373
60	120,799	957,292	518,287	405.2	439,005
61	124,349	1,042,711	561,944	433.7	480,767
62	127,560	1,096,909	596,903	461.0	500,007
63	131,235	1,172,279	635,007	490.9	537,272
H元	130,571	1,227,288	646,685	510.2	580,603
2	131,376	1,306,592	624,160	539.5	682,432
3	132,093	1,347,423	645,052	546.8	702,371
4	131,546	1,426,584	675,057	591.0	751,527
5	133,833	1,475,118	698,736	652.5	776,382
6	133,827	1,521,260	716,228	608.1	805,032
7	135,851	1,556,399	723,034	599.0	843,365
8	136,204	1,567,916	739,476	621.8	828,440
9	139,028	1,615,434	759,699	677.1	855,735
10	140,359	1,646,935	788,707	967.0	858,228
11	142,758	1,702,514	827,358	991.0	875,156
12	149,700	1,833,637	902,451	927.0	931,186
13	151,590	1,824,537	893,702	1132.0	930,835
14	155,013	1,935,183	937,125	1166.0	998,058
15	154,574	1,999,735	1,056,620	1176.0	943,115
16	156,095	1,999,711	1,063,299	1225.0	936,412
17	157,610	2,024,649	1,083,811	1206.0	940,838
18	159,953	2,070,549	1,102,681	1167.0	967,868
19	160,748	2,082,054	1,037,106	1191.0	1,044,948
20	164,460	2,134,525	1,048,157	1201.0	1,086,368
21	200,243	2,146,938	1,055,481	1211.0	1,091,457
22	262,648	2,201,077	1,086,744	1212.0	1,114,333
23	314,978	2,242,262	1,108,912	1228.0	1,133,350
24	393,492	2,259,174	1,117,631	1232.0	1,141,543
25	435,214	2,287,963	1,133,149	1351.0	1,154,814
26	484,906	2,292,453	1,136,111	1355.6	1,156,342
27	569,451	2,299,419	1,141,322	1359.2	1,158,097
28	620,374	2,306,784	1,145,826	1363.6	1,160,958
29	648,551	2,307,848	1,152,797	1368.6	1,155,051
30	649,078	2,308,013	1,152,962	1368.8	1,155,051
31	648,808	2,312,590	1,157,372	1370.8	1,155,218
R 2	648,576	2,312,590	1,157,372	1370.8	1,155,218
3	648,277	2,312,653	1,157,435	1370.9	1,155,218

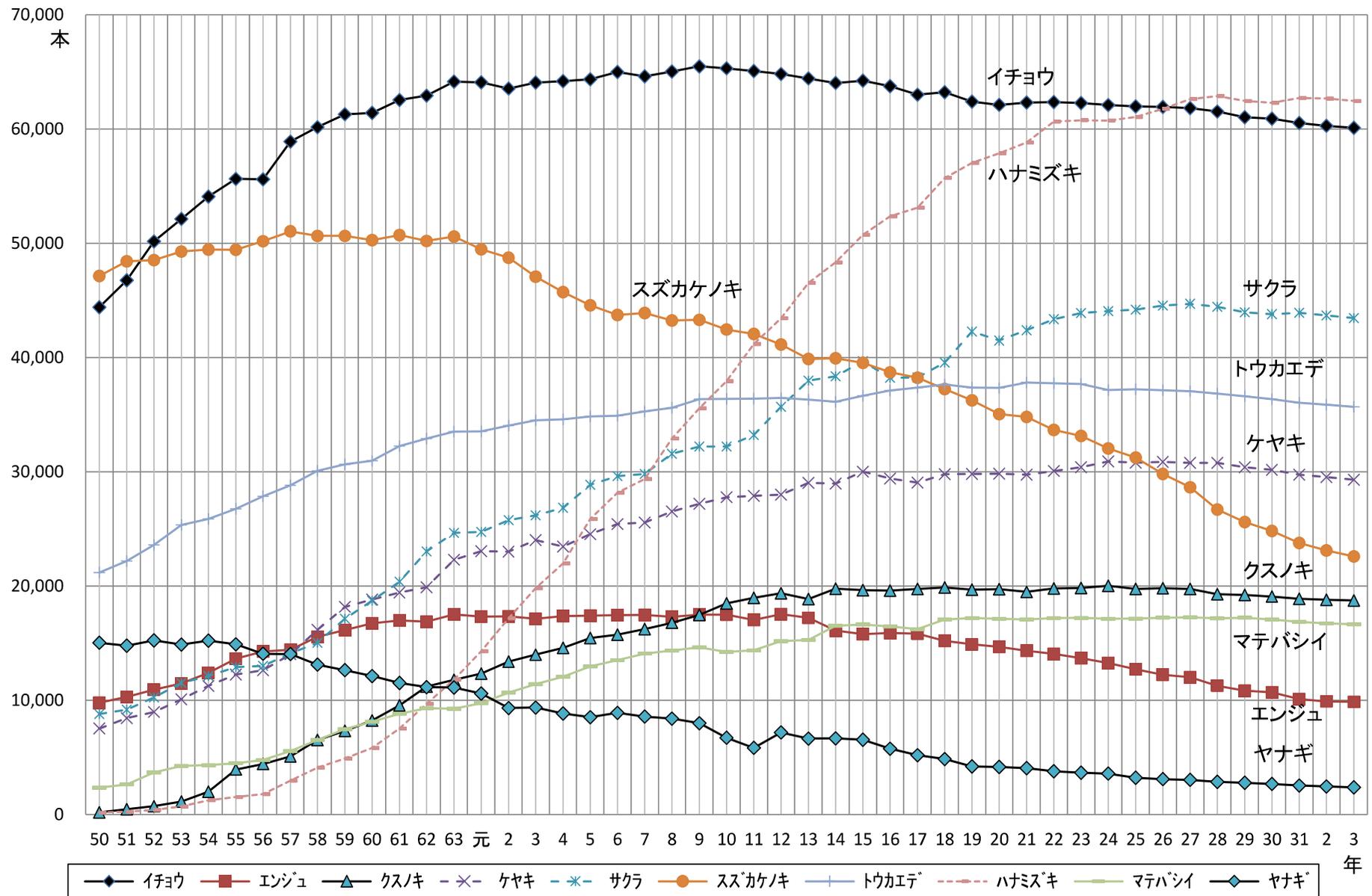
\*数字は各年度4月1日現在 \*港湾局分含む

\*「その他道路緑地」とは歩道植樹帯以外の道路緑地(中央分離帯・交通島など)

エ. 都道の街路樹本数・緑地面積等の推移

(各年度4月1日現在)





2. 令和2年度 都立公園等植栽本数一覧表

(1) 総括表

樹種	項目	購入材										支給材										総計	支給材 使用率 (%)	都内産 合計	都内産 使用率 (%)			
		公園庭園			霊園			動物園			小計	公園庭園			霊園			動物園			小計							
		総数	都外	都内産	総数	都外	都内産	総数	都外	都内産		支給	苗圃	産労	支給	苗圃	産労	支給	苗圃	産労	支給					苗圃	産労	
木	針葉樹(本)	320	16	304	0	0	0	41	41	0	361	(0)	0	40	0	0	(5)	0	0	(0)	0	0	(45)	406	11.1	349	86.0%	
	常緑樹(本)	434	393	41	18	18	0	1,754	1,669	85	2,206	(0)	0	158	13	5	(28)	0	0	(0)	13	5	(186)	2,410	8.5	330	13.7%	
	落葉樹(本)	535	525	10	8	6	2	342	342	0	885	(1)	21	68	4	2	(20)	0	0	(0)	5	23	(88)	1,001	11.6	128	12.8%	
	小計(本)	1,289	934	355	26	24	2	2,137	2,052	85	3,452	(1)	21	266	17	7	(53)	0	0	(0)	18	28	(319)	3,817	9.6	807	21.1%	
都内産使用率		28%			8%			4%																				
株物	常緑(株)	9,580	9,518	62	356	356	0	2,911	2,911	0	12,847	(0)	430	150	3	0	(139)	0	0	(0)	3	430	(289)	13,569	5.3	784	5.8%	
	落葉(株)	5,727	5,680	47	0	0	0	575	575	0	6,302	(0)	150	108	0	0	(48)	0	0	(0)	0	150	(156)	6,608	4.6	353	5.3%	
	小計(株)	15,307	15,198	109	356	356	0	3,486	3,486	0	19,149	(0)	580	258	3	0	(187)	0	0	(0)	3	580	(445)	20,177	5.1	1137	5.6%	
都内産使用率		1%			0%			0%																				
計		16,596	16,132	464	382	380	2	5,623	5,538	85	22,601	(1)	601	524	20	7	(240)	0	0	(0)	21	608	(764)	23,994	5.8	1944	8.1%	
特殊樹	樹木(本)	0	0	0	0	0	0	323	323	0	323	(0)	0	0	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	323	0	0		
	株物(株)	30	0	30	0	0	0	0	0	0	30	(0)	0	0	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	30	0	30		
	小計(本株)	30	0	30	0	0	0	323	323	0	353	(0)	0	0	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	353	0	30		
	株物(m <sup>2</sup> )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	0	0	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	0		
地被類	芝生(m <sup>2</sup> )	36,111	34,411	1,700	899	899	0	1,218	1,218	0	38,228	(0)	0	0	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	38,228	0	1700		
	芝生以外の 草本地被(株)	44,662	44,555	107	4,496	4,496	0	18,588	18,588	0	67,746	(0)	0	6,872	0	0	(1,090)	0	0	(0)	0	0	(7,962)	75,708	11	8069		
	”(m <sup>2</sup> )	5,243	5,243	0	0	60	0	419	419	0	5,662	(0)	0	100	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(100)	5,762	2	100		
	木本地被(株)	122	122	0	0	0	0	9,331	9,331	0	9,453	(0)	0	0	0	0	(0)	0	0	(0)	0	0	(0)	9,453	0	0		

[注意]・産業労働局支給材は、支給材の欄に( )外書きする。



所管 樹種 種別		霊園・葬儀所																					
		東部公園緑地事務所					西部公園緑地事務所					指定管理者					小計						
		購入			支給	苗圃	産労支給	購入			支給	苗圃	産労支給	購入			支給	苗圃	産労支給	購入	支給	苗圃	産労支給
		総数	都外	都内産				総数	都外	都内産				総数	都外	都内産							
樹木	針葉樹(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	(5)	
	常緑樹(本)	18	18	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	28	18	13	5	(28)	
	落葉樹(本)	7	5	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	2	20	8	4	2	(20)	
	計(本)	25	23	2	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	17	2	53	26	17	7	(53)	
	支給材使用率	16.7					0.0					100.0					74.8						
株物	常緑株物(本)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	356	356	0	3	0	134	356	3	0	(139)
	落葉株物(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	0	0	0	(48)	
	計(本)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	356	356	0	3	0	182	356	3	0	(187)
	支給材使用率	100.0					0.0					34.2					34.8						
合計	小計(本)	25	23	2	0	5	0	1	1	0	0	0	0	356	356	0	20	2	235	382	20	7	(240)
	合計(本)	30					1					613					649						
	支給材使用率	16.7					0.0					41.9					41.1						
特殊樹	樹木(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	
	株物(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	
	株物(m <sup>2</sup> )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	
地被類	芝生(m <sup>2</sup> )	600	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	299	299	0	0	0	0	899	0	0	(0)	
	草本地被(株)	0	0	0	0	0	0	1,090	1,090	0	0	0	3,406	3,406	0	0	0	1,090	4,496	0	0	(1,090)	
	草本地被(m <sup>2</sup> )	50	50	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	
	木本地被(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	

所管 樹種 種別	動物園												合計									
	東部公園緑地事務所						指定管理者						小計				合計					
	購入			支給	苗圃	産労支給	購入			支給	苗圃	産労支給	小計				購入	支給	苗圃	産労支給	支給率	
	総数	都外	都内産				総数	都外	都内産				購入	支給	苗圃	産労支給						
樹木	針葉樹(本)	41	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	361	0	0	(45)	11.1	
	常緑樹(本)	1,754	1,669	85	0	0	0	0	0	0	0	0	1,754	0	0	0	2,206	13	5	(186)	8.5	
	落葉樹(本)	342	342	0	0	0	0	0	0	0	0	0	342	0	0	0	885	5	23	(88)	11.6	
	計(本)	2,137	2,052	85	0	0	0	0	0	0	0	0	2,137	0	0	0	3,452	18	28	(319)	9.6	
	支給材使用率	0.0						0.0						0.0				9.6				
株物	常緑株物(本)	2,911	2,911	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,911	0	0	0	12,847	3	430	(289)	5.3	
	落葉株物(本)	575	575	0	0	0	0	0	0	0	0	0	575	0	0	0	6,302	0	150	(156)	4.6	
	計(本)	3,486	3,486	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,486	0	0	0	19,149	3	580	(445)	5.1	
	支給材使用率	0.0						0.0						0.0				5.1				
合計	小計(本)	5,623	5,538	85	0	0	0	0	0	0	0	0	5,623	0	0	0	22,601	21	608	(764)	5.8	
	合計(本)	5,623						0						5,623				23,994				
	支給材使用率	0.0						0.0						0.0				5.8				
特殊樹	樹木(本)	323	323	0	0	0	0	0	0	0	0	0	323	0	0	0	323	0	0	(0)	0	
	株物(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	(0)	0	
	株物(m <sup>2</sup> )	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(0)	0	
地被類	芝生(m <sup>2</sup> )	1,218	1,218	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,218	0	0	0	38,228	0	0	(0)	0	
	草本地被(株)	18,588	18,588	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18,588	0	0	0	67,746	0	0	(7,962)	11	
	草本地被(m <sup>2</sup> )	419	419	0	0	0	0	0	0	0	0	0	419	0	0	0	5,662	0	0	(100)	2	
	木本地被(株)	9,331	9,331	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9,331	0	0	0	9,453	0	0	(0)	0	

## (3) 過去40年間における都立公園等の植栽実績（昭和56年度から令和2年度）

年度	種別	針葉樹	常緑樹	落葉樹	合計	支給材率%
昭和56年度	高中木(本)	469	4,661	2,421	7,551	86
昭和57年度	高中木(本)	1,410	4,128	3,425	8,963	67
昭和58年度	高中木(本)	1,063	9,538	5,369	15,970	61
昭和59年度	高中木(本)	445	4,425	3,977	8,847	32
昭和60年度	高中木(本)	602	9,448	5,753	15,803	14
昭和61年度	高中木(本)	692	10,864	5,325	16,881	17
昭和62年度	高中木(本)	762	14,589	4,946	20,297	13
昭和63年度	高中木(本)	447	10,052	5,159	15,658	11
	低 木(株)	0	158,951	74,436	233,387	7
平成元年度	高中木(本)	187	4,765	2,245	7,197	10
	低 木(株)	0	91,836	27,355	119,191	8
平成2年度	高中木(本)	212	7,428	6,172	13,812	24
	低 木(株)	0	84,338	28,092	112,430	33
平成3年度	高中木(本)	508	16,127	5,513	22,148	8
	低 木(株)	0	166,926	62,093	229,019	11
平成4年度	高中木(本)	331	5,240	1,751	7,322	12
	低 木(株)	0	48,632	11,894	60,526	21
平成5年度	高中木(本)	291	3,034	1,405	4,730	16
	低 木(株)	0	32,027	14,062	46,089	17
平成6年度	高中木(本)	891	2,120	2,327	5,338	18
	低 木(株)	0	57,765	28,383	86,148	42
平成7年度	高中木(本)	379	4,556	2,123	7,058	16
	低 木(株)	0	68,235	35,956	104,191	14
平成8年度	高中木(本)	96	2,827	1,904	4,827	14.6
	低 木(株)	0	49,234	15,683	64,917	15.1
平成9年度	高中木(本)	230	5,551	1,789	7,570	10.3
	低 木(株)	0	22,970	17,861	40,831	9.1
平成10年度	高中木(本)	301	3,453	1,974	5,728	13.2
	低 木(株)	0	21,132	11,947	33,079	9.9
平成11年度	高中木(本)	74	3,504	1,661	5,239	10.8
	低 木(株)	0	28,749	8,752	37,501	9.6
平成12年度	高中木(本)	72	3,776	1,568	5,416	6.8
	低 木(株)	0	11,452	14,642	26,094	1.9
平成13年度	高中木(本)	9	1,062	658	1,729	6.2
	低 木(株)	0	16,489	10,094	26,583	1.9
平成14年度	高中木(本)	447	1,064	1,942	3,453	3.8
	低 木(株)	0	27,043	16,214	43,257	0.2
平成15年度	高中木(本)	58	1,934	1,660	3,652	7.7
	低 木(株)	240	23,665	10,870	34,775	0.1
平成16年度	高中木(本)	101	1,088	1,267	2,456	3.9
	低 木(株)	0	21,951	11,518	33,469	0.0
平成17年度	高中木(本)	324	2,284	1,716	4,324	4.6
	低 木(株)	0	17,159	13,144	30,303	5.0
平成18年度	高中木(本)	13	1,062	1,203	2,278	5.7
	低 木(株)	0	20,470	7,223	27,693	0.5
平成19年度	高中木(本)	2	600	849	1,451	4.1
	低 木(株)	0	12,989	4,502	17,491	0.1
平成20年度	高中木(本)	228	2,199	1,189	3,616	32.7
	低 木(株)	0	31,815	11,228	43,043	11.1
平成21年度	高中木(本)	165	1,885	1,460	3,510	5.2
	低 木(株)	0	37,864	11,075	48,939	6.7
平成22年度	高中木(本)	69	11,625	8,468	20,162	5.4
	低 木(株)	50	21,492	5,559	27,101	0.6
平成23年度	高中木(本)	234	15,805	7,070	23,109	13.1
	低 木(株)	0	11,028	3,915	14,943	35.8
平成24年度	高中木(本)	273	3,372	5,982	9,627	24.8
	低 木(株)	0	21,626	4,085	25,711	21.6
平成25年度	高中木(本)	353	3,319	1,065	4,737	26.9
	低 木(株)	0	11,689	6,067	17,756	18.6
平成26年度	高中木(本)	307	4,296	1,983	6,586	23.4
	低 木(株)	0	9,105	3,107	12,212	23.6
平成27年度	高中木(本)	36	4,150	1,420	5,606	30.6
	低 木(株)	0	13,673	2,890	16,563	7.2
平成28年度	高中木(本)	345	1,547	1,697	3,589	30.0
	低 木(株)	0	13,183	4,566	17,749	24.2
平成29年度	高中木(本)	1,490	2,483	1,656	5,629	33.6
	低 木(株)	0	9,985	6,473	16,458	29.5
平成30年度	高中木(本)	4	617	653	1,274	38.7
	低 木(株)	0	26,191	17,989	44,180	8.2
令和元年度	高中木(本)	818	1,848	958	3,624	22.8
	低 木(株)	0	9,557	6,596	16,153	26.1
令和2年度	高中木(本)	406	2,410	1,001	3,817	9.6
	低 木(株)	0	13,569	6,608	20,177	5.1

※平成23年度からの「支給材率」には「産労支給材」も含む。

### 3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種(高・中・低木別)

#### 高木

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	ニオイヒバ (250)	サクラ類 (212)	サクラ類 (238)	カエデ類 (170)	サクラ類 (100)
2	サクラ類 (118)	タコノキ (82)	カエデ類 (84)	サクラ類 (157)	ソヨゴ (86)
3	ソヨゴ (48)	シラカシ (67)	シラカシ (82)	シラカシ (67)	カクレミノ (81)
4	ナツツバキ (30)	カエデ類 (54)	エゴノキ (19)	ニオイヒバ (50)	シラカシ (64)
5	ヒメツバキ (26)	モモタマナ (29)	コナラ (17)	アメリカデイゴ (40)	イスノキ (41)
6	ヤブニッケイ (21)	モッコク (27)	クヌギ (12)	ナンキンハゼ (40)	ナンキンハゼ (40)
7	テリハボク (20)	コナラ (21)	ソヨゴ (12)	テリハボク (32)	ネムノキ (36)
8	カクレミノ (15)	ヤマボウシ (19)	イヌシデ (11)	ソヨゴ (29)	アラカシ (35)
9	コブシ (15)	モチノキ (16)	常緑ヤマボウシ (11)	ネムノキ (28)	モチノキ (28)
10	スダジイ (15)	ヤブツバキ (11)	モチノキ (10)	ハナカイドウ (20)	カエデ類 (27)
		クヌギ (11)	ヤマボウシ (10)	マテバシイ (20)	

#### 中木

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	イヌツゲ (2,005)	イヌツゲ (431)	トキワマンサク (112)	マサキ (182)	ヒサカキ (775)
2	マユミ (863)	カナメモチ (189)	キョウチクトウ (85)	トキワマンサク (140)	ブラシノキ (545)
3	ネズミモチ (290)	サカキ (142)	イヌツゲ (65)	カナメモチ (136)	アオキ (299)
4	カナメモチ (122)	トキワマンサク (80)	マユミ (62)	イヌツゲ (56)	マサキ (164)
5	トキワマンサク (71)	キンモクセイ (57)	シマシャリンバイ (46)	サザンカ (49)	ヒイラギイモクセイ (127)
6	シマシャリンバイ (62)	ヒイラギイモクセイ (44)	ギンモクセイ (27)	オリーブ (48)	マンサク (121)
7	キンモクセイ (52)	ギンモクセイ (27)	セイヨウカナメモチ (26)	シャクナゲ (47)	カナメモチ (109)
8	ライラック (52)	ロウバイ (18)	ハナカイドウ (18)	スモークツリー (40)	イヌツゲ (86)
9	ヒサカキ (32)	ウバメガシ (17)	ライラック (17)	キョウチクトウ (24)	ニシキギ (50)
10	リンゴ (17)	マサキ (17)	ヤブツバキ (16)	セイヨウヒイラギ (23)	シャクナゲ (43)

#### 低木

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	サツキツツジ (4,215)	サツキツツジ (3,119)	サツキツツジ (5,449)	サツキツツジ (2,866)	アジサイ (1,790)
2	クルメツツジ (2,680)	ドウダンツツジ (1,534)	ヒペリカムカリシナム (4,165)	オオムラサキツツジ (1,159)	シャリンバイ (1,742)
3	アジサイ (1,500)	アベリア (1,514)	アジサイ (3,890)	ヤマブキ (1,058)	サツキツツジ (1,645)
4	ドウダンツツジ (1,245)	ナンテン (1,236)	ラベンダー (2,580)	ユキヤナギ (946)	ドウダンツツジ (1,545)
5	オオムラサキツツジ (1,157)	アジサイ (1,196)	ユキヤナギ (2,409)	クルメツツジ (940)	オオムラサキツツジ (1,224)
6	アセビ (951)	レンギョウ (1,115)	ヒペリカムヒデコート (2,225)	クチナシ (896)	アベリア (939)
7	シャリンバイ (947)	ハクビヤクシン (1,080)	ドウダンツツジ (1,350)	シャリンバイ (892)	レンギョウ (925)
8	ヤマブキ (486)	クリシマツツジ (1,063)	ヤマブキ (1,311)	アジサイ (779)	ハクチョウゲ (910)
9	アベリア (428)	キンシバイ (965)	クルメツツジ (1,113)	ハイビヤクシン (734)	ヒラドツツジ (745)
10	ノイバラ (322)	ユキヤナギ (850)	クリシマツツジ (1,075)	ドドナセア (580)	キンシバイ (725)

#### 4. 委託調査一覧 (R2年度)

R2年度に実施された主な調査委託

◆調査委託 (R2年度)

委託件名	委託期間	調査区域・対象公園	所管	委託の目的または概要
蘆花恒春園水質調査委託	R2.12.21～ R3.2.26	蘆花恒春園	東部公園緑地事務所	「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」及び「土壌汚染対策法」における指示措置に基づく地下水水質の測定及び測定結果を環境局に届け出る資料を作成した。
尾久の原公園環境調査委託	R2.7.13～ R3.3.31	尾久の原公園	東部公園緑地事務所	「荒川区東尾久七丁目地域ダイオキシン類土壌汚染対策計画」に基づく対策工事後の環境調査を実施した。 環境大気 一式、河川水 一式、覆土土壌 一式
都立公園池水質調査委託	R2.4.1～ R3.2.26	浜離宮恩賜庭園、上野恩賜公園、浮間公園、石神井公園、舎人公園、葛西臨海公園、和田堀公園	東部公園緑地事務所	都立公園の池について、特に水質監視の必要な池を対象に水質調査を行った。16項目 各池4回/年
石神井公園三宝寺池水生植物保護委託	R2.4.1～ R2.12.4	石神井公園	東部公園緑地事務所	国指定天然記念物の石神井公園三宝寺池内の沼沢群落の保護及び増殖を図るとともに、本来の景観を回復させることを目的に、水生生物の保護管理を行った。
石神井公園三宝寺池植物群落復元追跡調査委託	R2.4.1～ R3.2.26	石神井公園	東部公園緑地事務所	国指定天然記念物の石神井公園三宝寺池内の沼沢群落の復元のために実施している保護管理作業の効果について追跡調査を行い、今後の維持管理方法を検討した。
石神井公園石神井池水質改善業務補助委託	R2.8.1～ R3.3.29	石神井公園	東部公園緑地事務所	石神井公園石神井池の水質改善を実施するにあたり、区や主変住民からの協力を得るための普及啓発及び公園利用者への広報を行った。
上野恩賜公園不忍池生物調査委託	R2.4.1～ R3.3.31	上野恩賜公園	東部公園緑地事務所	不忍池の水質改善を実施する上で必要となる各種情報について調査・整理を行うとともに、調査結果に基づく具体的な水質改善方法の検討を行った。
水元公園苗圃管理委託	R2.4.1～ R2.12.11	水元公園	東部公園緑地事務所	公園・街路樹等に良質な苗木を供給するため、苗圃の維持管理を行った。
和田堀公園ほか1公園生物多様性モニタリング調査委託	R2.4.1～ R3.2.26	和田堀公園 代々木公園	東部公園緑地事務所	生物多様性保全整備工事後のモニタリング調査を行った。
石神井公園ほか1公園生物多様性モニタリング調査委託	R2.4.1～ R3.3.26	石神井公園 赤塚公園	東部公園緑地事務所	生物多様性保全整備工事後のモニタリング調査を行った。
和田堀公園ほか3公園生物多様性保全管理委託	R2.4.1～ R3.2.26	和田堀公園 代々木公園 石神井公園 赤塚公園	東部公園緑地事務所	生物多様性保全整備工事後の保全管理を行った。
野山北・六道山公園希少生物調査委託(2)	R2.4.1～ R2.9.30	野山北・六道山公園	西部公園緑地事務所	野山北・六道山公園の自然環境保全と、適切な公園整備や管理に資する情報を得ることを目的に、希少猛禽類の行動圏調査・工事影響モニタリング調査等を実施し、調査結果について整理した。
野山北・六道山公園希少生物調査委託(2)その2	R2.10.5～ R3.3.31	野山北・六道山公園	西部公園緑地事務所	野山北・六道山公園の自然環境保全と、適切な公園整備や管理に資する情報を得ることを目的に、希少猛禽類の行動圏調査・工事影響モニタリング調査等を実施し、調査結果について整理した。
井の頭恩賜公園水質環境調査委託	R2.4.1～ R3.3.25	井の頭恩賜公園	西部公園緑地事務所	井の頭池の状況を把握するため、水質調査、底質調査、プランクトン調査を実施した。

委託件名	委託期間	調査区域・対象公園	所管	委託の目的または概要
井の頭恩賜公園水草再生調査委託(2)	R2.4.1～ R3.3.25	井の頭恩賜公園	西部公園緑地事務所	井の頭池の自然再生へ向けた資料として、水草調査等を実施した。
井の頭恩賜公園水生生物モニタリング業務運営委託	R2.4.1～ R3.3.31	井の頭恩賜公園	西部公園緑地事務所	井の頭池の自然再生へ向けた水生生物のモニタリング調査、普及啓発、外来生物駆除を実施した。
武蔵野苗圃ほか1苗圃保護管理委託(単価契約)	R2.4.1～ R3.3.31	武蔵野公園、小宮公園	西部公園緑地事務所	公園・街路樹等に良質な苗木を供給するため、苗圃の維持管理を行った。
長沼公園樹林地追跡調査等業務委託(2)	R2.4.1～ R3.3.31	長沼公園	西部公園緑地事務所	長沼公園の多様性事業の整備評価及び樹林地管理のため、樹林地整備後の自然環境調査(計画準備、現地踏査、植物相調査、動物調査、現地状況調査)、報告書作成、樹林地整理等を実施した。
八国山緑地樹林地追跡調査等業務委託(2)	R2.4.1～ R3.3.31	八国山緑地	西部公園緑地事務所	八国山緑地の多様性事業の整備評価及び樹林地管理のため、樹林地整備後の自然環境調査(計画準備、現地踏査、植物相調査、動物調査、現地状況調査)、報告書作成、樹林地整理等を実施した。
小山田緑地樹林地追跡調査等業務委託(2)	R2.4.1～ R3.3.31	小山田緑地	西部公園緑地事務所	小山田緑地の多様性事業の整備評価及び樹林地管理のため、樹林地整備後の自然環境調査(計画準備、現地踏査、植物相調査、動物調査、現地状況調査)、報告書作成、樹林地整理等を実施した。
東大和公園樹林地追跡調査等業務委託(2)	R2.4.1～ R3.3.31	東大和公園	西部公園緑地事務所	東大和公園の多様性事業の整備評価及び樹林地管理のため、樹林地整備後の自然環境調査(計画準備、現地踏査、植物相調査、動物調査、現地状況調査)、報告書作成、樹林地整理等を実施した。
井の頭恩賜公園水生植物管理育成委託	R2.4.1～ R3.3.31	井の頭恩賜公園	西部公園緑地事務所	井の頭池の土壌シードバンクから発芽した水草の育成管理を実施した。

5. 令和3年度 花の見ごろ情報 年間リスト

月	3・4月	5・6月	7・8月	9・10月	11・12月	1・2月
表紙/今月の花	サンシュユ ミツマタ サクラ	バラ ハス	アサザ ヤブカンゾウ ウバユリ オニバス	キンモクセイ ギンモクセイ キキョウ クズ	キダチダリア ジュウガツザクラ ケヤキ イロハモミジ	ロウバイ ウメ(紅梅) カンヒザクラ フクジュソウ
紹介公園	秋留台公園 綾南公園 小宮公園 滝山公園 桜ヶ丘公園 殿ヶ谷戸公園 武蔵野公園 小金井公園 神代植物公園 井の頭恩賜公園 城北中央公園 善福寺川公園 蘆花公園 砧公園 駒沢リビック公園 林試の森公園 小石川後楽園 六義園 染井霊園 旧古河庭園 上野恩賜公園 日比谷公園 芝公園 向島百花園 横網町公園 葛西臨海海光園 清澄庭園 大島小松川公園 水元公園 八柱霊園	大戸緑地 桜ヶ丘公園 小平霊園 神代植物公園 小石川後楽園 旧岩崎邸庭園 旧古河庭園 猿江恩賜公園 向島百花園 水元公園	小山田緑地 小山内裏公園 小宮公園 桜ヶ丘公園 野山北・六道山公園 東大和公園 神代植物公園 水元公園 赤塚公園 小石川後楽園 旧芝離宮恩賜庭園 浜離宮恩賜庭園 清澄庭園	秋留台公園 野山北・六道山公園 長沼公園 桜ヶ丘公園 小金井公園 武蔵野の森公園 神代植物公園 光が丘公園 善福寺公園 善福寺川緑地 砧公園 日比谷公園 浜離宮恩賜庭園 猿江恩賜公園 横網町公園 向島百花園 舎人公園	秋留台公園 小山内裏公園 小山田緑地 小宮公園 小金井公園 武蔵野国分寺公園 神代植物公園 野川公園 井の頭恩賜公園 砧公園 芝公園 林試の森公園 亀戸中央公園 大島小松川公園 汐人公園 水元公園 八柱霊園	小山内裏公園 小山田緑地 小宮公園 桜ヶ丘公園 武蔵野公園 府中の森公園 殿ヶ谷戸庭園 小金井公園 神代植物公園 野川公園 井の頭恩賜公園 赤塚公園 中川公園 水元公園 小石川後楽園 旧岩崎邸庭園 向島百花園 横網町公園 蘆花恒春園 砧公園 林試の森公園 芝公園 旧芝離宮恩賜庭園 清澄庭園 夢の島公園 大島小松川公園 大神山公園
花ごよみ (写真)	ナシ リンゴ			シヨクダイオオコンチャク		
花の実ごろ等 (写真)					カキノキ	ダイダイ
都立公園の お知らせなど		夢の島バーチャル植物館	夢の島バーチャル植物館			

## 夢の島バーチャル植物館

3Dビュー+VR映像で館内を公開中



オンライン上で3Dビュー+VR映像を自宅でも楽しめるコンテンツ「夢の島バーチャル植物館」を配信しています。  
PCやスマートフォンから3DビューやVR映像で実際に館内を歩くように360°自由に見ることができます。  
ホームページ (<https://www.yumenoshima.jp/>) からご覧いただけます。  
※VR映像としての鑑賞には専用のゴーグルもしくはメガネが必要ですが、3Dビュー映像はPC・スマートフォンでお楽しみいただけます。

### さがしてみよう! 熱帯の植物たち



ヘリコニア・ロストラータ



バナナ



カカオ

## イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index\\_list.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_list.html)

◇花の見ごろ情報は、年6回（2ヵ月ごと）の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 1

# 花の見ごろ情報

2021  
5・6

## 今月の花



アンネのバラ

Android版

iOS版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



# 🌸 今月の花

## アンネのバラ (Souvenir d'Anne Frank スブニールドアンネフランク)

アンネ・フランクは、「アンネの日記」を書いたユダヤ人として知られ、第二次世界大戦末期にドイツの強制収容所に収容され15歳で病死し、悲劇の運命をたどった。

ベルギーの園芸家、ヒッポリテ・デルフォルヘ氏がスイスの旅行中にアンネ・フランクの父オットー・フランク氏に会い、アンネが自然を愛し特にバラの花が好きだと言うことを知る。ヒッポリテ・デルフォルヘ氏は以前から「アンネの日記」に深く感動をしていたため、1955年に自らが作出したバラを1960年にSouvenir d'Anne Frankと命名し発表した。花はオレンジとピンクの混じった中輪房咲の花が咲く。

アンネのバラは、神代植物公園、水元公園、旧古河庭園でご覧いただけます。

## ハス (蓮) ハス科ハス属 学名: Nelumbo nucifera

ハスの原産は諸説あるが、中国からエジプトにかけて自生する水生植物。地下茎は蓮根とも言う。蓮根は、古くから日本各地で食用として栽培されており、大きく分けて、粘りが強くもちりとした品種とシャキシャキした品種に分けられる。主な産地は、茨城県、佐賀県、徳島県、愛知県等が有名である。

ハスの花は、大戸緑地、桜ヶ丘公園、小平霊園、神代植物公園、小石川後楽園、旧岩崎邸庭園、上野恩賜公園、旧古河庭園、猿江恩賜公園、向島百花園、水元公園でご覧いただけます。



- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| ●大戸緑地：町田市相原5307付近         | ☎042-661-0042 |
| ●桜ヶ丘公園：多摩市連光寺5-15         | ☎042-375-1240 |
| ●小平霊園：東村山市萩山町1-16-1       | ☎042-341-0050 |
| お ●神代植物公園：調布市深大寺元町5-31-10 | ☎042-483-2300 |
| 問 ●小石川後楽園：文京区後楽1-6-6      | ☎03-3811-3015 |
| 合 ●旧岩崎邸庭園：台東区池之端1-3-45    | ☎03-3823-8340 |
| せ ●上野恩賜公園：台東区上野公園5-20     | ☎03-3828-5644 |
| 先 ●旧古河庭園：北区西ヶ原1-27-39     | ☎03-3910-0394 |
| ●猿江恩賜公園：江東区毛利2-13-7       | ☎03-3631-9732 |
| ●向島百花園：墨田区東向島3-18-3       | ☎03-3611-8705 |
| ●水元公園：葛飾区水元公園3-2          | ☎03-3607-8321 |

## 夢の島バーチャル植物館

3Dビュー+VR映像で館内を公開中



オンライン上で3Dビュー+VR映像を自宅でも楽しめるコンテンツ「夢の島バーチャル植物館」を配信しています。PCやスマートフォンから3DビューやVR映像で実際に館内を歩くように360°自由に見ることができます。ホームページ(<https://www.yumenoshima.jp/>)からもご覧いただけます。※VR映像としての鑑賞には専用のゴーグルもしくはメガネが必要ですが、3Dビュー映像はPC・スマートフォンでお楽しみいただけます。

### さがしてみよう!熱帯の植物たち



ヘリコニア・ロストラータ



バナナ



カカオ

夢の島熱帯植物館 江東区夢の島 2-1-2 ☎03-3522-0281

## イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index\\_list.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_list.html)

◇花の見ごろ情報は、年6回(2ヵ月ごと)の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 12

# 花の見ごろ情報

2021  
7・8

## 今月の花



アサザ



ヤブカンゾウ



ウバユリ



オニバス

Android版

iOS版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



# 今月の花

アサザ（浅沙、阿佐佐） ミツガシワ科アサザ属 学名：Nymphoides peltata

原産は、日本、朝鮮半島、中国、インド、ヨーロッパの池や沼などに生える多年草の水草で、地下茎は水底の泥の中を長く這い、葉には長い葉柄があり水面に浮かぶ。葉の脇から数本の花茎を出し、直径3～4cmの黄色い花が水面に開く。

花は朝開花し、昼には閉じてしまう一日花であるが、花期は長く6～8月にかけて次々と花を咲かせる。かつては、各地の湖沼やため池等で見られたが、護岸工事や水質悪化により個体群を減らし、環境省レッドリスト NT（準絶滅危惧）東京都レッドデータでは VU（絶滅危惧Ⅱ類）に指定されている。アサザは、小山田緑地、神代植物公園（水性植物園）、水元公園でご覧いただけます。

ウバユリ（姥百合） ユリ科ウバユリ属 学名：Cardiocrinum cordatum

原産は、日本、樺太、千島列島などに分布し、主に山野の湿った林内の木漏れ日のある場所に自生する多年草。草丈は 0.6～1 m程に成長し、先端に約10 cm 程度の細長い蕾で4、5輪の花を横向きに咲かせる。花びらは付け根まで大きく6つに裂けるが、大きくは開かず先端がやや反ったラッパ型になる。

名前の由来である姥は、花が咲くころには葉が枯れてくることから、蕾が無い「姥」に例えて名付けられたと言われている。

ウバユリは、小山内裏公園、小宮公園、野山北・六道山公園、東大和公園、赤塚公園などでご覧いただけます。

オニバス（兎蓮） スイレン科オニバス属 学名：Euryale ferox

アジア原産の1年草の浮葉植物で、インド、中国、朝鮮半島、日本に分布し、国内では本州～九州に生育する。

名前の由来は葉や茎、蕾等、全体が棘に覆われていることから名付けられたとされる。

5月の中旬頃に発芽し、梅雨明けには立派な丸く大きな葉を水面に浮かべる。花は水面に出て開花受粉するものと、水中で受粉する二つが存在する。

近年は、護岸工事や水質悪化に伴い生息域を減らし環境省レッドリスト VU（絶滅危惧Ⅱ類）東京都レッドデータでは区部 CR（絶滅危惧ⅠA類）に指定されている。オニバスは、水元公園でご覧いただけます。

ヤブカンゾウ（藪萱草） ユリ科ワスレグサ属 学名：Hemerocallis fulva var. kwanso

原産は中国で、日本では北海道～九州にかけて分布し、野原や河川の堤防、林の脇に生える多年草。葉は長さ 40～60cm、幅 2.5～4cm の広線形で花茎は高さ 0.8～1m になる。花期は 7～8 月で、直径約 8cm 位のオレンジ色の花を数個つけ、花は雄しべと雌しべが弁化して八重咲きになる。花筒は長さ 2cm 程で、日本のヤブカンゾウは3倍体のため結実せず、根が増えて増殖する。また、ヤブカンゾウは漢方薬としても利用され、根は（萱草根） 蕾は（金針菜）と呼ばれる。ヤブカンゾウは、小山内裏公園、桜ヶ丘公園、神代植物公園（植物多様性センター）、小石川後楽園、旧芝離宮恩賜庭園、浜離宮恩賜庭園、清澄庭園、水元公園でご覧いただけます。



- |                            |               |
|----------------------------|---------------|
| ●小山田緑地：町田市下小山田町 361-10     | ☎042-797-8968 |
| ●小山内裏公園：町田市小山ヶ丘 4-4        | ☎042-676-8865 |
| ●小宮公園：八王子市暁町 2-41-6        | ☎042-623-1615 |
| ●桜ヶ丘公園：多摩市達光寺 5-15         | ☎042-375-1240 |
| お ●野山北・六道山公園：武蔵村山市三ツ木 4-2  | ☎042-531-2325 |
| 問 ●東大和公園：東村山市多摩湖町 3-17-19  | ☎042-393-0154 |
| 合 ●神代植物公園：調布市深大寺元町 5-31-10 | ☎042-483-2300 |
| せ ●水元公園：葛飾区水元公園 3-2        | ☎03-3607-8321 |
| 先 ●赤塚公園：板橋区高島平 3-1         | ☎03-3938-5715 |
| ●小石川後楽園：文京区後楽 1-6-6        | ☎03-3811-3015 |
| ●旧芝離宮恩賜庭園：港区海岸 1-4-1       | ☎03-3434-4029 |
| ●浜離宮恩賜庭園：中央区浜離宮庭園 1-1      | ☎03-3541-0200 |
| ●清澄庭園：江東区清澄 3-3-9          | ☎03-3641-5892 |



## 花の開花情報



ショクダイオオコンニャク (燭台大蕈蕈)  
サトイモ科・コンニャク属  
学名: *Amorphophallus titanum*

令和3年6月24日に神代植物公園大温室でショクダイオオコンニャクが開花したのでお知らせいたします。

インドネシアスマトラ島の原産、希少植物(絶滅危惧ⅠB類(EN))で、世界最大の花序を持つ植物として有名。また、腐った肉のような強烈な悪臭を放つことでも知られています。

24日21時の計測では、高さ249cm、最大幅108cmに成長し、温室の外まで臭気が漂う程でした。

この花が咲いている期間は通常2日間ほどです。また、開花は概ね4年に1回程度ですが、今回は約2年で花芽をつけました。

## イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index\\_list.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_list.html)

◇花の見ごろ情報は、年6回(2ヵ月ごと)の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyoku/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 28

# 花の見ごろ情報

2021  
9・10

## 今月の花



キンモクセイ



ギンモクセイ



キキョウ



クズ

Android版

iOS版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



# 🌸 今月の花

**キンモクセイ (金木犀)** モクセイ科モクセイ属 学名: *Osmanthus fragrans* var. *aurantiacus*

原産は中国、常緑の小高木で樹高は3~6mになる。

キンモクセイは、9月~10月ごろに、小枝の先端に直径4~5mmの橙色の小さな花を密集して咲かせる。花は橙色ではあるが、金色に見立てて金木犀と称している。

花の香りは強く、甘い香りが付近を漂うと秋の始まりを思わせる。また、花をシロップ漬けにすることにより、この甘い香りを一年中楽しむことができる。

キンモクセイは、ギンモクセイの変種と言われており、また、モクセイは雌雄異株で実が付いたと聞くことがあるが、ほとんどがギンモクセイであり、日本のキンモクセイは縹雄木が植栽されている。この時期、キンモクセイ、ギンモクセイの違いを探索してみたいかでしょうか。キンモクセイは、秋留台公園、小金井公園、神代植物公園、光が丘公園、善福寺公園、砧公園、日比谷公園、猿江恩賜公園、横網町公園などでご覧いただけます。また、一部の都道でも植栽されています。

**ギンモクセイ (銀木犀)** モクセイ科モクセイ属 学名: *Osmanthus fragrans*

原産は中国、常緑の小高木で樹高は3~6mになる。

ギンモクセイは、10月ごろに、小枝の先端に直径4~5mmの小さな白い花をひとつずつ咲かせ、香りもキンモクセイの様に強くなく、顔を近づけると香りが感じられるほどである。日本ではキンモクセイが一般的ではあるが、キンモクセイはギンモクセイの変種と言われており、一般的にはギンモクセイのことをモクセイと指すこともある。

次に、ギンモクセイは漢字では「銀木犀」と書き、「銀」は白花「木犀」は、樹皮が動物の犀(サイ)の肌に見えるために名付けられた説がある。

実については、始めは薄緑で春先から次第に紫色に変色し、ゴールデンウィーク頃には黒紫に完熟する。ギンモクセイは、武蔵野の森公園、神代植物公園、善福寺川緑地、舎人公園などでご覧いただけます。

**キキョウ (桔梗)** キキョウ科キキョウ属 学名: *Platycodon grandifloras*

原産は日本全土、朝鮮半島、中国、東シベリアに分布多年生草本植物する。

キキョウは、秋の七草のひとつとして日本人には古くからなじみのある植物である。日当たりの良い草原で目にすることができ、草丈は高さ10cm~100cmと幅があり、大きいものでは150cmほどに成長する。

最近では草原等が開発され、生息域を減らし、環境省レッドリストVU(絶滅危惧II類)東京都レッドリスト区部EX(絶滅)多摩部CR(絶滅危惧IA類)に指定されている。

秋の七草は、キキョウのほか、ナデシコ、オミナエシ、クズ、ススキ、ハギ、フジバカマの7種の野草をいいます。キキョウは、神代植物公園、向島百花園、浜離宮恩賜庭園などでご覧いただけます。

**クズ (葛)** マメ科クズ属 学名: *Pueraria montana* var. *lobata*

原産は日本全土、朝鮮半島、中国、東南アジアと広く分布するツル植物。

花は、8月下旬頃~9月にかけて房状の花を咲かせるが、葉の下に隠れる様に咲くことが多いので余り目立たない。

クズは繁殖力が大生のため、荒地や工作放棄地、道路端や河川等色々な場所で目にする事ができる。また、国外では緑化材として用いられた時代があり、繁殖力が強い事から、それが災いとなり、世界の侵略的外来種ワースト100(IUCN)選定種の一つとして数えられ、駆除が行われている。一方で、悪い事ばかりではなく、クズの根からは良質のデンプンが採れ、葛粉の原料として用いられる。中でも奈良県吉野地方産の葛根から採取した葛デンプンを原料とし、精製し純良潔白としたものは最高級と言われる。また、葛の根は生薬としても用いられ、解熱、せきどめ、風邪薬として利用される。

クズは、長沼公園、桜ヶ丘公園、野山北・六道山公園等の丘陵地公園を始め、各地の河川や道端等で見る事ができます

●秋留台公園:あきる野市二宮673-1	☎042-559-6910
●野山北・六道山公園:武蔵村山市三ツ木4-2	☎042-531-2325
●長沼公園:八王子市長沼町、下柚木、堀之内	☎042-375-1240
●桜ヶ丘公園:多摩市蓮光寺5-15	☎042-375-1240
●小金井公園:小金井市関野町1-13-1	☎042-385-5611
●武蔵野の森公園:府中市朝日町3-5-12	☎042-365-8435
●神代植物公園:調布市深大寺元町5-31-10	☎042-483-2300
●光が丘公園:練馬区光が丘4-1-1	☎03-3977-7638
●善福寺公園:杉並区善福寺3-9-10	☎03-3396-0825
●善福寺川緑地:杉並区成田西1-30-27	☎03-3313-4247
●砧公園:世田谷区砧公園1-1	☎03-3700-0414
●日比谷公園:千代田区日比谷公園1-6	☎03-3501-6428
●浜離宮恩賜庭園:中央区浜離宮庭園1-1	☎03-3541-0200
●猿江恩賜公園:江東区毛利2-13-7	☎03-3631-9732
●横網町公園:墨田区横網2-3-25	☎03-3622-1208
●向島百花園:墨田区東向島3-18-3	☎03-3611-8705
●舎人公園:足立区舎人公園1-1	☎03-3857-2308

## 花の実ごろ情報



カキノキ (柿の木) カキノキ科 カキノキ属  
学名: Diospyros kaki Thunb

原産は、日本、韓国、中国等の東アジアの落葉小高木で樹高は、3～6mになる。

柿の実には、渋柿と甘柿があるが、柿の実の渋みのもとは水溶性タンニンが含まれており、これが口の中で溶けると渋く感じる。炭酸ガスやアルコールを用いて渋抜き処理をすることで、タンニンが不活性化するため、渋みが抜ける。

動画共有サービス YouTube にて各公園の情報を発信しています。  
YouTube サイトで検索 🔍 マークに「東京都公園協会」、「TOKYO EAST PARK」、「西武・パークレンジャー」と入力してください。

## イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index\\_calendar.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_calendar.html)

◇花の見ごろ情報は、年6回（2ヵ月ごと）の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 36

# 花の見ごろ情報

2021  
11・12

## 今月の花



キダチダリア



ジュウガツザクラ



ケヤキ (黄葉)



イロハモミジ (紅葉)

Android 版

iOS 版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



# 今月の花

キダチダリア (木立ダリア) キク科、ダリア属 学名: *Dahlia imperialis*

原産は北米大陸メキシコ～南米大陸コロンビアに分布する多年草。

標高 1,500～1,700mの高地・山地で生育し、草丈高さは、8～10mに達する巨大なものもある。秋の空にそびえ立つ威厳ある姿は学名の (D・インペリアルリス) 訳した皇帝のダリアに由来し、「皇帝ダリア」の名でも呼ばれる。

キダチダリアは短日植物で、夏の暑い季節はあまり成長しないが、9月も中旬を過ぎて涼しくなる頃には急激に茎が成長し、10月中旬頃には花芽を付け、11～12月上旬にかけてピンク色の花を咲かせる。

葉は対生で、鋸歯があり2～3回羽状複葉で、小葉は卵形～長楕円形で先が尖る。

キダチダリアは、秋留台公園、小山内裏公園、小金井公園、神代植物公園、亀戸中央公園、大島小松川公園、水元公園などでご覧いただけます。

ジュウガツザクラ (十月桜)バラ科サクラ属 学名: *Cerasus×subhirtella 'Autumnalis'*

ジュウガツザクラは、江戸彼岸 (エドヒガン) と豆桜 (マメザクラ) の交雑種といわれ、江戸時代に作られた園芸品種の落葉高木で3～7m程に成長する。

花びらは白～薄いピンク色で大きさは25～35mmほどである。また、このサクラの特徴は二期咲であり、始めの開花は、蕾の三分の一ほどが秋から冬にかけて開花し、一般のサクラが咲かない時期に開花するので人目を引く。残りの蕾は3月下旬から4月上旬に開花する。

ジュウガツザクラは、小山田緑地、武蔵国分寺公園、野川公園、神代植物公園、砧公園、芝公園、汐入公園などでご覧いただけます。

ケヤキ (榎) ニレ科ケヤキ属 学名: *Zelkova serrata*

原産は東アジアの一部と日本に分布する落葉高木で、日本北海道南部から九州にかけて分布する。山林や丘陵地だけでなく、神社仏閣や公園、街路樹、学校でも多くが植栽されており、身近な樹木である。樹高は20～25mと大木になり中には40mを超える個体もある。

桜の花が終わるころ、一斉に若葉が芽吹き清々しい春の季節を感じさせる。夏は暑い日差しを遮り涼しい木陰を与え、秋には黄・赤に色を変える葉を楽しむことが出来る。

ケヤキは個体により黄葉と紅葉する樹があり、これは遺伝の違いと言われている。

黄葉する葉には緑色の色素と黄色い色素がある。緑は光合成が主な仕事であるが、秋が近づくと太陽の光も弱くなり、光合成で得られる栄養と葉を維持する栄養とが逆転するため落葉の準備に移り、その時緑色の色素も不要となるため分解し消滅する。葉には黄色い色素が残るため、黄葉が始まる。

ケヤキは各地の公園、街路樹などでご覧いただけます。

イロハモミジ (伊呂波紅葉) ムクロジ科カエデ属 学名: *Acer palmatum*

原産は日本、朝鮮半島、中国、台湾に自生し、日本では北は福島県から九州日本海側では福岡県以西で分布する落葉の高木で、樹高は10～15mに成長する。イロハモミジは、紅葉の代表的な樹で、モミジの紅葉という場合は本種を指すことが多い。また、イロハモミジの語源であるが、葉が手のひらのように5～7つ裂片があり、この裂片を「いろはへ」と数えたことに由来する。

紅葉の仕組みとして、葉には緑色の色素であるクロロフィルが含まれるが、日照が短くなり気温が下がると分解される。次に葉に蓄えていた糖類が紫外線の影響により赤色の色素 (アントシアニン) が形成され、これが作られると紅葉が始まる。

イロハモミジは、小宮公園、武蔵国分寺公園、神代植物公園、井の頭恩賜公園、林試の森公園、大島小松川公園、八柱公園などでご覧いただけます。

- |            |                  |               |
|------------|------------------|---------------|
| ●秋留台公園     | あきる野市二宮 673-1    | ☎042-559-6910 |
| ●小山内裏公園    | 町田市小山ヶ丘 4-4      | ☎042-676-8865 |
| ●小山田緑地     | 町田市下小山田町 361-10  | ☎042-797-8968 |
| ●小宮公園      | 八王子市砦町 2-41-6    | ☎042-623-1615 |
| ●小金井公園     | 小金井市関野町 1-13-1   | ☎042-385-5611 |
| ●武蔵野国分寺公園  | 国分寺市泉町 2-1-1     | ☎042-323-8123 |
| お ●神代植物公園  | 調布市深大寺元町 5-31-10 | ☎042-483-2300 |
| 周 ●野川公園    | 三鷹市大沢 6-4-1      | ☎0422-31-6457 |
| 合 ●井の頭恩賜公園 | 武蔵野市御殿山 1-18-31  | ☎0422-47-6900 |
| せ ●砧公園     | 世田谷区砧公園 1-1      | ☎03-3700-0414 |
| 先 ●芝公園     | 港区芝公園 4-10-17    | ☎03-3431-4359 |
| ●林試の森公園    | 品川区小山台 2-6-11    | ☎03-3792-3800 |
| ●亀戸中央公園    | 江東区亀戸 9-37-28    | ☎03-3636-2558 |
| ●大島小松川公園   | 江東区大島 9-9        | ☎03-3636-9365 |
| ●汐入公園      | 荒川区南千住 8-13-1    | ☎03-3807-5181 |
| ●水元公園      | 葛飾区水元公園 3-2      | ☎03-3607-8321 |
| ●八柱公園      | 千葉県松戸市田中新田 48-2  | ☎047-387-2181 |

## 花の実ごころ情報



ダイダイ 橙  
ミカン科 ミカン属  
学名: Citrus aurantium  
常緑樹 広葉樹 高さ 5~6m

原産は、インドやヒマラヤ地方。中国から伝来し、室町時代後期になって普及したと推測される。成熟しても落果せずに新旧の実が同一樹で見られることから、

家が代々続く様に願いをこめ縁起を担ぐことを目的として正月の鏡餅やお飾りに利用される。花は白い五弁で、4月下旬から咲き始める。食用については、香りは良いが、酸味と苦みが強いので、果汁はポン酢、皮はマーマレードやピールに加工して利用される。皮は乾燥させたものを漢方薬では橙皮と言う。

また、精油の原料としても利用され、ネロリ油(花)ピターオレンジ(果皮)プチグレン(未熟な実・葉・枝)の3つの香りをもつ。一方、八丈島では「カブツ」と呼ばれ島焼酎と苦みのある果汁を混ぜて飲むのが島のスタイルです。

動画共有サービス YouTube にて各公園の情報を発信しています。  
YouTube サイトで検索 Q マークに「東京都公園協会」、「TOKYO EAST PARK」、「西武・パークレンジャー」と入力してください。

## イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index\\_calendar.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_calendar.html)

◇花の見ごろ情報は、年6回(2ヵ月ごと)の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372.5365

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 43

# 花の見ごろ情報

2022  
1・2

## 今月の花



ロウバイ



ウメ (紅梅)



カンヒザクラ



フクジュソウ

Android 版

iOS 版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



# 今月の花

ロウバイ (蠟梅・臘梅) ロウバイ科 ロウバイ属 学名 *Chimonanthes praecox*

原産は中国で、落葉小高木 高さは2~4mに成長する。

ロウバイは、旧暦の臘月(12月)に、蠟細工を模した黄色い梅の様な半透明の花を咲かせることから名が付いたと言われ、香りがとても良いことでも知られている。

英名では「Winter sweet」と呼ばれ甘い香りが楽しめる。「蠟梅」の主な香り成分は、ボルネオール、リナロール、カンファー、ミネオール、ファルネゾールなどの成分が絶妙にブレンドされていて、強度3の強い香りでも長い期間楽しませてくれます。

ロウバイの花と香りは、小宮公園、武蔵野公園、殿ヶ谷庭園、神代植物公園、小石川後楽園、旧芝離宮恩賜庭園、芝公園などで楽しめます。

カンヒザクラ (寒緋桜) バラ科 サクラ属 学名: *Cerasus campanulata*

原産は中国南部、台湾、沖縄、鹿児島県に自生する落葉高木で、高さは10m程に成長し、暖かい地方で見られるサクラである。

年越し前に開花するジュウガツザクラを除けば、他のサクラよりも一番早く開花し、寒の時期に見頃を迎えるのが特徴である。東京から南へ千キロ離れた小笠原では、1月下旬にお花見を楽しむことができる。都内に植栽されているものについては、ソメイヨシノより一足早い3月中旬に見ごろを迎える。

カンヒザクラ1月は、大神山公園、3月は、小金井公園、神代植物公園、大島小松川公園、清澄庭園、中川公園などご覧いただけます。

フクジュソウ (福寿草) キンボウゲ科 フクジュソウ属 学名: *Adonis ramosa*

原産地は、日本、朝鮮半島、中国の明るい落葉樹林等に自生する草丈20cmほどの多年草。旧暦の正月頃に黄金色の花を咲かせるので、新年を祝福する花として福寿草と命名され、元日草、朔日草(ついたちそう)、賀正蘭など多くの別名を用いることもある。

花は朝日とともに開花し、陽の光を追って動き場が陰ると閉じるため、観察は晴れた日の午前中が見ごろ。

フクジュソウは、小山田緑地、小山内裏公園、小宮公園、桜ヶ丘公園、府中の森公園、小金井公園、神代植物公園、殿ヶ谷庭園、野川公園、井の頭恩賜公園、蘆花恒春園、砧公園、旧岩崎邸庭園、林試の森公園、向島百花園、水元公園などご覧いただけます。

ウメ (梅) バラ科 サクラ属 学名: *Prunus mume var. purpurea*

原産は中国、落葉高木で樹高は5~6mほどに成長する。

日本への伝来は、弥生時代の遺跡から梅の遺物が出土するなど、稲作技術と共に伝わったと考えられている。また、お花見と言えば桜であるが、平安時代以前のお花見は梅であった。

ウメは、野梅系(野梅性、難波性、紅筆性、青軸性) 緋梅系(紅梅性、緋梅性、唐梅性) 豊後系(豊後性、杏注)「3系9性」に分類される。

江戸時代に入ると水戸藩主の光圀が江戸屋敷に梅園を設けることにより武士間でも梅を楽しむようになる。また、梅は花を楽しむだけでなく、梅干しとして利用され当初は薬用として珍重されていた。

ウメは、殿ヶ谷庭園、小金井公園、武蔵野公園、神代植物公園、井の頭恩賜公園、蘆花恒春園、砧公園、林試の森公園、小石川後楽園、夢の島公園、向島百花園、清澄庭園、などでご覧いただけます。

●小山内裏公園	町田市小山ヶ丘4-4	☎042-676-8865
●小山田緑地	町田市小山田町361-10	☎042-797-8968
●小宮公園	八王子市暁町2-41-6	☎042-623-1615
●桜ヶ丘公園	多摩市蓮光寺5-15	☎042-375-1240
●武蔵野公園	府中市多磨町2-24-1	☎042-361-6861
●府中の森公園	府中市浅間町1-3-1	☎042-364-8021
●殿ヶ谷庭園	国分寺市南町2-16	☎042-324-7991
●小金井公園	小金井市蘭野町1-13-1	☎042-385-5611
●神代植物公園	調布市深大寺元町5-31-10	☎042-483-2300
●野川公園	三鷹市大沢6-4-1	☎0422-31-6457
●井の頭恩賜公園	武蔵野市御殿山1-18-31	☎0422-47-6900
●赤塚公園	板橋区高島平3-1	☎03-3938-5715
●中川公園	足立区中川5-1-1	☎03-3629-8164
●水元公園	葛飾区水元公園3-2	☎03-3607-8321
●小石川後楽園	文京区後楽1-6-6	☎03-3811-3015
●旧岩崎邸庭園	台東区池之端1-3-45	☎03-3823-8340
●向島百花園	墨田区東向島3-18-3	☎03-3611-8705
●横綱町公園	墨田区横綱2-3-25	☎03-3622-1208
●蘆花恒春園	世田谷区砧谷1-20-1	☎03-3902-5016
●砧公園	世田谷区砧公園1-1	☎03-3700-0414
●林試の森公園	品川区小山台2-6-11	☎03-3792-3800
●芝公園	港区芝公園4-0-7	☎03-3431-4359
●旧芝離宮恩賜庭園	港区海岸1-4-1	☎03-3434-4029
●清澄庭園	江東区清澄3-3-9	☎03-3641-5892
●夢の島公園	江東区夢の島2-1-2	☎03-3522-0281
●大島小松川公園	江東区大島9-9	☎03-3636-9365
●大神山公園	小笠原村父島宇西町	☎04998-2-7170

※開花時期は年により変動します。花の見ごろ等につきましては事前に公園管理までお問い合わせ下さい。

## 珍しい花

今回は、サクラと同じ  
バラ科の花を紹介します



ナシ (日本梨)

ナシ (梨)

学名: *Pyrus pyrifolia* var. cult  
バラ科ナシ属

3月の下旬～4月上旬になると、  
稲城市の多摩川沿いで、ナシの花が  
咲き出します。花びらは、白または  
薄緑色が特徴です。



リンゴ

リンゴ (林檎)

学名: *Malus domestica*, *Malus pumila*  
バラ科リンゴ属

4月の下旬～5月上旬、陣馬街道  
(都道521号線)八王子市下恩方町  
付近のリンゴ園で、リンゴの花が見  
られます。花びらは、薄ピンク色が  
特徴です。

## 公園の紹介

動画共有サービス YouTube にて各公園の情報を発信しています。  
YouTube サイトで検索 🔍 マークに「東京都公園協会」、「TOKYO  
EAST PARK」、「西武・パークレンジャー」と入力してください。

## イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

[https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index\\_calendar.html](https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_calendar.html)

◇花の見ごろ情報は、年6回(2ヵ月ごと)の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyo/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (3) 59

# 花の見ごろ情報

2022  
3・4

## 今月の花



サンシュユ



ミツマタ



ソメイヨシノ

Android版

iOS版

都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



# 今月の花

サンシュユ (山茱萸) ミズキ科ミズキ属 学名: *Cornus officinalis*

サンシュユは、中国、朝鮮半島が原産の5~8mに成長する落葉小高木。

日本へは、江戸時代に薬用植物として渡来したとされています。

今日では観賞用に広く植えられており、公園を始め個人宅の庭先等でも目にすることがあります。春先、葉が出る前に黄色い花を咲かせ、樹木の全体が黄色に映えるので、別名「ハルコガネバナ (春黄金花)」とも呼ばれます。また、小さい花が30個ほど集まり、直径2~3cmほどの小さな花房を作り、その房がひとつの花の様に見えます。

開花後は、グミ (茱萸) に似た艶のある赤い実をつけ、秋ごろに熟します。この果実を乾燥したものが薬用とされました。漢字で山茱萸 (ヤマグミ) と書きます。

サンシュユは、小宮公園、小金井公園、武蔵野公園、神代植物公園、善福寺川緑地、蘆花恒春園、砧公園、駒沢オリンピック公園、林試の森公園、日比谷公園、小石川後楽園、六義園、清澄庭園、葛西臨海公園、水元公園、八柱霊園などをご覧ください。

ミツマタ (三桠) ジンチョウゲ科ミツマタ属 学名: *Edgeworthia chrysantha*

ミツマタは、中国中南部からヒマラヤ地方が原産の1~1.5mに成長する落葉低木。

早春に咲く花は蜂の巣のような独特な花姿で、下を向いて咲きます。

花には芳香があり枝は3つに分枝し、これが「ミツマタ」の名前の由来となっています。

樹皮からは、強い繊維が取れるので、古くから和紙の原料として利用されています。また、明治時代からは何遍折りたたんでも破れない特質を生かして紙幣の原料として使われてきており、日本人にとって馴染みの深い植物の一つです。しかし、最近では産地の過疎化を始め、農家の高齢化等、国内での材料の調達が難しくなっており、海外から材料に頼ることになっているそうです。

ミツマタは、秋留台公園、殿ヶ谷庭園、神代植物公園、井の頭恩賜公園、城北中央公園、芝公園、向島百花園などをご覧ください。



サクラ (桜) (ソメイヨシノ: 染井吉野) バラ科サクラ属 学名: *Prunus ×yedoensis*

サクラは多くの園芸品種がありますが、ソメイヨシノはその中でも豪華絢爛に花を咲かせるので、群を抜いて好まれています。

花は淡いピンクの花弁が5枚咲き、花期は3月下旬から4月上旬で、東京都の花でもあります。

作出は、江戸の末期に、染井村 (現在の豊島区駒込) の植木屋がエドヒガン系の品種とオオシマザクラを交配して作出されたといわれています。また、ソメイヨシノは成長が早く花付きが良い事が特長とされ、全国各地に広がっていきました。

ソメイヨシノは、浅南公園、滝山公園、桜ヶ丘公園、小金井公園、神代植物公園、井の頭恩賜公園、砧公園、染井霊園、旧古河庭園、上野恩賜公園、横網町公園、大島小松川公園など数多くの都立公園をご覧ください。

●秋留台公園	あきる野市二宮 673-1	☎042-559-6910
●城南公園	八王子市長房町 1369	☎042-661-0042
●小宮公園	八王子市城町 2-41-6	☎042-623-1615
●滝山公園	八王子市丹木町 3-81 (駐車場)	☎042-623-1615
●桜ヶ丘公園	多摩市連光寺 5-15	☎042-375-1240
●殿ヶ谷庭園	国分寺市南町 2-16	☎042-324-7991
●武蔵野公園	府中市多磨町 2-24-1	☎042-361-6861
●小金井公園	小金井市関野町 1-13-1	☎042-385-5611
●神代植物公園	調布市深大寺元町 5-31-10	☎042-483-2300
●井の頭恩賜公園	武蔵野市御殿山 1-18-31	☎0422-47-6900
●城北中央公園	練馬区氷川台 1-3-1	☎03-3931-3650
●善福寺川緑地	杉並区成田西 1-30-27	☎03-3313-4247
●蘆花恒春園	世田谷区粕谷 1-20-1	☎03-3302-5016
●砧公園	世田谷区砧公園 1-1	☎03-3700-0414
●駒沢オリンピック公園	世田谷区駒沢公園 1-1	☎03-3421-6431
●林試の森公園	品川区小山台 2-6-11	☎03-3792-3800
●小石川後楽園	文京区後楽 1-6-6	☎03-3811-3015
●六義園	文京区本駒込 6-16-3	☎03-3941-2222
●染井霊園	豊島区駒込 5-5-1	☎03-3918-3502
●旧古河庭園	北区西ヶ原 1-27-39	☎03-3910-0394
●上野恩賜公園	台東区上野公園 5-20	☎03-3828-5644
●日比谷公園	千代田区日比谷公園 1-6	☎03-3501-6428
●芝公園	港区芝公園 4-10-17	☎03-3431-4359
●向島百花園	墨田区東向島 3-18-3	☎03-3611-8705
●横網町公園	墨田区横網 2-3-25	☎03-3622-1208
●葛西臨海公園	江戸川区臨海町 6-2-1	☎03-5696-1331
●清澄庭園	江東区清澄 3-3-9	☎03-3641-5892
●大島小松川公園	江東区大島 9-9	☎03-3636-9365
●水元公園	葛飾区水元公園 3-2	☎03-3607-8321
●八柱霊園	千葉県松戸市中新田 48-2	☎047-387-2181

令和2年度 都立公園における都民協働団体一覧表

		公園名	団体・グループ名	活動内容	人数
1	1	青山公園	青山サクラの会	花壇づくり、清掃	2
2	2	赤塚公園	赤塚公園ニリンソウを守る会	ニリンソウの自生地手入れ ニリンソウ観察デイ クリーンアップデイ 観察会	43
	3	赤塚公園	みどりの手	雑木林の復活プロジェクト ニリンソウ観察デイ クリーンアップデイ	20
	4	赤塚公園	いたばし水とみどりの会	パッタ広場の手入れ 自然観察会	33
	5	赤塚公園	NPO法人 いた・エコ・ネット	どんぐりまつり 花壇づくり	25
	6	赤塚公園	赤塚公園植物モニタリング活動	植物管理活動・保護活動	26
	7	赤塚公園	徳丸北野神社田遊び保存会	ニフトコ成育観察・保存活動	26
	3	8	秋留台公園	野草愛好会	野草園の維持管理、公園内花壇の花苗植付け・除草、公園イベントの手伝い
4	9	井の頭恩賜公園	井の頭かんさつ会	自然観察会の開催 外来生物駆除	22
	10	井の頭恩賜公園	あか井の	ガイドツアー、イベントの参画 公園整備作業	18
5	11	上野恩賜公園	上野桜守の会	桜の調査、後継樹育成、マップ・HP作成、募金活動など	50
6	12	宇喜田公園	宇喜田ハーブボランティア	花壇維持管理	20
7	13	浮間公園	フレールラビッツ浮間	清掃活動・花壇手入れ	7
8	14	大泉中央公園	いずみの会	花の手入れ	2
9	15	大島小松川公園	たんぼぼ	花壇維持管理	4
	16	大島小松川公園	わんず・どりー夢	犬のマナー啓蒙、清掃活動	100
	17	大島小松川公園	大島小松川ガーデンボランティア	花壇維持管理	14
10	18	大戸緑地	大戸源流森の会	公園内自然環境保護活動、体験学習等イベント活動	20
11	19	尾久の原公園	尾久の原愛好会	公園の自然観察、稀少植物保護	17
	20	尾久の原公園	尾久の原公園花の会	花壇作り、花の植込み、管理	6
	21	尾久の原公園	尾久の原公園カバグループ	花壇作り、花の植込み、管理	2
	22	尾久の原公園	尾久の原公園おそうじ隊	園内の清掃・雑草除草	2
	23	尾久の原公園	尾久の原公園わんにゃんパトロール	愛犬家へのマナー向上呼びかけと糞の清掃	15
12	24	小山内裏公園	小山内裏公園谷戸山の会	樹林の保護・保全、安全管理、管理者の作業を支援、自然教室・イベント支援	16
	25	小山内裏公園	小山内裏公園畑ボランティアグループ	野菜栽培、近隣小学校・保育園体験学習実施、イベント支援	21
	26	小山内裏公園	小山内裏公園花壇グループ	パークセンター正面(コンクール花壇)横の花壇他の手入れ。イベント支援	10
	27	小山内裏公園	子どもの居場所・どんぐり分校	子どもの居場所作り、南大沢学園喫茶指導、子育て支援、イベント支援	20
	28	小山内裏公園	小山内裏公園わんわんサポーターズ	ドッグラン運営・整備、園内ゴミ拾い。犬のマナーアップ、イベント支援	183
	29	小山内裏公園	巡回グループ	パークモニターとして園内防犯、防災、パトロール、ゴミ拾い、イベント支援	17
	30	小山内裏公園	ラ・ヴェルデ	音楽グループ、水曜日コンサート、歌声喫茶	11
	31	小山内裏公園	小山内裏公園 ボランティア連絡会	公園ボランティアグループ全体の活動拠点、イベントを協議運営	278
13	32	小山田緑地	小山田緑地たんぼぼの会	稲作・畑作活動	87
	33	小山田緑地	NPO法人鶴見川源流ネットワーク	公園自然環境保護活動(草刈り、生き物調査等)	6
	34	小山田緑地	鶴見川源流自然の会	みはらし広場での野外談話室の開催やエコパッチ管理	15
	35	小山田緑地	梅木窪の会	梅木窪分園での野外談話室の開催やアサザ池管理	12
	36	小山田緑地	フローラクイーン	大久保分園での花壇づくり	6
	37	小山田緑地	小山田緑地里山倶楽部	園内の環境保全活動等	10
14	38	葛西臨海公園	葛西臨海公園 グリーンボランティア	花壇づくり	22
	39	葛西臨海公園	葛西臨海公園 ひがた・たんぼ倶楽部	鳥類園での環境学習・維持管理活動	15
	40	葛西臨海公園	葛西東渚・鳥類園友の会	鳥類園自然保護活動	17
15	41	亀戸中央公園	三地区亀戸学童少年野球連盟	多目的広場とその周辺の整備	160
	42	亀戸中央公園	かめいど花の会	B地区及びC地区の花壇	6
16	43	砧公園	砧公園友の会砧パークアカデミー(KPA)	花壇づくり、花木の剪定など	118
	44	砧公園	Kinuta Park Tokyo e-Dog club	犬連れ飼い主のマナーアップ活動	5
17	45	木場公園	木場公園友の会	都市緑化植園の維持管理、噴水前花壇等花壇の維持管理、SC主催イベントへの協力など	75
	46	木場公園	江東植物愛好会	帰化植物見本園の維持管理(友の会と連携)、イベント開催など	4
	47	木場公園	木場プレーパークぼうけん隊	子供たちの公園での遊びを通じて公園の魅力を発信	13
	48	木場公園	木場公園ドッグランサポーターズ	ドッグランの清掃・管理、しつけ教室開催によるマナーアップ活動	22
	49	木場公園	中地区愛好会(千石一丁目長寿会・江東ワイズメンズクラブ)	中地区大花壇維持管理(木場公園友の会と協働)	24
	50	木場公園	ガールスカウト ケナフの会	園内の専用花壇でケナフを栽培し、来園者の地球環境保全認識を啓発している	24
	51	木場公園	ふとんりサイクル推進協議会	江東区の環境問題ボランティア	4
	52	木場公園	蘭友会	会員が育てた蘭の展示会、蘭の育て方教室の開催	40
	53	木場公園	緑の会	園内の植物を写生、作品をミドリアムに展示、スケッチ教室の開催	5
18	54	小金井公園	小金井公園 樹木の会	樹木及び梅林マップ作成、ガイド、園内イベント協力	23
	55	小金井公園	小金井公園 桜守の会	桜の育成管理(清掃、除草、苗木育成)、ガイド、園内イベント協力	29
	56	小金井公園	小金井公園 花の会	花壇管理、清掃、植栽、除草、園内イベント協力	29
	57	小金井公園	小金井公園 ドッグランサポーターズクラブ	ドッグランの清掃、飼い主への啓発活動、園内イベント協力	20
	58	小金井公園	小金井公園 野鳥の会	バードウォッチング、探鳥会、除草、清掃、園内イベント協力	1
19	59	駒沢オリンピック公園	駒沢公園 ドッグランサポートクラブ	ドッグランの運営管理	80
	60	駒沢オリンピック公園	NPO法人 グリーンバード 駒沢チーム	清掃	30
	61	駒沢オリンピック公園	nohara GREEN MATE	花壇づくり・管理	10
20	62	小宮・滝山公園	どんぐり会	花壇のお手入れ、野草や野鳥の観察会の開催、野鳥や植物の調査、草や希少種等の保全活動、外来種駆除作業、イベント支援、機関紙「どんぐり通信」の発行、展示作成ほか	48
21	63	桜ヶ丘公園	雑木林ボランティア	雑木林管理、谷戸田管理、農業文化継承活動、イベント開催、野草等保全調査活動 ほか	48
	64	桜ヶ丘公園・長沼公園・平山城址公園	丘陵地ボランティア	丘陵地レンジャーの活動支援、園内巡回清掃活動、雑木林管理、野草等保全調査活動、イベント開催 ほか	29
	65	桜ヶ丘公園	都立桜ヶ丘公園ドッグランサポーターズの会	ドッグランの管理運営、公園花壇整備	14
22	66	狭山公園	狭山公園友の会	花壇づくり、雑木林の手入れ、イベント協力など	40
23	67	狭山・境緑道	西東京・狭山境緑道花の会	花壇づくり、手入れ、清掃	7
	68	狭山・境緑道	こだいら観光まちづくり協会 狭山・境緑道 花街道ボランティア部会	花壇づくり、手入れ	17
	69	狭山・境緑道	東村山市小彼岸桜の会	樹木剪定、生育調査・管理	15
24	70	猿江恩賜公園	猿江恩賜公園友の会(花の会)	花壇づくり、植栽	4
25	71	汐入公園	汐入公園ハーブボランティア	花壇作り	12

26	72	篠崎公園	篠崎公園友の会	花壇づくり、清掃	7
	73	篠崎公園	篠崎公園花笑会	花壇づくり、清掃	6
	74	篠崎公園	篠崎公園ドッグランサポーターズ	ドッグラン運営	7
	75	篠崎公園	江戸川区グラウンド・ゴルフ協会	芝(草)刈り 花壇づくり	40
27	76	芝公園	森元みどりを楽しむ会	樹木の植樹、草花の植替え、草むしり	17
	77	芝公園	NPO法人 Green Works生物多様性グループ	花壇づくり、清掃、自然観察	7
28	78	石神井公園	石神井公園野鳥と自然の会	水辺観察園の維持管理(週1回)、自然観察会(月1回)、・「石神井公園 自然の見どころ」ポスター作成・掲示(月1回)、管理所主催「自然とあそぼう」イベント運営への協力(毎年11/3)、池水質調査、他	100
	79	石神井公園	ねりま・みどりと花の会	わーくわく花壇の維持管理(週1回)、野草観察園の維持管理(週1回)、管理所主催「自然とあそぼう」イベント運営への協力(毎年11/3)	20
	80	石神井公園	練馬に自然を育む会	野草観察園の維持管理(月3回)	11
	81	石神井公園	石神井・冒険遊びの会	プレイパーク、管理所主催「自然とあそぼう」イベント運営への協力(毎年11/3)、管理所主催の防災訓練などに協力(年1~2回)	40
	82	石神井公園	NPO法人PLAYTANK(プレイタンク)	おひさまびよびよ(幼児向けプレイパーク)	40
	83	石神井公園	石神井絵を描く友の会	野外絵画展への作品提供(年2回)	30
29	84	城北中央公園	桜翠会「公園と緑を楽しむ会」	園内美化活動	18
	85	城北中央公園	城北 DOG WAN	ドッグラン活動	190
	86	城北中央公園	城北中央公園 友の会・すみれ会	植物管理活動	13
	87	城北中央公園	城北公園・四季の会	自然普及活動・自然環境管理・イベント活動	9
30	88	浅間山公園	浅間山自然保護会	自然環境保全作業、イベント運営、樹木調査	51
	89	浅間山公園・武蔵野公園	府中野鳥クラブ	自然環境保全作業、野鳥調査、野鳥観察会の運営	67
	90	浅間山公園・府中の森公園	浅間山ウォーキングクラブ	園内整備、イベント運営	25
31	91	善福寺川緑地	善福寺川さくらの会	花壇づくり、株物・低木剪定、イベントの企画・実施	12
	92	善福寺川緑地	和田堀プレーパーク	子供達の遊び場をベースとした地域交流	10
32	93	善福寺公園	善福寺白寿会	花壇づくり、清掃、自然観察	7
	94	善福寺公園	善福寺公園友の会・クリーン部会	ゴミ拾い	11
	95	善福寺公園	善福寺公園 友の会 剪定班	園内全域中低木の剪定と刈込み	12
	96	善福寺公園	自然愛護会杉並	杉並区内絶滅危惧種の保全と林緑環境の復元、観察会協力	15
	97	善福寺公園	トロールの森実行委員会	野外アート展、水辺の利用を考える。	150
	98	善福寺公園	ギャラリー・クアドロ	公園サービスセンター主催の展示やイベントの講師やサポート公園の自然情報や写真等の情報収集・提供	5
	99	善福寺公園	善福寺プレーパークの会	遊び場づくり	15
	100	善福寺公園	井荻万寿美会	花壇づくり	10
33	101	祖師谷公園	ハーブ木曜友の会	花壇の管理	15
	102	祖師谷公園	ポピークラブ	花壇の管理	28
34	103	滝山公園	NPO法人 滝山城址群・自然と歴史を守る会	維持管理・ガイド	75
35	104	舎人公園	ボランティア 花壇の会	ボランティア花壇及び周辺整備、苗植付け、自然環境保護活動	21
	105	舎人公園	舎人公園ボランティア 鳥の会	定期野鳥調査、イベント協力、自然環境意識の改革	11
	106	舎人公園	舎人・パークわんわんクラブ	マナーアップ啓蒙活動、ドッグラン内の清掃や簡単な補修	40
36	107	戸山公園	新居・戸山プレーパークの会	遊び場づくり	26
	108	戸山公園	戸山公園に心やすらぐ花壇を作る会	花壇管理	11
	109	戸山公園	個人ボランティア	花壇管理、側溝清掃	1
	110	戸山公園	陽だまりぼかぼか	花壇管理	11
	111	戸山公園	戸山公園フラワークラブ	花壇管理	19
	112	戸山公園	戸山楽しい花壇部	花壇管理	11
	113	戸山公園	内藤とうがらしプロジェクトFarm	花壇管理・イベント共催	5
37	114	中川公園	大谷田花の会	花壇作り	3
38	115	野川公園	野川公園緑の愛護ボランティアの会	自然環境保全活動、イベント運営	97
39	116	野山北・六道山公園	野山北・六道山公園ボランティア	里山の自然と文化を守る。雑木林、田畑、自然観察、伝統食など	436
	117	野山北・六道山公園	岸田んぼ会	田んぼづくりの指導	4
	118	野山北・六道山公園	日本野鳥の会奥多摩支部	雑木林の保全活動、自然観察会、野鳥写真展の開催	596
	119	野山北・六道山公園	武蔵村山自然に学ぶ会	雑木林の保全活動、自然観察会	46
40	120	東綾瀬公園	さくら組	花壇作り	4
	121	東綾瀬公園	ハーブボランティア	花壇作り	18
	122	東綾瀬公園	MKN会	花壇作り	7
	123	東綾瀬公園	綾瀬わんわんサポーター	美化活動	15
41	124	東村山中央公園	東村山市小彼岸桜の会	小彼岸桜生育管理、イベント協力	17
	125	東村山中央公園	東村山卒後の居場所準備室	花壇手入れ、清掃活動、イベント協力	10
	126	東村山中央公園	東村山中央公園小菊の会	小菊盆栽の仕立て、花壇手入れ、イベント協力	20
42	127	東大和南公園	花葉心雑草の会	ボランティア花壇の維持管理(花苗植付け・除草等)と公園イベントへの協力	15
43	128	光が丘公園	屋敷森の会	剪定、刈込、生き物・植生調査、ガイド	8
	129	光が丘公園	NPO法人みどり環境ネットワーク!	自然環境教育事業、自然観察会・イベント企画	80
	130	光が丘公園	認定NPO法人 生態工房	植生の維持管理、環境学習、外来動植物の駆除	120
	131	光が丘公園	光が丘カントウタンポポのなかま	カントウタンポポ自生地の維持管理、自然観察会、植生調査	20
	132	光が丘公園	特定非営利活動法人PLAYTANK	プレーパーク活動	24
	133	光が丘公園	光が丘公園花壇ボランティアの会	花壇育成、維持管理、腐葉土づくり	15
	134	光が丘公園	ツリーマスター クライミング アカデミー・南関東ブロック	木登り体験イベント	13
44	135	日比谷公園	NPO法人日本トピアリー協会	花壇づくり	5
	136	日比谷公園	株式会社メタルワン	花壇づくり	50
	137	日比谷公園	日比谷公園 花のボランティア	花壇づくり	7
	138	日比谷公園	株式会社帝國ホテル 環境委員会 フェニックスチーム	花壇づくり	2
	139	日比谷公園	日比谷花の会	花壇づくり	10
	140	日比谷公園	(公社)園芸文化協会・日比谷ローズ	バラ花壇の整備と普及啓蒙	22
	141	日比谷公園	デロイトトーマツグループ	花壇づくり	40
	142	日比谷公園	ミモザ	花壇づくり	7
	143	日比谷公園	清和総合建物株式会社	花壇づくり	135
	144	日比谷公園	太陽石油株式会社	花壇づくり	5
	145	日比谷公園	日比谷公園 チームクリスマスローズ	コンテナ花壇づくり	4
45	146	府中の森公園	府中の森公園花壇管理友の会	花壇管理、園内清掃	30

46	147	水元公園	みずもと自然観察クラブ	自然観察、環境保全	60
	148	水元公園	イネ科花粉症を学習するグループ	水辺環境の再生・創出・保全	5
	149	水元公園	NPO法人水元ネイチャープロジェクト	自然環境の保全・保護	40
	150	水元公園	水元グリーンプラザ友の会	花壇整備ほか	36
	151	水元公園	水元公園ドッグランサポーターズ	ドッグラン施設の運営	49
	152	水元公園	NPO法人 葛飾動物愛護の会	猫愛護活動	20
	153	水元公園	水元かわせみ倶楽部	自然環境保全、清掃・美化	39
	154	水元公園	大自然塾クラブ	自然環境の保全・保護・整備	15
	155	水元公園	エコシステムアカデミー水元	自然普及活動やイベント開催	21
47	156	武蔵国分寺公園	ドッグラン武蔵国分寺	犬を通じた地域交流(園内清掃、イベント運営等)	80
48	157	武蔵野公園	野川ほたる村	自然環境保全活動、イベント運営、ホテルの生息調査	41
49	158	武蔵野中央公園	武蔵野中央公園ガーデンサポーター	花壇整備	11
	159	武蔵野中央公園	グリーンパークフライヤーズ	イベント協力	70
	160	武蔵野中央公園	武蔵カイトクラブ	イベント協力、教室協力	10
	161	武蔵野中央公園	倶楽部原っぱ	園内整備、イベント協力	70
	162	武蔵野中央公園	紙飛行機教室の会	教室協力	25
50	163	武蔵野の森公園	ひまわりの会	花壇づくり、イベント参加	14
	164	武蔵野の森公園	府中野鳥クラブ	野鳥観察、野鳥観察会	65
	165	武蔵野の森公園	おはなしキャンプ	絵本の読み聞かせ、工作	6
	166	武蔵野の森公園	おはなし夢くらぶ	絵本の読み聞かせ、工作	12
	167	武蔵野の森公園	おはなしのたね	絵本の読み聞かせ	21
	168	武蔵野の森公園	調布飛行場の掩体壕を保存する会	掩体壕ガイドツアーなど	5
51	169	代々木公園	武蔵野バラ会	フラワーランドバラ花壇の管理	43
	170	代々木公園	代々木公園ボランティア	フラワーランドバラ花壇の管理、樹木観察会など	66
	171	代々木公園	NPO法人 日本コミュニティガーデニング協会	花壇管理およびハーブ講座	30
	172	代々木公園	代々木公園ドッグランサポーターズクラブ	ドッグランの管理運営等	7
	173	代々木公園	代々木公園ガーデニングクラブ	花壇管理	11
	174	代々木公園	特定非営利活動法人森のライフスタイル研究所	花壇管理、清掃活動	62
52	175	陵南公園	IVUSA	イベントサポート、花壇づくり、園内清掃など	90
	176	陵南公園	ガーデンサポーター	花壇づくりなど	7
53	177	林試の森公園	森のアトリエ	自然工作教室	10
	178	林試の森公園	「林試の森フェスタ」実行委員会	年1回野外コンサート他開催	10
	179	林試の森公園	樹木観察会	季節の見どころを観察	20
	180	林試の森公園	ユーカーリガーデン	花壇管理	7
	181	林試の森公園	森ねこいる会	不幸な猫の擁護活動	36
54	182	蘆花恒春園	NPO法人蘆花会	イベント実施、蘆花記念館展示・資料調査協力等	150
	183	蘆花恒春園	NPO法人芦花公園花の丘友の会	花壇管理、イベント実施、とんぼ池及び自然観察資料館管理	72
	184	蘆花恒春園	蘆花恒春園ワンクラブ	ドッグラン管理運営、公園内イベント・パトロール協力	24
	185	蘆花恒春園	芦花公園しあわせの野音の会	音楽会(パークライブ)実施、かやぶきコンサート協力	14
55	186	六仙公園	六仙公園花ボランティア	花壇づくり、手入れ、清掃	12
56	187	和田堀公園	FIT杉並会	済美山自然林、観察の森の整備及び植生調査	25
	188	和田堀公園	済美山グリーンキープ	園内の清掃	15
	189	和田堀公園	ゆうゆう大宮堀ノ内館	花壇作り	4
56公園	189団体	開園公園		6,725人	

1	1	観音寺森緑地	観音寺の森	未開園地の維持管理、古損木の伐採や下草刈等	20
1公園	1団体	未開園公園			20人

1	1	旧岩崎邸庭園	茅町コンドル会	ガイド	71
	2	旧岩崎邸庭園	金唐紙友の会	金唐紙紙の普及啓発	18
	3	旧岩崎邸庭園	花ふじフワースクール	館内の花による装飾	40
2	4	旧芝離宮恩賜庭園	旧芝離宮恩賜庭園ガイドボランティアの会	庭園ガイド	23
3	5	旧古河庭園	旧古河庭園ボランティアガイドの会	庭園ガイド	43
	6	旧古河庭園	西ヶ原フワロード会	本郷通りの清掃、花苗植付・管理	13
	7	旧古河庭園	NPO法人 西ヶ原ローズページェント	春・秋 バラの苗木販売他	15
4	8	清澄庭園	清澄庭園ガイド倶楽部	庭園ガイド	43
5	9	小石川後楽園	文京区立 柳町小学校	田植え、案山子づくり、稲刈り	100
	10	小石川後楽園	NPO法人 小石川後楽園庭園保存会	イベント協力、調査活動	101
	11	小石川後楽園	小石川後楽園ガイドクラブ	庭園ガイド	52
6	12	殿ヶ谷戸庭園	殿ヶ谷戸庭園ガイドボランティアの会	来園者への庭園ガイド活動	15
	13	殿ヶ谷戸庭園	殿ヶ谷戸庭園花の会	施設内の花の生け込み活動	3
7	14	浜離宮恩賜庭園	浜離宮庭園ガイドクラブ	園内ガイド	33
	15	浜離宮恩賜庭園	NPO法人水辺と生物環境保全推進機構	園内大泉水環境調査・保護活動、環境学習	14
8	16	向島百花園	墨田朝顔愛好会	大輪朝顔展の開催	45
	17	向島百花園	百花園ガイドの会	庭園ガイド	35
	18	向島百花園	墨田区ラジオ体操連盟向島地区	清掃活動	40
9	19	六義園	六義園ガイド倶楽部	庭園ガイド	50
<b>9庭園</b>	<b>19団体</b>	<b>庭園</b>			<b>754人</b>

1	1	井の頭自然文化園	東京動物園ボランティアーズ	動物解説(DG)、園内案内・動物ふれあい補助など(SG)	DG458 SG 84
2	2	恩賜上野動物園	東京動物園ボランティアーズ	動物解説(DG)、園内案内・動物ふれあい補助など(SG)	DG 458 SG 1387
	3	恩賜上野動物園	恩賜上野動物園樹木美化ボランティア	園内の樹木や花壇などの緑地管理の手伝い	19
3	4	葛西臨海水族園	東京シーライフボランティアーズ	園内の生物ガイド、イベント共催	166
4	5	神代植物公園	深大寺 人と緑と犬の会	清掃、しつけ教室、セラピー活動、会報発行など	60
	6	神代植物公園	22世紀の森づくり・神代	森林整備、イベントの開催	51
	7	神代植物公園	神代植物公園ガイドボランティアクラブ	公園のガイド活動	54
5	8	多摩動物公園	東京動物園ボランティアーズ	動物解説(DG)、園内案内・動物ふれあい補助など(SG)	DG 458 SG 84
	9	多摩動物公園	TAMAZO(たまぞう) 特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク協会	雑木林の保全管理による里山の再生、来園者に親しまれる森づくりなど	68
<b>4動物園</b>	<b>6団体</b>	<b>動物園</b>		<b>*DGは3動物園の総数</b>	<b>1,016人</b>
<b>1植物園</b>	<b>3団体</b>	<b>植物公園</b>			<b>165人</b>

1	1	雑司ヶ谷霊園	緑のこみちの会	花壇づくり、清掃	20
2	2	染井霊園	染井花の会	花壇管理	5
<b>2霊園</b>	<b>2団体</b>	<b>霊園</b>			<b>25人</b>

全箇所	全団体	全人数	
56公園	189団体	6,725人	計画・開園公園
1公園	1団体	20人	未開園公園
9庭園	19団体	754人	庭園
4動物園	6団体	1,016人	動物園
1公園	3団体	165人	植物公園
2霊園	2団体	25人	霊園
<b>73園</b>	<b>220団体</b>	<b>8,705人</b>	

## 6. バックナンバー目次（その1～その48）

### その1<昭和47年度>

1. 公園地樹木の生育状態	1
(1) 生育被害調査	1
(2) 生育状態調査一覧表	7
(3) これらに関係ある委託報告などの要約	15
2. 公園緑地の土壌関係	20
(1) 土壌状態調査	20
(2) これが対策などについての委託・文献の要約	26
3. 公園緑地植栽・樹木利用度調査	32
(1) 公園造成にともなう植栽・樹木・株物の 利用状況について	32
(2) 公園造成における苗木の需要数量調査	34
(3) 公園街路等の植栽・樹木・株物の需要状況 (区役所関係)	38
(4) 既設公園などに植栽されている樹種順位	40
4. 公園緑地植栽・樹木の活着状況調査	42
(1) 土壌条件別、樹種別	42
(2) 活着状況調査	44
5. 公共用樹木の需供関係について	50
(1) 公共緑化用樹木の需要と生産などについて	50
(2) 苗木育成の課題	61
6. 都立公園等植栽設計上配慮すべき問題点	65

### その2<昭和48年度>

1. 都立主要公園内外に於けるSO <sub>2</sub> ・NO <sub>2</sub> ・NO調査についての報告	1
2. 東京都内都市公園などの樹木生育障害状況について	2
3. 緑化樹木の耐都市環境性について	15
4. 公園緑地樹木の生育実態調査	23
5. 昭和47年度都立公園樹木活着率調査	33
6. 都立公園植栽樹種利用度などの調査	40
7. 昭和47年度委託調査の要約	47
(1) 東京湾埋立地緑化対策報告	47
(2) 公害対策試験並に緑化資料の蒐集と解析	50
(3) 植物材料(造園樹木)市場に関する調査	53
(4) 公園緑地の生態調査(樹木と土壌)	60
(5) 街路樹生態調査(その1)	62
(6) 街路樹に関する道路構造調査	63
8. その他資料	66
(1) マツノザイセンチュウ調査	66
(2) 主な都市緑化樹などの特性一覧表	67

### その3<昭和49年度>

1. 昭和48・49年度委託調査の要約	1
(1) 都市緑化樹木の選出と植栽管理技術調査	1
(2) 東京湾埋立地緑化対策	25
(3) 街路樹生態調査(その2)	45
(4) 街路樹の水分代謝に関する調査	53
(5) 街路樹の光合成能力に関する調査	62
2. 都立公園けやきの生育障害状況について	71
3. 都立公園の植栽地面積率について	85
4. 都立公園の植栽状況について	90
△ 植栽密度	
△ 形状別樹木構成	
△ 公園別主要景観構成木	
△ 昭和48年度都立公園植栽実績	
5. 都立公園の土壌調査について	101

## その4<昭和50年度>

1. 植栽に対する基本的な考え方	1
2. 東京23区の緑地・樹木の実態調査集計報告(中間報告)	82
3. 東京都農業試験場における緑化に関する研究について	91
4. 都立公園土壌調査結果要約	95
5. 都立公園分類別植栽地率調査(昭和50年6月現在)	97
6. 昭和49年度都立公園・動物園・霊園植栽本数一覧表	98
7. 昭和49年度植栽主要樹種名一覧表	98
8. 昭和49年度都営苗圃・委託育成払出調査	100
9. 昭和49年度植栽樹木一覧表	101
10. 都立公園・霊園・動物園植栽調査	104
11. 緑化に関する収集文献資料リスト	110

## その5<昭和51年度>

1. 土壌改良の手引き	1
2. 幹線道路における植樹帯の遮音効果	56
3. 歩道植樹帯における浮遊ふんじんの軽減効果	69
4. 東京都内の公園におけるカイガラムシの寄生調査	71
5. 東京都農業試験場における緑化に関する研究	73
6. 都市緑化対策推進要綱	80
7. 保存7. 存樹及び保存樹林の指定状況	83
8. 都立8. 都立公園分類植栽地率調査(昭和51年6月現在)	87
9. 昭和9. 昭和50年度都立公園・霊園・動物園・植栽本数一覧表	88
10. 昭和10. 昭和50年度都営苗圃・委託育成払出調査	88
11. 昭和11. 昭和50年度植栽樹木一覧表	90
12. 都立現在)	92
13. 昭和13. 昭和45~50年度都立公園・霊園・動物園における植栽樹種順位 植栽樹種順位	98
14. 東京14. 東京都内街路管理者別数量調査	101

## その6<昭和52年度>

1. 保全1. 保全緑地公園における植生の保護及び保全管理技術に関する調査 保全管理技術に関する調査	1
2. 防災2. 防災公園の緑のあり方について	33
3. 樹木3. 樹木の生長曲線に関する調査	51
4. 樹木4. 樹木の根系の発達と土壌の関係について	60
5. 有機5. 有機質土壌改良剤の緑化木への適用試験	64
6. 東京6. 東京都農業試験場における緑化に関する研究	70
7. 八柱7. 八柱霊園のマノゼイセンチュウ病防除について	90
8. 昭和51年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	93-94
9. 昭和51年度都営苗圃・委託育成苗木払出調査	93-94
10. 昭和10. 昭和51年度植栽樹木一覧表	95
11. 東京11. 東京都内街路樹管理者別数量調査	98

## その7<昭和53年度>

1. 樹木1. 樹木の生長曲線に関する調査	1
2. 街路2. 街路樹生長追跡調査	11
3. 公園3. 公園緑地樹木の生育実態調査	25
4. 海上4. 海上公園の植栽について	34
5. 東京5. 東京都農業試験場における緑化に関する研究	84
6. 区、6. 区、市町別緑地現況調査	116
7. 都立7. 都立公園分類別植栽地率調査	120
8. 昭和8. 昭和52年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	121
9. 昭和9. 昭和52年度都営苗圃・委託育成苗木払出調査	121
10. 昭和10. 昭和52年度植栽樹木樹別一覧表	123
11. 東京11. 東京都内街路樹管理者別数量調査	127

## その8<昭和54年度>

1. 台風1. 台風20号による樹木被害状況調査	1
2. 保存2. 保存樹及び保存樹林の指定状況	16

3.	東京 3.	東京都農業試験場における緑化に関する研究	39
	(1)	観賞用針葉樹の特性および利用	40
	(2)	街路樹等緑化樹に発生する害虫とその被害実態	56
4.	樹木 4.	樹木苗木生長量調査	78
5.	街路 5.	街路樹生長量追跡調査	81
6.	区・市 6.	区、市町別緑地現況調査	92
7.	都立 7.	都立公園・霊園・動物園樹木現況調査	98
8.	北部 8.	北部公園緑地事務所管内樹種調査	106
9.	駒沢 9.	駒沢公園樹種調査	107
10.	東京 10.	東京の都市公園における植栽樹種調査	108
11.	昭和 11.	昭和53年度都知事管理道路植栽樹種別一覧表	111
12.	昭和 12.	昭和53年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	113
13.	昭和 13.	昭和53年度都営苗圃・委託育成苗木払出調査	113
14.	昭和 14.	昭和53年度植栽樹木一覧表	115
15.	東京 15.	東京都内街路樹管理者別数量調査	117
16.	都立 16.	都立公園分類別植栽地率調査	119
17.	東京 17.	東京都街路樹年表	120
18.	東京 18.	東京都内樹木天然記念物一覧表	123
19.	東京 19.	東京気象表(抜粋)	125

### その9<昭和55年度>

1.	日比 1.	日比谷公園生態調査	1
2.	造園 2.	造園植物特性	37
3.	都立 3.	都立公園・霊園・動物園植サクラ現況調査	66
4.	樹木 4.	樹木苗木生長量調査	76
5.	樹木 5.	樹木発芽および生長量調査	79
6.	東京 6.	東京都農業試験場における緑化に関する調査	83
	(1)	東京都におけるマツノザイセンチュウの分布と その被害状況(森林環境保全試験)	84
	(2)	有機物施用効果試験	92
7.	東京 7.	東京都の道路緑化状況調査	99
	(1)	道路緑化の現況	99
	(2)	道路緑化の推移	100
	(3)	東京都内街路樹管理者別調査	102
	(4)	昭和54年度都知事管理道路における植栽	103
	(5)	街路樹カラーイメージアンケート	106
	(6)	東京都の道路緑化管理管轄表	119
8.	都立 8.	都立公園分類別植栽地率調査	121
9.	昭和 9.	昭和54年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	123
10.	昭和54年度都営苗圃・委託育成苗木払出調査		123
11.	東京気象表(抜粋)		125

### その10<昭和56年度>

1.	植栽樹木実績調査	1	
2.	造園植物特性	51	
3.	樹木苗木生長量調査	72	
4.	東京都農業試験場における緑化に関する調査	89	
	(1)	東京都におけるトウカエデのうどん粉病	90
	(2)	コナラ萌芽の初期成長に関する研究	93
5.	東京都の道路緑化状況調査	104	
	(1)	道路緑化の現況	104
	(2)	道路緑化の推移	105
	(3)	東京都内街路樹管理者別調査	107
	(4)	昭和55年度都知事及び都管理道路における植栽	108
	(5)	街路樹生長量追跡調査	111
6.	都市計画区域外緑地現況調査	115	
7.	都立公園分類別植栽地率調査	117	
8.	昭和55年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	119	
9.	昭和55年度都営苗圃・委託育成苗木払出調査	119	
10.	東京気象表(抜粋)	121	

1 1.	緑化に関する調査報告(その1～その10)索引	123
1 2.	保存資料及び図書目録 (公園緑地部計画課計画第二係保管)	134

### その11<昭和57年度>

1.	公園緑地生態調査	1
(1)	上野恩賜公園生態調査	5
(2)	恩賜上野動物園生態調査	21
(3)	武蔵野公園生態調査	50
2.	表土保全調査	85
3.	神代植物公園緑の相談所 緑化相談実績調査	138
4.	台風10号による街路樹(都道)被害実態調査	154
5.	東京都農業試験場における緑化に関する調査	163
(1)	植木の連作障害と対策	164
6.	東京都の道路緑化状況調査	170
(1)	道路緑化の現況	170
(2)	道路緑化の推移	171
(3)	東京都内街路樹管理者別調書	172
(4)	昭和56年度都知事及び都管理道路における 植栽樹種別一覧表	173
7.	都立公園分類別植栽地率調書	175
8.	昭和56年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	177
9.	昭和56年度都営苗圃・委託育成苗木払出調書	177
1 0.	東京気象表(抜粋)	179

### その12<昭和58年度>

1.	浜離宮恩賜庭園生態調査	1
2.	公園土壌改善のための基礎事項と実践例	57
3.	世論調査、アンケート等による緑化意識の動向	99
4.	樹木苗木生長量調査	120
5.	都農業試験場における緑化に関する調査	141
(1)	トウカエデ首垂細菌病の発生状況	141
(2)	植木に発生するコガネムシ類の生態と防除	149
6.	東京都の道路緑化状況	153
(1)	道路緑化の現状	154
(2)	道路緑化の推移	161
(3)	街路樹生長量追跡調査	175
7.	公園緑地行政をとりまく情勢の推移 一年表形式で	179
8.	外国都市との交換種苗	191
□	資料	
1.	都内の花の見所	217
2.	花言葉一覧	219
3.	園芸愛好普及団体一覧	223
4.	造園関係団体・組織・出版物一覧	226
(1)	団体・組織	226
(2)	出版物	230
5.	都立公園・霊園・動物園樹木現況調書	232
6.	都立公園分類別植栽地率調書	237
7.	昭和57年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	239
8.	昭和57年度都営苗圃・委託育成苗木払出本数一覧表	239
9.	東京気象表(抜粋)	241

### その13<昭和59年度>

1.	松くい虫の生態とその防除	1
2.	水元公園はなしょうぶ調査報告	14
3.	街路樹定点観測報告	35
4.	植栽樹木枯損状況調査	50
5.	六義園生態調査	75
6.	井の頭恩賜公園生態調査	136
7.	都政モニターアンケート	215

「身近な緑」より

8. 東京都の花「そめいよしの」に正式決定	228
9. 東京・北京友好都市提携5周年記念植樹	232
10. 緑の倍增計画と公園整備事業	239
□ 資料	
1. 緑の相談所利用状況	245
2. 東京都の道路緑化状況	249
3. 都立公園分類別植栽地率調書	255
4. 昭和58年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	257
5. 昭和58年度都営苗圃・委託育成苗木払出本数一覧表	259
6. 東京気象表(抜粋)	260

その14<昭和60年度>

1. バードサンクチュアリの造成にあたって 一光が丘公園での経験より一	1
2. 雑草管理と除草剤の概要	36
3. 街路樹関係苦情陳情調査	50
4. ピックエアレーションにより土壌改良について	60
5. ユーカリ栽培の経緯(その1)	72
6. 東綾瀬公園生態調査	82
7. 陵南公園生態調査	106
8. 殿ヶ谷戸公園生態調査	125
9. 浅間山公園自然環境調査	144
10. 緑化の普及、啓発事業	175
(1) 全国都市緑化フェア	175
(2) 都民グリーンフェスティバル'85	177
(3) ガーデンシティ多摩'85	177
(4) 第5回ふるさと東京まつり	178
(5) 都市緑化月間の緑化普及行事	178
(6) 都立公園ガイドの作成	181
11. 国際交流事業	184
(1) 北京市人民代表大会友好代表团による 記念植樹(第3回)	184
(2) カウラ日本庭園造成	186
□ 資料	
1. 緑の相談所利用状況	193
2. 東京都の道路緑化状況	195
3. 都立公園分類別植栽地率調書	201
4. 昭和59年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	203
5. 昭和59年度都営苗圃・委託育成苗木払出本数一覧表	205
6. 東京気象表(抜粋)	207
7. 公園別・樹種別樹木現況	208
8. 過去10年間・植栽樹木上位4種一覧表	211

その15<昭和61年度>

1. 公園システム管理・維持管理資料整備編 一多摩ニュータウンの事例より一	1
2. 伊豆大島におけるオオシマツツジの保全	31
3. 緑の相談所の新しい動き	39
(1) 映像による植物図鑑の導入	39
(2) 戸山公園緑の相談室開室 一展示について一	42
4. 農薬の概要と病虫害防除	48
5. 緑化道路整備事業 植栽樹種調査	58
6. 街路樹剪定手法の一提案(リフト車使用)	64
7. ユーカリ栽培の経緯(その2) 一鉢植栽培一	68
8. コンポストの施用効果と安全性調査	75
9. 芦花公園自然環境調査	90
10. 代々木公園生態調査	120
11. 緑化及び公園事業の普及啓発	164
(1) グリーンマップ発行	164

(2) 街路樹マップ発行	166
(3) 緑の公園フェスティバル '86実施	167
(4) 海のふるさと村開村記念式	168
(5) 自然公園の普及事業	170
(6) 各種グリーンフェア参加	174
(7) アンケート「好きな公園・樹・草花」の 実施結果について	180
1 2. 国際交流事業	183
(1) ニューヨークへハス寄贈	183
(2) パリへ石燈籠を寄贈	184
(3) カウラ日本庭園完成	192
□ 資料	
1. 緑の相談所利用状況	197
2. 東京都の道路緑化状況	199
3. 都立公園分類別植栽地率調書	205
4. 昭和60年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	207
5. 昭和60年度都営苗圃・委託育成苗木払出本数一覧表	209
6. 昭和61年東京気象表(抜粋)	210

### その16<昭和62年度>

1. 東京都におけるケヤキの活力度調査について	1
2. 海のふるさと村(大島公園)植物園整備について	7
3. 公園のリーフレットの作り方	17
4. 街路樹 緑視率調査報告	29
5. 野川公園自然観察会の記録	38
6. 水元公園緑の相談所開設	51
7. 緑の図書室解説	58
8. 絶滅に瀕する小笠原固有種の育成・ 増殖・植生復元について	66
9. 花壇施工の実例について	70
10. ユーカリ栽培の経緯(その3)	78
11. 浜離宮庭園自然環境調査	96
12. 向島百花園自然環境調査	121
13. 猿江公園生態調査	153
14. 清澄庭園生態調査	165
15. 芦花垣春園生態調査	179
16. 洗足公園生態調査	193
17. 野川公園生態調査	205
18. 善福寺公園生態調査	222
19. '87緑の倍增計画と公園整備事業	241
20. 緑化及び公園事業の普及啓発	249
(1) グリーンマップの作成発行	249
(2) 小笠原ビジターセンター開設	251
(3) 各種グリーンフェアへの参加	252

### □ 資料

1. 緑の相談所利用状況	259
2. 東京都の道路緑化状況	265
3. 東京都内街路樹等管理者別数量調査	274
4. 都立公園・都道内の花木植栽状況一覧表	275
5. 昭和61年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	276
6. 昭和61年度都営苗圃・委託育成苗木払出本数一覧表	278

### その17<昭和63年度>

#### 第1部 技術調査編

1. 目黒公園自然環境調査	1
2. 赤塚公園自然環境調査	32
3. 目黒公園生態調査	48
4. 芝公園生態調査	74
5. 台場公園生態調査	94
6. 井の頭自然文化園生態調査	109

7.	丘陵地公園の植生管理について	122
8.	樹木生長量調査	131
9.	ユーカリ栽培の経緯(その4)	150
10.	ユーカリの病虫害防除試験について	160
11.	親緑施設のデザインについて	169
12.	文化財庭園の保存・復原・並びに 管理等に関する調査	178
13.	光が丘のイチョウについて	194
14.	街路樹(エンジュ)病害調査報告	206
15.	まちかど庭園の整備	216
第2部 管理運営報告編		
1.	夢の島熱帯植物館の開館	220
2.	東京都緑の図書室活動報告	238
3.	海のふるさと村(大島公園)椿資料館の開館	245
4.	高尾ビジターセンターの自然教室	253
5.	東アフリカ、タンザニア国造園技術 研究員を受け入れて	263
6.	ミラノトリエンナーレ(ミラノ国際博覧会)への出展について	271
第3部 資料編		
1.	緑の相談所の利用状況	283
2.	東京都の道路緑化状況	283
3.	昭和62年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	285
4.	昭和63年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	287
5.	昭和63年度都立公園の設計使用樹種上位10種	289

## その18 <平成2年度>

第1部 技術調査編		
1.	絶滅に瀕する小笠原固有植物の育成・ 増殖研究について	5
2.	東大和公園自然環境調査	39
3.	砧公園自然環境調査	81
4.	砧公園生態調査	110
5.	篠崎公園生態調査	120
6.	向島百花園の植栽について	140
7.	樹木生長量調査	145
8.	「道路のみどり」からとらえた東京の地域特性	173
9.	都立公園の維持管理計画について	182
第2部 運営報告編		
1.	奥多摩自然公園管理センター (奥多摩ビジターセンター)の運営について	197
2.	水元公園緑の相談所の運営について	213
3.	国際花と緑の博覧会東京都出展について	224
第3部 資料編		
1.	平成元年度 東京都・緑の相談所 相談実績	237
2.	東京都の道路緑化状況	238
3.	平成元年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	251
4.	苗圃配置図と栽培実績	253

## その19 <平成3年度>

□ 技術調査編		
	公園管理と農薬	1
	東京都の公園のあり方に関するアンケート調査について	26
	樹木(街路樹)の土木からの検証例の紹介	68
	平成2年度生態調査の概要 —東白鬚公園、日比谷公園、城北中央公園—	81
□ 管理運営報告編		
	日比谷グリーンサロン(日比谷公園緑の相談所)の運営から	172
	街路樹維持管理のOA化について	190
	公園管理受託5年を経過して	

—施設維持管理について—	200
--------------	-----

## □ 資料編

1. 緑の相談所活動実績(平成2年度)	223
2. 東京都の道路緑化状況(平成2年度)	224
3. 平成2年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	238
4. 平成2年度都立公園の設計使用樹種上位10種	240
5. 過去5年間の委託調査一覧	241
6. 東京都の緑化行政組織一覧	251
7. 都市緑化施設年表	252
8. 都市公園利用実態調査実績一覧	254
9. 都市公園の巨木一覧	255
10. 造園緑化団体一覧	257
11. 都市公園別植栽地率	258
12. バックナンバーの目次	259

## その20 <平成4年度>

1 技術調査編	
・ 公園緑地の都市の熱汚染抑制効果について	1
・ 水元公園水辺ゾーンにおける水質改善事例	21
・ 「姉妹・友好都市との街路樹交換に関する調査」について	33
・ 平成3年度生態調査の概要	
—石神井公園・狭山公園・蘆花垣春園・亀井戸中央公園—	47
・ 平成3年度自然環境調査の概要 —光が丘公園—	84
2 管理運営報告編	
・ 夢の島熱帯植物館 —大温室の植物管理—	114
・ 八丈ビジネスセンターの開設について	130
・ 東京都緑の公園フェスティバル'92	145
3 資料編(グリーンファイル)	
1. 緑の相談所活動実績(平成3年度)	159
2. 東京都の道路緑化状況(平成3年度)	166
3. 平成3年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	179
4. 過去4年間における都立公園の設計使用樹種上位10種 および過去5年間における都立公園植栽樹木の傾向	180
5. 過去6年間の委託調査一覧	184
6. 都市緑化施設年表	196
7. 都市公園利用実態調査実績一覧	198
8. 都市公園の巨木一覧	199
9. 東京都の天然記念物	201
10. 緑化地区位置図	204
11. 造園緑化関連団体一覧	205
12. 東京の樹木医リスト	207
13. 植物開花時期調査(神代植物公園記録)	208
14. バックナンバーの目次	217

## その21 <平成5年度>

I. 技術調査編	
● 竹芝ふ頭公園の人工地盤上の植栽について	3
● 浮間公園のｶﾊﾞｯｸﾞ・ﾄﾝﾎﾞ作成(ふれあい拠点整備)	19
● 平成4年度 生態調査の概要	
—和田堀公園、清澄庭園、旧芝離宮庭園、 水元公園、浮間公園—	38
● 平成4年度 自然環境調査の概要	
—桜ヶ丘公園、井の頭恩賜公園、林試の森公園—	81
II. 管理運営編	
● 浅間山のﾓｼﾞｷﾞｽﾞの保護	125
● 丘陵地公園の市民参加型植生管理	
—都立桜ヶ丘公園雑木林ﾎﾟﾗﾝﾃﾞｱ活動—	133

● 緑のフェスティバル'93	146
＜国際交流事業＞	
● 「東京カレド友好提携記念」日本庭園(東京庭園)の 造成と寄贈	155
III. 資料編(グリーン・ファイル)	
1. 緑の相談所 活動実績(平成4年度)	
(1) 相談件数等	171
(2) 講習会	172
2. 東京都の道路緑化状況(平成4年度)	174
3. 平成4年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	184
4. 過去5年間における都立公園の設計使用樹種上位10位 (低・中・高木別)	185
5. 都市公園利用実態調査実績一覧	187
6. 都立公園緑化施策年表	
(1) 国	188
(2) 東京都	189
7. 過去7年間の委託調査一覧(公園別)	190
8. 緑化に関する調査報告(その1～その20)に掲載された 報告等一覧(項目別)	196
9. 東京都の天然記念物	205
10. 都市公園の巨木一覧	208
11. 緑化地区位置図	209
12. 造園関連団体一覧	210
13. バックナンバーの目次	212

## その22＜平成6年度＞

I. 技術調査編	
● 都市における緑の効用機能の解明	1
● 都市公園における「水辺の再生」について	11
● 親緑施設のデザインについて	32
● 平成4年度 生態調査の概要 一戸山公園箱根山地区、戸山公園大久保地区、 上野恩賜公園	42
II. 管理運営報告編	
—公園施設の夜間利用について—	
① 葛西臨海水族園「微塵子博覧会」の開催	77
② 「夜咲く花の鑑賞会」の実施について	82
● 公園で活動するボランティアについて	88
● 山のふるさと村クラフトセンター建設について	97
● 東京都緑の公園フェスティバル'94	106
● 「日比谷公園とわたし展」の企画と実施について ＜都区交流事業＞	116
● 平成6年度都市緑化連絡会活動について	127
III. 資料編(グリーン・ファイル)	
1. 緑の相談所 活動実績(平成5年度)	137
2. 東京都の道路緑化状況(平成5年度)	138
3. 平成5年度都立公園・霊園・動物園植栽本数一覧表	145
4. 過去5年間における都立公園の設計使用樹種上位10位 (低・中・高木別)	146
5. 花の見ごろ情報リスト	147
6. 都立公園緑化施策年表	
(1) 国	149
(2) 東京都	150
7. 過去7年間の委託調査一覧(公園別)	151
9. 東京都の天然記念物	157
10. 都市公園の巨木一覧	160
11. 緑化地区位置図	161
12. 造園関連団体一覧	162
13. バックナンバーの目次	164

## その23 <平成7年度>

I. 技術調査編	
1. 石神井公園三宝寺池沼沢植物群落の復元	1
2. 阪神・淡路大震災における公園・緑化の状況について	13
3. 長沼公園雑木林調査	24
4. 浜離宮庭園におけるカワウの生息状況	33
5. 平成6年度 生態調査の概要 —浜離宮庭園、向島百花園—	48
6. 平成6年度 自然環境調査の概要 —第六台場—	94
II. 管理運営報告編	
1. 石神井公園におけるヤブガラシの立曳きについて	113
2. 苗圃の変遷	122
3. 外国都市との交換種苗	129
4. 東京都緑の公園フェスティバル'95	138
III. 資料編(グリーン・ファイル)	
1. 緑の相談所 活動実績(平成6年度)	149
2. 東京都の道路緑化状況(平成6年度)	152
3. 平成6年度都立公園等植栽本数一覧表	160
4. 過去5年間に於ける都立公園の設計使用樹種上位10位 (高・中・低木別)	162
5. 花の見ごろ情報リスト	163
6. 緑化施策年表	164
7. 東京都の天然記念物	166
8. 都市公園の巨木一覧	169
9. 緑化地区位置図	171
10. ボランティア一覧	172
11. 造園関連団体一覧	173
12. バックナンバーの目次	175

## その24 <平成8年度>

I. 技術調査編	
特集:東京の里山	
1. 東京の里山	1
2. 桜ヶ丘公園萌芽更新区域植物調査の概要	8
3. 平成7年度 小宮公園雑木林調査委託の概要	18
4. 保全地域における雑木林萌芽更新調査	28
5. 新たな谷戸管理手法の確立	50
6. 本紙掲載の里山関連文献	63
調査報告文	
1. 都市公園の水辺環境調査について	64
2. 平成7年度 街路樹樹勢調査の概要	89
3. 街路樹(ケヤキ)の育成管理調査について	104
4. 平成7年度 自然環境調査の概要 —長沼公園—	114
II. 管理運営報告編	
1. 街の植樹祭の歩み	141
2. 東京都緑の公園フェスティバル'96	149
3. 平成7年度 都市緑化連絡会活動について	160
III. 資料編(グリーン・ファイル)	
1. 緑の相談所 活動実績(平成7年度)	177
2. 緑の相談所 相談内容の調査について	181
3. 東京都の道路緑化状況(平成7年度)	190
4. 平成7年度都立公園等植栽本数一覧表	198
5. 過去5年間に於ける都立公園の設計使用樹種上位10位 (高・中・低木別)	200
6. 平成8年度花の見ごろ情報年間リスト	201
7. 緑化施策年表	202
8. 東京都の天然記念物	204
9. 都市公園の巨木一覧	207
10. 緑化地区位置図	209
11. 都立公園等で活動するボランティア(公募)一覧	210

12. 造園関連団体一覧	211
13. バックナンバーの目次	213

## その25 <平成9年度>

I. 25周年記念特集	
1. 都市緑化の変遷25年	1
2. 発刊から25周年を迎えて	7
II. 技術調査編	
1. 平成8年度 緑の基礎調査の概要 一芝公園、水元公園一	27
2. 環境緑地帯調査	86
3. 新しい都市型緑化植物の選定と低コスト生産技術の開発	138
III. 管理運営報告編	
1. 「花の名所づくり」事業について	169
2. 東京都緑の公園フェスティバル'97	180
3. 平成8年度都市緑化連絡会活動について	194
4. 都営苗圃の再編計画について	208
5. 「緑の相談所ネットワーク」の改正について	216
6. 5年目を迎えた花の見ごろ情報について	220
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 緑の相談所 活動実績(平成8年度)	225
2. 東京都の道路緑化状況(平成7年度)	229
3. 平成8年度都立公園等植栽本数一覧表	237
4. 過去5年間に於ける都立公園等の設計使用樹上位10位 (高・中・低木別)	239
5. 平成9年度花の見ごろ情報年間リスト	240
6. 緑化施策年表	241
7. 東京都の天然記念物	243
8. 都立公園の巨木一覧	246
9. 緑化地区位置図	248
10. 都立公園等で活動するボランティア(公募)一覧	249
11. 造園関連団体一覧	250
12. バックナンバーの目次	252

## その26 <平成10年度>

I. 緑化行政の変遷25年をふまえての実例	
1. 地域の声を活かした多自然型川づくり	1
2. 「花の名所づくり」 一亀戸中央公園・代々木公園一	9
II. 技術調査編	
1. 平成9年度 緑の基礎調査の概要 一善福寺川緑地、東大和公園、 浜離宮恩賜庭園・旧芝離宮恩賜庭園・清澄庭園一	23
2. 街路樹診断マニュアル	81
3. 神代植物公園水生植物園の管理と生物	123
4. 公園管理と『環境ホルモン』問題	147
5. 浄水場発土加工土が緑化植物の生育に及ぼす影響	169
6. 土木技術研究所ニュース	175
III. 管理運営報告編	
1. 東京都緑の情報センターの開設について	177
2. 東京都緑の公園フェスティバル'98	188
3. 平成9年度都市緑化連絡会活動について	199
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 緑の相談所 活動実績(平成9年度)	215
2. 東京都の道路緑化状況(平成9年度)	219
3. 平成9年度都立公園等植栽本数一覧表	227
4. 過去5年間に於ける都立公園等の設計使用樹上位10位 (高・中・低木別)	230
5. 平成10年度花の見ごろ情報年間リスト	231
6. 緑化施策年表	232

7. 東京都の天然記念物	234
8. 都立公園の巨木一覧	237
9. 緑化地区位置図	239
10. 都立公園等で活動するボランティア(公募)一覧	240
11. 造園関連団体一覧	241
12. バックナンバーの目次	243

## その27<平成11年度>

### I. 技術調査編

1. 平成10年度 緑の基礎調査の概要 一葛西臨海公園、夢の島公園、浅間山公園、 井の頭恩賜公園一	1
2. 屋上等人口地盤緑化について	69
3. 都立公園の外国産樹木(交換樹木等)について	82
4. 土木技術研究所ニュース(その2)	112
5. 植栽実績調査の長期間集計の結果から	126

### 資料編(グリーン・ファイル)

1. 東京都の道路緑化状況(平成10年度)	131
2. 平成10年度都立公園等植栽本数一覧表	138
3. 過去5年間における都立公園等の設計使用樹上位10位 (高・中・低木別)	141
4. 平成11年度花の見ごろ情報年間リスト	142
5. 東京都の天然記念物	143
6. 都立公園の巨木一覧	146
7. 緑化地区位置図	148
8. 都立公園等で活動するボランティア(公募)一覧	149
9. 造園関連団体一覧	150
10. バックナンバーの目次	152

## その28<平成12年度>

### I. 特集『都民参加の緑づくりの実践』

1. 「22 1. 「22世紀の都民の森づくり」について	1
2. ボランティア団体「22世紀の森づくり・神代」報告	19
3. 都民 3. 都民による公園づくり 一芦 一芦花公園花の丘友の会と木場公園 会の活動について一	23
4. 「東 4. 「東京構想2000」と「緑の東京計画」について一都民、NPO等 一都民、NPO等との協働に注目して一	44

### II. 技術 II. 技術調査編

1. 平成平成11年度 緑の基礎調査の概要一六義園、小石川後楽園、旧古河原 一六義園、小石川後楽園、旧古河庭園一	57
2. 平成平成11年度 緑の基礎調査の概要一秋留台公園一 一秋平成11年度 緑の基礎調査の概要一秋留台公園一	80
3. 平成平成11年度 緑の保全回復調査の概要一殿ヶ谷戸庭園一 一殿平成11年度 緑の保全回復調査の概要一殿ヶ谷戸庭園一	94
4. 都立都立自然公園に生息するオオタカの保護の取り組み～羽村草花自然 ～羽都立自然公園に生息するオオタカの保護の取り組み～羽村草花自然 オオタカの保護計画～	108
5. 水元 1. 水元公園権八池水生植物回復調査委託	123
6. 農場 6. 農場試験場報告	142
7. 土木 7. 土木技術研究所ニュース	148

### III. 管理 III. 管理運営報告編

1. 緑の情報センター及び緑の相談所の事業終了について	153
2. 「緑と水」の市民カレッジ開校	158
3. 平成 3. 平成10年度・11年度都市緑化連絡会について	1161

### 資料編(グリーン・ファイル)

1. 緑の相談所 活動実績	165
2. 東京 2. 東京の道路緑化状況	172
3. 平成 3. 平成11年度 都立公園等植栽本数一覧表	179
4. 過去過去5年間における都立公園等の設計使用樹上位10種	182

5. 平成 5. 平成12年度 花の見ごろ情報年間リスト	183
------------------------------	-----

## その29<平成13年度>

I. 技術 I. 技術調査編	
1. 平成 平成12年度 緑の基礎調査の概要— 一日比谷公園—	1
2. 平成 1. 成12年度 緑の基礎調査の概要 — 井一井の頭恩賜公園—	15 15
3. 平成 平成12年度 緑の保全回復調査の概要— 東大和公園—	26
4. 三宅島における緑の回復に関わる基礎調査	38
5. 野山 3. 野山北・六道山公園における樹林地更新について	55
6. 屋上 4. 屋上緑化植栽と維持管理技術について	67
7. 土木 5. 土木技術研究所ニュース	79
8. 三宅 6. 三宅島2000年噴火火山灰の植生回復への影響	91
II. 管理 II. 管理運営報告編	
1. 平成 平成12年度 都市緑化連絡会活動について	99 資 99
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 平成 1. 平成12年度 委託調査一覧表	103
2. 東京 2. 東京都の道路緑化状況	105
3. 平成 3. 平成12年度 都立公園等植栽本数一覧表	111
4. 過去 4. 過去5年間に於ける都立公園等の設計使用樹上位10種	114
5. 平成 4. 平成13年度 花の見ごろ情報年間リスト	115
6. 公園 5. 公園別樹木本数	116
7. 公園 6. 公園別主要樹木一覧	118

## その30<平成14年度>

I. 技術 I. 技術調査編	
1. 平成 1. 平成13年度 緑の基礎調査の概要 — 代々木公園、旧岩崎邸庭園—	1
2. 平成 成13年度 緑の保全回復調査の概要— 六義園ほか2庭園緑の回復工事 — 六義園ほか2庭園緑の回復工事—	20
3. 自然 1. 自然環境調査の概要 — 平成12年度・平成13年度 代々木公園—	32
4. 水元 2. 水元公園権八池水生植物調査	46
5. 壁面 3. 壁面緑化について	61
6. 土木 4. 土木技術研究所ニュース — ヒートアイランド対策と三宅島緑化—	72
II. 管理 II. 管理運営報告編	
1. 平成 平成13年度 緑の報告連絡会(旧都市緑化連絡会)活動について (旧都市緑化連絡会)活動について	89
2. 東京 1. 東京都民緑地について — 祖師谷公園正常九丁目市民緑地、小山田緑地梅木 窪市民緑地—	92 92
3. 「小 3. 「小金井公園桜守ボランティア」について	100
4. 公園 4. 公園ボランティア登録「小金井公園桜守の会報告」	105
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 平成 1. 平成13年度 委託調査一覧	109
2. 東京 2. 京都の道路緑化状況	111
3. 平成 3. 平成13年度 都立公園等植栽本数一覧表	117
4. 過去 4. 過去5年間に於ける都立公園等の設計使用樹上位10種	120
5. 平成 5. 平成14年度 花の見ごろ情報年間リスト	121
6. 公園 6. 公園別樹木本数	122
7. 公園 5. 公園別主要樹木一覧	124

## その31<平成15年度>

I. 特集「みどりの活性化」	
1. 都立庭園でのライトアップの実施	1
2. 水元公園「大自然塾」の取り組み	6
II. 技術調査編	

1. 平成14年度 緑の基礎調査の概要 —光が丘公園—	17
2. 石神井公園 三宝寺池植物群落復元追跡調査 —水辺の再生事業—	32
3. 上野恩賜公園 不忍池における水浄化実験	43
4. 野山北・六道山公園 自然環境調査報告	55
5. 道路緑化「新樹種プロジェクト」の取組みについて	65
6. 壁面緑化の普及に向けて	74
7. 土木技術研究所ニュース —三宅島の緑化に関する調査及び報告—	85
<b>III. 管理運営報告編</b>	
1. 平成14年度 緑の情報連絡会活動について	97
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京の道路緑化状況	101
2. 平成14年度 都立公園等植栽本数一覧表	107
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	110
4. 公園別樹木本数一覧	111
5. 公園別主要樹木一覧	113
6. 平成15年度 花の見ごろ情報年間リスト	115
7. 緑の基礎調査関連 実績表	116

### その32<平成16年度>

<b>I. 技術 I. 技術調査編</b>	
1. 平成15年度 緑の基礎調査の概要 —谷中霊園ほか2霊園樹木等調査の概要—	1
2. 街路樹の樹種選定について —樹種選定樹木リスト【主要45種】の策定—	20
3. 街路樹樹種選定樹木リスト【主要45種】の各樹種について	37
4. 行幸通りイチョウ並木の樹勢回復	48
5. 小山内裏公園動植物調査	64
6. 街路樹の緑陰効果の検証(中間報告)	78
7. 無灌水を指向した屋上緑化システムの熱特性と降雨貯留特性	90
8. マット植物の開発について	104
<b>II. 管理運営報告編</b>	
1. 平成15年度 緑の情報連絡会活動について	111
2. コアラ飼育20年、ユーカリ栽培21年	116
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京の道路緑化状況	121
2. 平成15年度 都立公園等植栽本数一覧表	127
3. 過去5年間における都立公園の設計使用樹上位10種	130
4. 委託調査一覧(平成14・15年度)	131
5. 平成16年度 花の見ごろ情報年間リスト	135

### その33<平成17年度>

<b>I. 技術 I. 技術調査編</b>	
1. 平成16年度 井の頭恩賜公園湧水調査報告(概要)	1
2. 街路樹の路線別目標樹形「街路樹よくなるシート」の 活用について	17
3. 壁面緑化の効果測定	25
4. 地表の温度変化を通してみた街路樹の緑陰効果	41
5. 護岸緑化による護岸温度変化	56
<b>II. 管理運営報告編</b>	
1. 夢の島熱帯植物館のこれまでを振り返って	69
2. 野山北・六道山公園に於ける都民協働	84
3. 平成16年度 緑の情報連絡会活動について	100
4. 平成16年度 都市公園利用実態調査の報告	106
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況	119
2. 平成16年度 都立公園等植栽本数一覧表	125
3. 過去5年間における都立公園の設計使用樹上位10種	128

4. 委託調査一覧(平成16年度) .....	129
5. 平成17年度 花の見ごろ情報年間リスト .....	131

### その34<平成18年度>

I. 技術調査編	
1. 元気な樹木づくりの手引き(樹木診断編)の作成について.....	1
2. 宿根草品目・品種の耐光性と耐暑性に関する評価 .....	6
3. 外気温の変化を通してみた街路樹の緑陰効果 .....	15
4. 夏期暑熱期における河川周辺の外気と 河川沿いの緑地帯の温度変化 .....	30
II. 管理運営報告編	
1. 平成17年度 都市公園利用者満足度調査報告(概要) .....	47
2. 平成17年度 緑の情報連絡会 活動報告 .....	75
3. 平成17年度 都市公園利用実態調査の報告 .....	78
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況 .....	97
2. 平成17年度 都立公園等植栽本数一覧表 .....	103
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種 .....	106
4. 委託調査一覧(平成17年度) .....	107
5. 平成18年度 花の見ごろ情報年間リスト .....	109

### その35<平成19年度>

I. 技術調査編	
1. よりよい屋上緑化のための土選び.....	1
II. 管理運営報告編	
1. 水元大自然クラブの活動について ～大自然塾5年間の実績と修了生の活動について .....	11
2. 都立公園における借地公園事業について .....	17
3. 西部公園管内における民有地の借地公園事業について .....	27
4. 野山北・六道山公園保全・活用計画について .....	32
5. 平成18年度 緑の情報連絡会 活動報告 .....	69
6. 平成18年度 都市公園利用実態調査の報告 .....	71
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況 .....	93
2. 平成18年度 都立公園等植栽本数一覧表 .....	99
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種 .....	102
4. 委託調査一覧(平成18年度) .....	103
5. 平成19年度 花の見ごろ情報年間リスト .....	105
6. バックナンバー目次(その1～その34) .....	106
7. 平成18年度 都立公園における都民協働団体一覧表 .....	107

### その36<平成20年度>

I. 技術調査編	
1. 新しい街路樹～ファスティギアータイプ樹木について.....	1
2. 元気な樹木づくりの手引き(樹林地管理編)の 作成について .....	10
3. 都立公園の池の水質について .....	17
II. 管理運営報告編	
1. プレ・パーク事業「観音寺の森」活動について.....	37
2. (財)東京都公園協会「みどりのiプラザ」の設置と運営.....	50
3. 舎人公園もりもりフェスティバルについて .....	54
4. 平成19年度 緑の情報連絡会 活動報告 .....	66
5. 平成19年度 都市公園利用実態調査の報告 .....	68
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況 .....	85
2. 平成19年度 都立公園等植栽本数一覧表 .....	91
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種 .....	94
4. 委託調査一覧(平成19年度) .....	95
5. 平成20年度 花の見ごろ情報年間リスト .....	97
6. バックナンバー目次(その1～その35) .....	98

7. 平成19年度 都立公園における都民協働団体一覧表	106
-----------------------------	-----

### その37<平成21年度>

I. 技術調査編	
1. 上野恩賜公園の森づくりと桜守について	1
II. 管理運営報告編	
1. 世界バラ会連合優秀庭園賞受賞について	13
2. エジプト・アラブ共和国ヘルワン県 「東京庭園」修復工事について	24
3. グリーンロード・ネットワークの形成・充実に向けた 「街路樹の充実」事業とそれに伴う「マイ・ツリー ーわたしの木ー」事業の実施について	30
4. 市民緑地事業について	40
5. 平成20年度 緑の情報連絡会活動について	42
6. 平成20年度 都市公園利用実態調査の報告	44
7. プレパーク事業「大戸源流森の会」について	61
8. ブルガリアローズの寄贈について	69
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況	75
2. 平成20年度 都立公園等植栽本数一覧表	81
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	84
4. 委託調査一覧(平成20年度)	85
5. 平成21年度 花の見ごろ情報年間リスト	87
6. バックナンバー目次(その1~その36)	88
7. 平成20年度 都立公園における都民協働団体一覧表	96

### その38<平成22年度>

I. 技術調査編	
1. 浜離宮恩賜庭園「松の御茶屋」の復元整備について	1
II. 管理運営報告編	
1. 東京臨海広域防災公園について	13
2. 「ユビキタス・コミュニケーター(携帯情報端末:UC)」 によるガイドについて	22
3. 日露知事会におけるチシマザクラの モスクワ市寄贈について	30
4. 平成21年度 緑の情報連絡会活動について	45
5. 駒沢オリンピック公園の記念樹~パットと宇宙ケヤキ~	47
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況	53
2. 平成21年度 都立公園等植栽本数一覧表	60
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	63
4. 委託調査一覧(平成21年度)	64
5. 平成22年度 花の見ごろ情報年間リスト	66
6. バックナンバー目次(その1~その37)	67
7. 平成21年度 都立公園における都民協働団体一覧表	75

### その39<平成23年度>

I. 技術調査編	
1. 東村山中央公園・狭山公園の樹木調査の報告	1
2. 井の頭恩賜公園の森づくりに関して	16
3. 公園等のマツ枯れ防除に向けた取組	24
4. 街路樹用樹木の根圏と管理特性に及ぼす根域制限の影響	32
II. 管理運営報告編	
1. 野山北・六道山公園における都民協働について (大自然塾総括)	51
2. 平成21、22年度 都市公園利用実態調査の報告	60
3. 樹木点検員養成研修の実施と樹木点検員認定について	75
4. 平成22年度 緑の情報連絡会活動について	83
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況	85
2. 平成22年度 都立公園等植栽本数一覧表	92

3. 過去5年間に於ける都立公園等の使用樹種上位10種	95
4. 委託調査一覧(平成22年度)	96
5. 平成23年度 花の見ごろ情報年間リスト	98
6. バックナンバー目次(その1～その38)	99
7. 平成22年度 都立公園に於ける都民協働団体一覧表	107

## その40 <平成24年度>

I. 技術調査・計画編	
1. 神代植物公園植物多様性センターの開設について	1
2. 神代植物公園植物多様性センターの整備について	16
3. 石神井公園三宝寺池沼沢植物群落保護復元事業 ～順応的管理による水辺の再生事業～	27
II. 管理運営報告編	
1. 都立公園等に於ける生物多様性保全への取り組み	37
2. 都立公園がつなぐ「生物多様性」	45
3. 夢の島公園の樹林地管理について	58
4. 水元公園・原風景づくりを牽引する直営作業	65
5. 神代植物公園開園50周年記念事業について	71
6. ショクダイオオコンニャクの開花について	82
7. 平成23年度 都市公園利用実態調査の報告	96
8. 平成23年度 緑の情報連絡会活動について	103
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況	107
2. 平成23年度 都立公園等植栽本数一覧表	114
3. 過去5年間に於ける都立公園等の使用樹種上位10種	117
4. 委託調査一覧(平成23年度)	118
5. 平成24年度 花の見ごろ情報年間リスト	120
6. バックナンバー目次(その1～その39)	121
7. 平成23年度 都立公園に於ける都民協働団体一覧表	129

## その41 <平成25年度>

I. 特集「第29回全国都市緑化フェアTOKYO」	
1. 第29回全国都市緑化フェアTOKYOの開催概要について	1
2. 緑化フェアの総務的業務を振り返って	8
3. 緑化フェアの広報協賛業務を振り返って	14
4. 緑化フェア上野恩賜公園会場「不忍・緑・五景」 ～公園の魅力伝えるアート～	17
5. 緑化フェア井の頭恩賜公園会場整備について	21
6. 緑化フェア日比谷公園・浜離宮恩賜庭園会場について	24
II. 技術調査・計画編	
1. 平成24年度小山田緑地自然環境調査について	29
2. 東村山中央公園に於ける「生物多様性」への取組について	33
3. 小宮公園雑木林管理基礎調査—その経緯と展開—	44
III. 管理運営報告編	
1. 米国寄贈のハナミズキについて	51
2. 大径木再生大作戦について	56
3. 野山北・六道山公園里山民家茅葺屋根の葺き替え	62
4. 神代植物公園植物多様性センター事業運営報告	66
5. 水元流・花菖蒲再生の取組について	75
6. よみがえったパト・サクチュアリー～代々木公園～	81
7. 平成24年度 緑の情報連絡会活動について	84
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況	87
2. 平成24年度 都立公園等植栽本数一覧表	94
3. 過去5年間に於ける都立公園等の使用樹種上位10種	97
4. 委託調査一覧(平成24年度)	98
5. 平成25年度 花の見ごろ情報年間リスト	100
6. バックナンバー目次(その1～その40)	101
7. 平成24年度 都立公園に於ける都民協働団体一覧表	110

## その42<平成26年度>

I. 技術調査・計画編	
1. 街路樹診断マニュアルの改訂について	1
2. 谷中霊園樹木立曳き移植について	10
3. 大戸緑地植生管理計画の策定について	19
4. 井の頭恩賜公園かいぼり25について	27
5. 高木間植栽に適した街路樹用樹木に関する研究	37
6. 街路樹ツツジ類のクロロシスの実態とその改善対策	43
II. 管理運営編	
1. ふくしま⇄東京 桜の交流プロジェクト	49
2. 狭山丘陵における広域連携プロジェクト	55
3. 大泉中央公園ちよの里再生事業	65
4. 平成25年度 神代植物公園植物多様性センターの取組	72
5. 平成25年度 緑の情報連絡会 活動報告	78
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況(計画課・道路緑化)	81
2. 平成25年度 都立公園等植栽本数一覧表	88
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	91
4. 委託調査一覧(平成25年度)	92
5. 平成26年度 花の見ごろ情報年間リスト	94
6. バックナンバー目次(その1~その41)	95

## その43<平成27年度>

I. 技術調査・計画編	
1. 石神井公園生物多様性保全管理計画策定の報告	1
2. 東大和公園生物多様性保全利用計画の策定について	9
3. 東京都保全地域における「保全活動ガイドライン」の策定	16
4. 街路樹根系強度調査	27
5. 神代植物公園所蔵「韻勝園梅譜」(模写帖)について	34
6. 可搬式緑化コンテナによる夏季の暑熱対策	40
II. 管理運営編	
1. ショクダイオオコンニャクの開花について	45
2. 身近な自然体験の場・「いきもの広場」	49
3. かいぼりイベントにおけるボランティアの参加状況	59
4. 平成26年度 神代植物公園植物多様性センターの取組	67
5. 平成26年度 緑の情報連絡会 活動報告について	73
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況(計画課・道路緑化)	75
2. 平成26年度 都立公園等植栽本数一覧表	82
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	85
4. 委託調査一覧(平成26年度)	86
5. 平成27年度 花の見ごろ情報年間リスト	88
6. バックナンバー目次(その1~その42)	89

## その44<平成28年度>

I. 技術調査・計画編	
1. よみがえる!!イノカシラフラスコモ!『水草再生ものがたり』	1
2. 危険な外来生物に関する東京都の取組について	11
3. 今春、初開花した2種の野生ランの無菌培養	17
4. 河川・海岸敷等の緑化に向けた樹種の選定	26
II. 管理運営編	
1. 都立公園ガイドサービスシステム構築の報告	31
2. 多摩地域の自然公園における植生の保護	38
3. 国際優秀つばき園登録へ向けた取り組みについて	46
4. ニューヨーク市への桜の寄贈について	51
5. 夏のおもてなしガーデントライアル2016について	61
6. 平成27年度 神代植物公園植物多様性センターの取組	69
7. 平成27年度 緑の情報連絡会 活動報告について	75
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況(計画課・道路緑化)	77

2. 平成27年度 都立公園等植栽本数一覧表	83
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	86
4. 委託調査一覧（平成27年度）	87
5. 平成28年度 花の見ごろ情報年間リスト	89
6. バックナンバー目次（その1～その43）	90

## その45＜平成29年度＞

I. 技術調査・計画編	
1. 東京2020大会に向けた街路樹の樹冠拡大の取組	1
2. 旧浜離宮庭園「延遠館」の復元整備事業について	9
3. 「東京の自然公園ビジョン」の策定と展開	24
4. 日比谷公園つつじ山再生に向けた調査と展開について	33
5. 都立庭園を演出する冬の添景物「雪吊り」の庭園技能伝承	42
6. 夏季高温期に適応する苗もの花き品目の選定および 利用技術の開発	49
II. 管理運営編	
1. ニューヨーク市街路樹調査と街路樹マップ	59
2. 日本・チリ修好120周年チリマツ記念植樹式の実施	72
3. 人にも生きものにも優しい緑「江戸のみどり 登録緑地」募集中！	77
4. かいぼりで守り、取り戻す！溜め池の生物多様性	80
5. ヒナワチガイソウ保全活動に向けた生活史調査	88
6. 平成28年度 神代植物公園植物多様性センター年報	96
7. 平成28年度 緑の情報連絡会活動報告	104
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況（計画課・道路緑化）	107
2. 平成26年度都立公園等植栽本数一覧表	113
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	116
4. 平成26年度 花の見ごろ情報年間リスト	117
5. 都立公園における都民協働団体一覧	118
6. バックナンバー目次（その1～その44）	122

## その46＜平成30年度＞

I. 技術調査・計画編	
1. 伝統園芸植物の栽培・普及の取組	1
2. 街路樹向き緑化植物における防火機能の評価	23
3. ラン科植物の無菌播種技術向上と展示	31
4. 明治の森高雄国定公園指定50周年記念事業	37
II. 管理運営編	
1. 都立・区立の公園・庭園におけるハナショウブ栽培管理の現状	41
2. 光が丘公園パードサンクチュアリ池で行われた16年ぶりのかいぼ	52
3. 平成29年度夢の島公園・夢の島熱帯植物館事業報告	71
4. 「都立浅間山公園保全管理ガイドライン」の策定と成果	81
5. 御陵の入口にふさわしい風格のある公園づくりを目指して	92
6. 地域の核となる公園へ！狭山公園80周年記念事業	101
7. 平成29年度 神代植物公園多様性センター年報	111
8. 平成29・30年度 緑の情報連絡会活動報告	122
資料編(グリーン・ファイル)	
1. 東京都の道路緑化状況（計画課・道路緑化）	125
2. 平成26年度都立公園等植栽本数一覧表	131
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種	134
4. 委託調査一覧（平成28・29年度）	135
5. 平成26年度 花の見ごろ情報年間リスト	145
6. 都立公園における都民協働団体一覧	146
7. バックナンバー目次（その1～その45）	150

## その47＜令和元年度＞

I. 技術調査・計画編	
1. 三宅島雄山の東京都版エコツアーリズム導入	

2. 多様な生物が生息する都立公園づくり事業について
3. ナラ枯れ被害対策の取組について
4. ハナショウブの観賞のポイントを紹介するリーフレットの作成
5. 向島百花園の胡枝花洞（ハギのトンネル）の修復について
6. 種子採取による生息域外保全の取組

## II. 管理運営編

1. 令和元年台風第15号「令和元年房総半島台風」  
・第19号「令和元年東日本台風」による被害について
2. 丘陵地公園の生き物保全から普及啓発まで
3. 平成30年度 神代植物公園植物多様性センター年報
4. 平成30年度 夢の島公園・夢の島熱帯植物館事業報告
5. ヘルシーパークプロジェクト～身近な公園を活用した健康づくり～
6. 公園を地域の環境教育拠点として最大限に活用  
～都立小宮公園における取組み～
8. 平成31年度 緑の情報連絡会活動報告書

## III. 資料編（グリーンファイル）

1. 東京都の道路緑化状況（計画課・道路緑化）
2. 平成30年度都立公園等植栽本数一覧表
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種
4. 委託調査一覧（平成30年度）
5. 平成31年度 花の見ごろ情報年間リスト
6. 都立公園における都民協働団体一覧
7. バックナンバー目次（その1～その46）

### その48＜令和2年度＞

#### I. 技術調査・計画編

1. 「街路樹診断等マニュアル」の改定について
2. 民間企業との連携による緑化に関する取組について
3. 都立公園池水質改善事業における事業報告について
4. 高茎草地エリアの管理について～『武蔵野のくさはら』の再現～
5. 狭山丘陵におけるナラ枯れ被害調査と対策について
6. 豊洲市場における屋上の試験植栽について

#### II. 管理運営編

1. 令和元年度 神代植物公園植物多様性センター年報
2. コロナ禍における公園利用実態の変化と公園管理者の取組み
3. 平成31年度 夢の島公園・夢の島熱帯植物館事業報告
4. コロナ禍の都立大島小松川公園の管理運営と利用の実態
5. 令和2年度 緑の情報連絡会活動報告書

#### III. 資料編

1. 東京都の道路緑化状況（計画課・道路緑化）
2. 令和元年度都立公園等植栽本数一覧表
3. 過去5年間における都立公園等の使用樹種上位10種
4. 委託調査一覧（令和元年度）
5. 令和2年度 花の見ごろ情報年間リスト
6. 都立公園における都民協働団体一覧
7. バックナンバー目次（その1～その47）